

如き、政府行動のハミルトル派の所説を採用する機關であつた。その信ずる所は何物か、米國海運を復興するためになされねばならないと云ふに至つたのである。而もそれは多少、ジエファースン時代の記憶に對して結構なものであつたか否かわからないが兎に角同一であつた。唯、その眞の相違點は方法に關してであつた。

大統領ウキルソンの政府の提出した海運法原案は大多數の輿論に對して反對なものであつたがそれはその背後にある政府所有と云ふことに據つてであつて、その法律が他の名目に於ての奨励若しくは補助の原理を承認するがためではない。熟練なる政治家は、或る物に對して不良なる名稱が與へられた時、現在のその名を有する物はその名稱を變更されなければならぬと云ふことを知つてゐる。而も、政策を轉換すればそこには政治的侮辱があるかも知れないが、善良なる政治上の領袖は、これが單に表面的なものであること、並びに民衆は善良なる性質のものを見做し、以前の變節に對して更らに非難を加へるものでないこと等を承認してゐるのである。

一九一六年に發布された海運法は形式に於て異つてゐたがその形式は政府により

て根本的に修正されたものであつた。政府所有に對する反對は極めて熾烈であつた爲め、此の法案は遂ひに破棄された。この法案の主要點は、米國の商業需要が許す限り、海軍補助若しくは陸軍輸送或はその他の陸海軍用に使用するため造船業及びその企業若しくは備船乃至適當な船舶の購入或は貸借、等をする目的をもつて創設せられた海運局に委任することである。その海運局は、米國人の私人所有に屬する船舶の賣買若しくは貸借乃至備入等を委託された。そして約五千萬弗は海運組合の資本金として支出され、大部分は米國の所有に罹るのであつた。歐洲大戰終結より五年後に於て、その組合の船舶使用が満期となつて、解散される筈である。それ故に海運局はその時に至り所有せる船舶を賣却し、貸與し若しくは備入れに應じるであらう。

海運組合はその當初、巴奈馬運河建設者たるジョージ、ダブリユ、ゴエタルス將軍と共に構成されたのであつた。けれども、米國が參戰すると、五千萬弗の資金の代りに、議會は更らに五千萬弗の追加資金をその内に加へた。而してその組合の行動は、政府の軍事的使用の一部として開始されたのである。そして、遂ひに個人所

有の商船の戦時活動力を消滅せしめたのである。

更らに五億弗が議會の好意的協賛によつて附加され、既に着手されてゐた造船計劃はその場到大躍動を起した。而して、總經費が、上述の如く數十億であるか若しくはその他の計劃に於ける詳細を批判することは、此の組合の事業の目的に對して何等の必要なものではない。提示すべきものは即ち、一九一四年の眞夏に於ける海洋航行商船の船腹總噸數は四千二百二十二萬五千噸であつて、その中米國が二百七十六萬噸を所有してゐたと云ふことである。休戰條約調印の四ヶ月後は戦争損失に代る新しき建設の時代であるが總噸數は大約三千七百十萬噸で米國はこの中五百五十萬噸を有してゐた。而も米國はまた世界各國の最大なる造船機關を有してゐるのである。

(註) 米國管船局長イー、エヌ、ハーレー氏の一九一九年の報告参照

政府造船計劃の完成は一千萬噸を以つて終極とするもので、平和時代の經驗より判定すれば一九二〇年よりの世界の通商は約六千萬噸の船腹を要求するのである。この總計の六分の一は甚だ大なる比率ではないけれども、それは當初に於ては充分

なるものであり、海洋運賃の相當の額を保證し及び國外に流出せざる正貨の形式に於て保險するに充分なものである。將來の最も眞摯なる問題は競争の條件に關連してゐる。この中の或るものは米國自らによつて決定され得るので、その他は國內政策とは關係しないのである。

一九一五年の海員條例に就いて、俊烈なる論争があつた。そして、右の條例は若干の海運會社から、番に商船の復興のみならず商船繼續に對する挑戦であるとして遇されたのである。即ちそれは主として、如何なる船の海員もその七割五分は英語を理解せざるべからずと要求せる條項のためである。而も他の條項は外國の會社には以上の要求を適要せざるために、米國の會社以上に利益を與へる様になつてゐた。且つ、航海經費は、航海繼續を不利益なものとするこの法律の下に於ては非常に莫大なものとなるのであつた。或る會社は事實、營業を廢止せんと決心し、新たな事業の創業費として、所有船舶の若干を賣却したりさへした。

該條例が一方に於て反對に遭逢してゐる間に、不十分な基礎に立脚する福祉法規に反對する數箇の團體の趨勢は、この實例の中に示されてゐる。商務省は施行權の

積極的緊張によつて、その法律を詳細に解釋した。暴騰せる運賃率及び莫大なる利益から、高額の海員給料を支拂つてゆく海運會社の能力等を含む、戰爭状態は瞬間に朦朧と終熄したのである。而して、遂に完全なる政府の海運管理がその後に見られたのであつた。

温情的條項を有する海員條例は、明らかに修正を必要とする。併しながら、その中の温情味を破壊することによりてのみ修正され得ると斷言するのはあまりに理由のないことである。問題は海員の經驗及び雅量ある船主等に適當なる判斷を與へつゝある實際的立法者等が行ふ整理に對する修正案である。刺戟の價値は實行の價値よりも更らに重要である。

一般政策を見る時、鐵道の政府管理及び所有の反動は永久的政府の商船所有及び管理に對し擴大せる輿論があつた様に此處にもあるだらうとの凡ての觀察を破壊して了つた。若し政府が商船の所有と管理とを繼續したならば鐵道の所有と管理とはその系統である様に見られたのである。唯この方法に於てのみ、海洋運輸の獨占から來る充分なる利益が得られ且つそれを持續し得らるゝのである。商船の政府所有

及び管理は、鐵道の政府所有及び管理の消滅と共に消滅する。而してそれを廢止することは貿易上極めて重大なことである。一般政策が決定の後に於ては、補則が必要である。而して數年の中に海員法案の端緒が啓かれるのである。稍少時の後、米國はその最も大なる商業國と競争するに至るべく、その競争の行はれるべき狀況は可成り注目に値するものである。

英國の商船は常に國有運輸機關であつた。併しそれは直接政府の所有でもなく、又直接管理されたものでもなかつた。而もそれは、多分過去に於けるよりもはるかに密接に、そして又、陸上運輸たる鐵道と密接に關係して續行されるであらう。これは鐵道の政府所有によりて可能たり得るものであつて、英國の如き有限的國土及び凡ての商工業中心地の埠頭接近等が、陸上運輸機關と海洋運輸機關とを國有にする事を極めて複雑なきものにしたのである。大戰當初、英國は船腹總噸數一千九百二十五萬噸を所有してゐた。そして、大戰中損失した純量は、約三百四十五萬噸であつた。平和時代には、英國の船渠はその缺損を急速に補充することが出來たのである。平和克復後に於ては、英國は、開戰當時に所有してゐたと同様の海運力を所

有すると言はれてゐる。即ち、その中の若干は、敵國の船舶であるが、英國は將來、自國の缺損を補充するのみならず全世界の損失噸數を補充せんとするに至るとさへ言はれてゐる。

佛國の商船は、國際的の意味に於て、英國の次に位ひするものと見做されて好い。即ち大戰中約百萬噸を損つたのである。これは、佛國總噸數の約四割であるから實に莫大なる比率であつた。この中幾分か敵國の賠償によりて補充されたのである。而して、戦後、佛國の船渠は再建に着手し、佛國海運力は世界の海運力と共に注目せられねばならない。併し、英國との協同の明白なる説明は世界貿易に對する聯合競争者として、英佛の商船を正當に判定することである。英國は一の利益をもつてこの競争に出發してゐるが、それは世界の石炭供給場を所有してゐること、この石炭供給場が競争上に齎らす重大さは、豫め逆睹すべからざるものである。今一つの利益は英國の不定期船であつて、これは英國海事組織中の奇現象である。それは單にそれ自ら商船であつて、米國の海運政策中に認識せざるを得ないものである。最後に、米國の貨物運輸の將來を決定する上に、解決しなければならぬ國內問

題と、國際的問題の存在することが明白である。併しながらその存在は重大なるものである。それらは米國の貿易政策の一部であり、米國の外國貿易上の根本要素である。佛國經濟學者の意見に従へば、米國は既に商船國間に往時把握してゐた卓越性を再び獲得しつゝある。そして、その時代は到來して、世界の大部分を蔽ふ經濟的影響の擴大普及を示してゐる。けれども、實行されるべき無數の實際的問題をもつて、前途に漂ふ好調が浮華的のものとなつてはならない。世界の運輸貿易は輕兆なる事業では決してないのである。

第十一章 歐洲大陸と米國

經濟的激變——佛國の工業復興要素——殖民地商業——米國資本に依頼——米國との財政關係——
 獨逸原料の縮少——ノーマン氏の中歐の夢の解體——米國との過去及び將來の貿易——銅及び
 綿の重要——埃洪國の朽廢——白耳義の復興——伊太利の領土擴大と産業的野心——資本の輸入
 ——スカンデナヴィア各國——西班牙及びその他

大戰の結果歐洲に二個の大なる變化が起つた。佛國の經濟的膨張がその一であつて、經濟的に減縮せる獨逸がその二である。地理上の膨張と縮少とは兩國の變化の現状ではあるが地理上の變化は經濟上の變動を測定する確實なる尺度では決してない。中部歐羅巴の國境變更は國際貿易に於けるよりも國內商業により多くの關係を有してゐる。若干の新生國に於ては、自國領土以外に對して殆ど意義なきものである。

資本の輸入——特に米國資本の輸入——は佛國の工業復興に於ける主要素である。而も佛國の輸出貿易中にある工業の本質は大戦前と同一である。工業製品に就いて斷言した佛國の炯眼なる人々は、この工業が戦争により中絶されないと云ふ確證の

ために、將來、益自由に發展してゆくべきものであることを見出すであらう。更らに、ロレーヌの鐵鑛脈の回收とザール炭田の併合との中に含まれて、原料富源の確證があるのである。

佛國は何等の妨碍を受くることなく工業的進路を前進することが出来る。鐵鑛脈の回收と、工業上有用なる石炭の所有とは佛國の工業能力を延期的のものにする障礙と共に潜伏せられてゐる。大戰以前の佛國の貿易は固定人民の貿易であつた。そして生産力は、生産者の漸進的發生のために部分的に限定されてゐた。マルン、ヴェルダン、及びアルゴンは戦死者によりてこの生産力を更らに十年間若し三十年に非らざれば消滅せしめられたのである。併しながら、佛國は進歩するであらうし、漸次、舊時代の地位を挽回してより以上の地位を占めるであらう。

過去に於ける佛國の歐洲貿易の大部分は、露國、土耳其並びに巴爾幹諸州への借款の結果であつて、この借款は佛國に鐵道及びその他の企業權を與へ、佛國より原料購入を確證した。けれどもこれらの投資より來る事業よりも、佛國の獨自性に對する要求は、るかに大きかつた。而してその要求は佛國の美術的觀識の他何物をも

必要としなかつたのである。中部歐洲は、數年間、この藝術的獨自性をあまり需要しないであらうが大戦のために荒廢せしめられなかつた南米、合衆國、及びその他の諸國は、將來大なる需要をなすに至るのである。

佛國の植民地貿易はまた復舊力を示してゐるやうである。アルゼリア、及びチュニス、並びにモロッコでさへもその商工關係に於ては佛本國の影響として見られる。それらの富源は、未だ尙ほ發展の端緒にあるのである。

赤道亞弗利加は直接の將來を有してはゐないが、而も潛勢的富源を有してゐる。マダガスカルは、商業上の意味に於て佛領コンゴより熱帶性物産としてはるかに價値ある所で印度支那は以上の何れよりも更らに有望である。西印度諸島中のゴードラブ及びマルチニツク、並びにツサエイ群島中のタヒチ等の如き散在せる島嶼は一考に値ひするものである。而してその島嶼もまた世界貿易中の一要素である。

佛國の植民地物産の増加とその經濟的價値は戰前に於ては國際經濟研究者を除くほか、殆ど注目せられなかつた。けれどもそれらは佛國人は土着的であつて、移民しなかつたために、英國の如く植民地内に發展し得なかつたと云ふ説を拒否した。

政治家により發展せられたる佛國政策中の本然的特徴であつた。それらは將來に於ては補助富源として認められねばならぬ。而も、佛國に對して價値あらしめた關稅政策が、特に英國の英國優先稅採用後の今日繼續されるべきは一層確實である。この政策の本質は多少例外あるが主要なる植民地に對する關稅待遇の統一であつた。同一の一般的關稅は佛國自身に對すると同じく植民地に適用したのである。それ故に植民地より佛國へ輸入する物貨には關稅がなかつたし、また佛國は植民地へ輸出する物貨には關稅を支辨する要はなかつたのである。

經濟的復興のために米國資本に據れる佛國は兩國間の通商關係をして意義あらしめる。通商の性質は單純である。それは銅、綿、食料品及び各種の機械並びに裝飾品等の如き原料を主として交易するのである。シャンパン及び酒類、絹、上等紡織品及び、上品なる趣味性や、下劣なる虚榮心を満足さすべき装身品の各種並びに文明の純化を表明する大多數の美術製作品等は米國に輸入せられるのである。

關稅法制定に際し、米國の政黨全部は贅澤品並びに高價なる物品に對し重稅を賦課することに一致した。佛國にのみ適用するために造られた此の關稅表は他國より

来る同種のもの、關稅に比して苛酷な様であつた。佛國は國狀より見て、世界の最も秀でたる美術國であり、最も愉快なる氣分と暗示を與へる土地と氣候とを所有してゐるので大いに恐慌を來たした。該關稅法が尙ほ考慮中にある時、佛國は右法案が佛國の産業を破壊するものであり牽いては輸出を減せしむることが確實であると、それに對抗するため、獨特の外交形式を以つて、保護したのである。そして、高率の關稅表が賦課適用せられたけれども貿易は實質的には何等の減少を見なかつた。米國の富を増加することはシヤンパン、絹、上等紡織品及び一般美術品の購買の増大によりて得られたので、關稅改正には常に伴ふ一時的不確實なる停滯の後を承けて、佛國が尙ほ米國に對する大いなる輸出國たるべきは明白なことであつたのである。

將來、佛國の産業が平時の生産力を回復した時、米國は過去に於けるよりも更らに有效な輸入國であらう。國家的禁止令は、曾てシヤンパンに課せられてゐたが市場から消滅するであらう。併しながら、贅澤品を購買せんとする人の數が非常に増加したために、以上の關稅法によりて失はれた所のものは、單に一時の現象であらう。

う。

米國の財政々策は、佛國の産業復興にある特殊條件を承認するに至るべく、而も佛國の財政々策は、米國に對する本源的親交感情の中に執られなかつた。そして、それは通商關係の事務的見解からなされたものであつた。一九〇九年の最高率に至つたメリン氏首唱の保護稅運動は、農業保護の特殊目的を有してゐたと雖、突如として米國よりの工業品に重稅を課したのである。最大及び最小關稅改正に於ての、改正の許可は關稅表に於ける許可を附加したのであるが、米國は歐洲各國と佛國との通商關係に特に關連して計劃されたものであるとの理由を以て極端なる最小限關稅には適用されなかつたのである。

米國政府は此の難點の正當なることを認め、將來に於ては、更らに一層紛糾の起ることは殆ど疑問の餘地がないのである。而して、抽象的の前提として、佛國は自國市場に輸入しつゝあつた米國からの自動車を購入することが出来なくなるであらう。けれども佛國は實際に於ては自國の自動車製造業を勃興せしめんために、米國自動車の輸入を制限するのである。而もそれに對して、米國は何等抗議を申込まない

であらう。

戦前に於て獨逸は約五十億弗の外國貿易をしてゐた。ロレノスの鐵鑛、シレシアの鐵鑛並びに石炭、ザールの石炭、並びにクルセンブルグの鐵鑛等は此の貿易の大部分の基礎をなしてゐた。これらの經濟上の要地が削減されたので、若しその他の條件が戰勝國より課せられなかつたにしても、自後の外國貿易を評價することは甚だ困難なことである。併しながら賠償皆濟の曉に於て、獨逸の外國貿易が一九二五年若しくは一九三〇年には如何になりゆくかは殆ど逆睹し難きものである。更らにそこには、若し獨逸が聯合側に賠償を支拂ふにしても、國際貿易中に參加しすにはゐられないと云ふ看過すべからざる事實がある。

歐洲大陸との商業——即ち隣接國との商業——は以上の事實の最後に起るべき正式の順序であらう。そして、その次に海外貿易に至るのである。

獨逸貿易を發展せしめた經濟的武装制度の地位は、武装を解除し、聯合側所有に、その經濟要素を奪掠されたと云ふ境遇に置かれたのである。獨逸企業聯盟及びその全組織の文書は戦前に於てさへも非常に多種類であつたのでその研究は多大の時間

を要するものであつた。交戦中、獨逸政策の効果を極めて誇張する傾向があつた。而もこれは自然の成行であらうがこれが繼續すれば非常な悪結果を與ふる虞があつた。獨逸の商工業が決して超人的事業でなかつたことを再び説明しても好いし、または、その發達は全然、數百年前に計劃され、形式を以て表はされた固定政策に準據するものでなかつたのである。普佛戰爭の五年後に於ける獨逸外國貿易は——即ち一八七〇年より一八七五年に至る——殆ど一八九〇年より一八九五年に至る五年間と同様の状態であつた。

獨逸が開戦するや、そこには獨逸國家社會主義より及び産業の企業組合組織よりの反動の兆候があつた。炭坑國有は猛烈に反對され、開戦當初に於てさへ、既に講和後の繼續的國有に反對せんとする産業主腦部の若干の決意を示してゐた。これは即ち、獨逸が戰勝すると斷言された時であり、而して、戰勝の一結果として、産業團體の總運動となつて國家に現出せんとしつゝあつた時である。

エツセンの大工場長グスタフ、クルツ博士は伯林での演説中に戦後に於ける軍需品工業を國有にせんとする凡ての努力に反對して警告を發した。彼の意見は、獨

逸が優勢であつた極めて短期間の中になされたものであるから、聯合各國の或る國に取つては、可成り興味あるものである。

彼の意見に従へば、國有にすることは、純然たる國內獨占が可能たる所に於て正當である。併しながら、その獨占が海外及び國內に於て競争をするならば、背後に議會を控へての國家管理の複雑と混亂とは一定時期に充分なる絶對的運動の自由及び彈性に於いての凡ての企業を剝奪せねばならないのである。更に曰く、

吾等が國家及び國民に對して明らかに面接し、また尙ほ個々の勢力の最も自由なる活動の中に救濟法を見出し得る困難なる經濟戰爭を現出する時、吾等はかくの如き根本的經濟問題の範圍中にある最大なる警戒を全然實施しなければならぬ。また、吾等は國家の影響を増加せしむるために着手することが如何に容易であるか、そして、その結果が切迫せるものであるかどうかと過程を回顧することが如何に困難であるかを、繰り返へし、繰りかへし腦裏に刻みつけておかねばならないのである。

中部歐羅巴との獨逸貿易は、敗北が、やがて勝利の凱歌たることを意味すると云ふ豫言者を見出した。そして、新しき國家の出現にも拘らず、大戰初期に移民を奨勵した如き中央歐羅巴の能力を認めるのである。これはフレデリック、ノーマンの中歐計劃であつた。彼はフキヒテの自制的貿易國の觀念を普及したのである。而して獨逸國會の一員として、武裝團體の補助を公然と否定した。

社會改革者たる牧師ノーマンとして、氏は獨逸制度を特殊なものにしたより僅少なる國家干渉が民衆の幸福と主張した。彼の著者『中央歐羅巴』中に書かれた主題は中歐の政治的經濟的境界は普佛戰爭後佛國に惡化したと云ふこと、及び東方の境界は一八七八年の伯林會議と一八七九年の塊太利洪牙利の同盟によつて建設せられたと云ふことである。

ゲルマン、マジヤール、波蘭、ボヘミヤ、及びその他の民族等は未だ國家の形式を具へてはゐない。そして、中央歐羅巴は尙ほ國家的團結としての發達を缺如してゐたと彼は説明してゐる。經濟方面に於ては、中歐の商業は商業の各部門及び同様の通商團體によりて保持されねばならぬと云ふことが示されてゐる。獨逸と塊洪國

間に自由貿易が制定せられ聯合政策は運輸、關稅及び國際的財政上に採用せらるべきであつた。この同盟の後——それは勿論、獨逸による二國の併合を意味してゐた同盟である——その影響は巴爾幹を捲席し、次いで東方に傳播して行つたのである。『東方へ』は汎獨主義者及びバグダッド鐵道創業者等に對する誘惑であつた。

ノーマン氏に對しては、彼が常に地理的併合に基調する獨逸理想主義の新しい形式の首領であつたと斷言されてゐる。當時の獨逸の空想は氏の説を信仰したものであつて、その著書は莫大なる賣行を示たのである。併しながら、若しノーマン氏が眞實新形式の理想主義の提示者であつたならば、獨逸の學者の病的精神は直ちに、此の理想に對して唯物的解釋を與へたであらう。彼等は獨逸通商上の影響が擴大された時の前途を討論した。その著書が獨逸學者の病的精神に訴へたと同様に民衆に與へたものは、獨逸的自尊に大いに貢獻する所があつたのである。

ノーマンの夢想した地理的統一は生れ出でたる新しき諸國によつて破壊された。ゲルマン、マジヤール、波蘭、ボヘミヤ及びその他の民族の形成する國家的類型は

出來得る限り地理的境界線に民族を從屬せしめんとする努力によつて現在の國籍から分立はれたのである。

併しながら、ノーマンの著書にある思想の幾分かは現今にも残つてゐる。獨逸を中心とする中歐國の如き地理的統一は實現せられざるものであり、地理的接近は貿易容量の定額を保證するものである。而して近接することは生産品交易に有効であり市場を保證する。中歐の中部にある獨逸は、隣接國に供給するに足りる生産品を豊饒に所有してゐる。これ即ち、海外貿易を含む外國貿易の準備たる第一歩である。

大戰前の時期に於て、米國と獨逸間の通商關係は米國のために極めて有利なる方向を示してゐた。獨逸帝國は主として原料の購買國で、綿花及び銅は輸入品中の白眉たるものであつた。米國は本質的に總ての綿花及び多量の銅を、獨逸完成品の原料として半完成品をも多數供給した。大戰勃發當時、米國より獨逸への輸入は年額三億三千二百萬弗で、獨逸より米國への輸入は一億八千九百萬弗であつた。輸入品は、多額の雜貨をも含んでゐたが主として、紡績品、及び化學用品並びに染料であ

つた。

米國は協定關稅率の利益を包有する最惠國待遇を受けたが此の承認は最大最小關稅の革新中に獲得したもので、その當時に至る迄の規定は、多數の米國生産品に差別待遇をするものであつた。而して、協定稅率を與へた後、瑞典と新條約を締結した獨逸は、若干の粗製品及び耐熱坩堝等の如き米國製品に、新しき稅率を賦課することが出来なかつたが、これは全般の主旨には影響しなかつた。

大戰後の獨逸は尙ほ、米國より綿花並びに銅を要求する。而も、電氣事業に必要な銅は、高價格をもつてしては、米國以外から購入し得られるのであるけれども、獨逸の經濟はかくの如きことを敢行し得ないのである。フランクフルトに本部を有し、世界の礦物市場を支配し、獨逸をして、原産地より礦物を安價に購入せしめつつあつた獨逸鑛業企業家大聯盟は決して再現し得ない迄に廢滅して了つた。それ故に獨逸は諸外國と同様の條件で銅を購入しなければならぬのである。併しながら、これは、それ自身に於て、少くとも經濟的損失ではない。

米國綿花は、獨逸の紡織工業に對して絶對的本質的のものであつて、綿花及び銅

の二種の生産品の輸入は米國と獨逸間の將來に於ける貿易關係の基礎である。而して、それらの代りに獨逸が米國に輸出するものは、未解決問題中の一である。獨逸は従前の如く化學品及び染料を輸出することは出来ないであらう。そして、過去に於けるよりも莫大な差額のある貿易に至ることは確實である。

奧太利洪牙利は、米國と中部歐洲間の貿易に於ける重要な要素ではなかつた。そして輸出總額は殆ど四千萬弗に達しなかつたのである。その輸出品は、主として苦草、熔鑛爐用原料たるマグネシウム鑛、磁器及びボヘミア硝子の如き美術品等であつた。そして輸入は、重に綿花、銅及び政府獨占事業に對する煙草等の如き原料品であつた。且つ、若干の農用器具も輸入され主として、洪牙利の小麥畑に使用された。

ボヘミヤは對米輸出の大部分を占め、ボヘミヤが中樞たるチエツク、スロバツク新國家は奧太利國より分離した中に於ける眞の貿易要素である。

白耳義は、講和締結後多少領土を擴大したけれどもそれは殆ど何物をも、紛糾せる貧弱な國家の經濟狀態に寄與しない。白耳義の神祕的な産業組織は國家をして、

約十七億五千萬弗の外國貿易を行はしめたのである。而も輸入は輸出よりも二億五千萬弗の超過を來たしてゐたが、輸入の一部は歐洲諸外國へ分配された爲に貿易の均等を傷ふ如きことは事實上なかつた。通商の性質は食料品及び工業原料品に對して完製品を大々的に交易することであつた。

硝子製造の如き、これら白耳義工業の中の若干は米國の工業と競争した。そして、白耳義が、獨逸の掌中にあつた時、數箇の硝子工場は、白耳義のさきに供給してゐた需要を充たさんがため、米國內に創設されたのである。米國との貿易は約一億一千万弗で輸出は輸入の四割を超過してゐた。而も白耳義の産業が充分復活するには、尙ほ多年を要するであらう。併しながら復活される時の來るのは確實であつて、再び優勢なる市場を實現するであらうと思はれる。

伊太利は戰勝國であるが領土の擴大に比例して經濟が擴大したとは思へない。講和決定後獨立した埃太利チロル、トレンチー、及びアドリアチック沿海州等は何等大生産力を有してゐない。そして、國內消費に對して要求される自然富源を除く外、殆ど何等の寄與をもなさないのである。國家的熱望に對する報酬と、國家的慾望に

對する激勵とも拘らず、伊太利は國家的福祉の缺乏状態を持續せねばならない。そして、新しき伊太利は、舊き伊太利が行つたと同様に、綿花、銅及び工業用石油等を需要する。而も産業の發展は國家政策發展の一部であるが故に、これらが以前よりもはるかに多量の需要増加を來たすに至るべきは確實である。國民の希望は國家産業に赴きつゝあつて、財政經濟政策はこの熱望に従つて形造らるべきである。紡織工業原料たる綿花は益々その量を増加して輸入されるであらう。そして、生絲のみは自國にある唯一の原料で、毛織工業の羊毛は主として海外に仰いでゐた。國內原料富源の價值あるものではあるが亞麻の生産はリンネル工業に充分であるとは云へなかつた。同様のことが黃麻の場合にも云はれる。大麻は、輸出過剩をもつて生絲、紡織及び網索等の國產原料であつた。

生絲は果實及び食料用油と共に伊太利の主要なる輸出品であつて、その量は輸出入平均を得るまで豊富ではないが、充分に、通商的移動をなしてゐる。將來の伊太利が産業發展計劃を實行せんために、原料に於けると等しく資本の輸入をしなければならぬと云ふことは容易に識別し得られる。而して新しき工業に對して最も重要

なる輸入要素は機械であらう。資本の大部分は米國より供給せられ、米國は産業上の燃料たる資金供給に於て、非常に重要なものとなるのである。そして二國の通商關係は自發的親善の如きものを形造るのである。

スカンデナビア諸國及び和蘭は大戦中、中立國であつた。その地理上の位置は獨逸並びに英國に面接してゐた。同時に食料品を供給して、交戦兩國より相當の利益を得せしめたのである。このことは、何等の偏狭なる黨派觀念なく、自國自身の利益のためであつた。これら中立諸國の全部は、不利益に困惑してゐたが、戦争のため可成り富を増進し、瑞典、和蘭は恐らく中に就いても最大なる範圍に利益を得、次に丁抹及び諾威であつた。而も利子支拂を要する莫大なる戦争借款をもつてゐない上、修覆しなければならぬ戦争の惨害もないのである。

平和克復後の米國對スカンデナビア諸國、及び和蘭の關係は大戦以前とは大差がない。米國は和蘭に對して、小麥その他食料品及び和蘭國民の消費たる、或る製造品を輸出するであらう。併しながら和蘭は、中歐全部に散布せられるために和蘭諸港に輸出される工業品の容量が殆ど激減したので過去に於て得つゝあつた如き全

然地理上に起因する通過貿易の利益を獲得することは出来ないであらう。

スカンデナビア諸國は米國より、自國消費にも不十分な小麥、麥粉、及びその他の穀物を購入する。また石油及び銅をも米國に仰ぐのである。その代り米國は主として木纖維及び特殊品を購入するのであつて、殆ど従前と變化しない通常の貿易關係である。

瑞西は中部歐羅巴の中心にある孤立的經濟國である。而も米國から食料品並びに工業用原料、主として綿花を輸入し、高級紡織になつた綿布及び美術的製作の各種製品を米國に輸出する、これが過去に於けると同様に將來の貿易である。

イベリア半島は自餘の歐洲各國より懸絶してゐる一團であるが、海上交通に於ては米國から甚だ遠くはない。過去に於ける葡萄牙の輸出は主としてキルク及び酒類であつた。國家的禁酒令は酒の市場を破壊し、キルク市場を減少せしめた。而も葡萄牙は、米國より或る生産品を求めらるであらう。そして、その物貨に對して、他國に自國生産品を賣却して得たる正貨を以つて支辨するであらう。西班牙の通商は、現在及び將來に於ては米國の注目すべき價值あるものである。而してその酒類、オ

リーブ油、並びに果實の輸出は好調を持続することが出来る。西班牙は米國の石炭及び綿花、並びに、特に鐵鋼製の完成品の莫大なる種類を必要とし、同時に、鐵道その他公共事業に投ずるために米國の資本を要求する。これ即ち米國よりの材料購入を意味するものである。

要するに歐洲大陸は全體として觀察せられねばならない。膨張佛國、萎縮獨逸、新生中歐諸國、スカンデナヴィア諸國、及びイベリア半島等は全て、外國貿易關係に於ける有力な要素として、米國との世界貿易中に認識されねばならないのである。

第十二章 露國と近東

國際市場としての君斯坦丁堡——黑海——ユーゴ、スラフとアドリアチック沿海州——勃牙利と羅馬尼——非巴爾幹關稅同盟——大希臘——土耳其に於ける米國の企業——露國の經濟團體——その概觀——過去の通商——米國との貿易關係——領土の減縮——現存の農業富源と鑛脈——西伯利の地位——將來の希望たる外國の資本

コンスタンチノーブルは、大戰の結果として世界の市場となつた。そして新設の米國商船は米國をしてこの市場に至らしめた。二つの勢力は、一に對して反撥する。近東の勢力均衡は曾て東ローマ帝國建設の道程に於て熱烈なる武力を以て記録された。而も經濟要素としての勢力の均衡は遂ひに現出しない。武力は遂ひに擧げない。そして、それは一時的のものであつて、今や沈頹して了つてゐる。政治的競争のために、貿易發展に對する障壁は取り除かれ、而も將來の通商にありては、米國は歐洲貿易の豫想に不均衡なる勢力を示すに至るであらう。

コンスタンチノーブルは最早、歐洲列強の擔保ではなく、またはナポレオンの云ふ如き世界の掠奪品でもなく、舊世界に蟄居してゐられない國際通商の門戸として、

正當なる地位を有してゐる。中立及び國際管理下の自由なコンスタンチノープルは恰も黒海に於ける南方露國と小亞細亞の重要地の如く、巴爾幹諸國の出入口としてボスボロス海峡の歴史的都市たることを認識せられてゐる。のみならず、土耳其の死手より解放された世界の市場である。

通商國の中で英國はこの結果を悦ぶべき最も多くの原因をもつてゐる。コンスタンチノープルは露國領たるべしとの協商各國の全承認を得て、一九一五年のトレボツフ條約が發表せられた時、その知識は陰慘に、朦朧と認められたのであるが、それは獨逸が武力を振つた時の對抗手段として大歐亞勢力の聯、が必要であるとの結果よりの承認であつた。然るにそこには近東の通商の自由が露國主權下に困惑せしめらるべき將來の豫示と地位の前兆とがあつた。而もその豫示は單一國としての露國の消滅と共に一掃されたのである。

新らしき條件の下に黒海は、今までの露土間の湖であつたかほりに世界の湖となつた。そこには巴爾幹の妨碍があるけれども、また他地方に對しての自由港の保證がある。米國に對する自由は、大洋に於ける如く黒海のそれら自由港に於て商船の

出入が出来、非常に偉大なものである。而もこれと同様の權利が英國にもある。そして、またダニユープ河口を通じて英國商業の莫大なる量が出現したのである。大戰以前この貿易量はダニユープ貿易量の過半數を占めてゐた。

近東の新しき地圖は決して該地方の廣汎なる貿易性質を急激に變化しない。而も政治的國境にも拘らずそこには、商業に於て明確な歐亞の境界線がない。商業に對する機會は、人種的及び言語的境界に關係せずして、地理上の境界線によりて現はされてゐる複雑から或る意味に於て全然獨立して居る。

ユーゴスラフはその富源並びに産業に於て特に、エージ海に至る塞耳維の出口にも拘らずアドリアチック問題の主要部をしめてゐる。奧太利は再び陸上輸出を封鎖することによりて政治的に塞耳維を強壓することは決して出来ないであらう。而も塞耳維の小量の剩餘農産物を外國市場に出す特權の代償として、政治的大讓歩が屈伏せしめられた屈辱的條約は、今後決して行はれないであらう。かくて、ユーゴスラフは、その主要物産は農産物であるにも拘らず及びその貿易は農産物であるけれども、新國家の一部としては塞耳維よりも、更らに小量の農産物しか産出しない

のである。剩餘農産物は輸出せらるべきであり、その反對に農用器械及びその他の工業品を輸入すべきである。而して、若干の鐵道の敷設が必要となり、小規模の企業が計劃される。そして、これらに對して外國資本が必要となり、資本提供國は莫大なる報酬的貿易をなし得るのである。

講和條件の一として領土を減削せられた、縮少勃牙利は尙ほ可成りの富源をもつてゐるがこれらは主として、全然ではないが、農産物である。世界的に有名な産物たる蕎麥油は、世界貿易中の重要なものではないが、而も勃牙利に於ける豊富なる産物の源泉である。政變の後、此等富源を發展せしめんとする傾向があり、此に於て、再び外國資本の問題が起つてくるのである。

大戰の結果として、領土的にも自然的富にも、羅馬尼は巴爾幹諸州の最も重要なものとなつたのである。獨逸の濫取から回復せんためには數年間を要するけれども石油井は産出力を殆ど失つてはゐない。併しながら、羅馬尼の穀物畑には最大なる自然的收穫がある。而して併合地は大部分小麥地方であつて、歐洲食料市場に供給する穀物の數量を増加したわけである。農用機械は輸入物中の首位たること従前

の如くであるけれども各種の他の工業品も多數輸入されるであらう。羅馬尼は外國市場を覬覦する巴爾幹諸州中、事實上及び積極的に、最も惠まれた國である。黒海の出口を把握してゐることは、更らに國家發展の保證である。

歐羅巴に残存せる土耳其の殘部は主として農業地である。併しながら該地は經濟的並びに通商の意味に於ては巴爾幹地方の一部として觀察されても好いのであつてその貿易は何等の不便もなく巴爾幹諸國より小量であるか、若しくはそれ以上である。

經濟的に各國を統一せんとする巴爾幹關稅同盟の計劃は、諸國が政治的に、鞏固に一致してゐるけれども近き將來には實現しないであらう。人種上宗教上の反對がまた提唱せられ、政治的反感もまた、かくの如き豫想を抱くために猛然に發展した。けれども、最も廣義に云へば巴爾幹の全地方は一市場として見做されて好い。而してまた外國資本投資の一市場とさへ見ても好いのである。

過去に於ては巴爾幹の貿易關係を全然歐洲各國に相對してゐると観る傾向があつた。地理書はこの見解を主張してゐる。けれども地理書は絶對的のものではない。

米國の農用機械は常に、農業地方に好市場を有してゐた。而もその他の工業品も市場なしではなかつたのである。それにも拘らず從來の貿易は多くの輸送上の困難があつて、實際は倫敦及び漢堡を通じて買ひ込まれてゐた。大西洋及び地中海諸港と黒海諸港との直接航行米國商船は、以上のハンドキャップを壓服した。また、巴爾幹が米國へ輸出する小數物價に對する直接市場を提供し、常に直接運輸利益のある貿易の増加を保證してゐる。

大希臘は米國製產品に對して大市場を提供すると共に自國製產品の市場を見出さうとしてゐる。希臘は立派な大理石と同様に乾葡萄、オリーブ油、煙草及びその他の農産物を米國が極めて需要してゐることに氣が付く。而も米國にとりて希臘は石炭原料綿、石油、食用油その他諸種の工業品を購入する華客である。のみならずまた上記各國と同様に借款國であつて、その返済の一方は自國産物を海外に輸出することである。更らに希臘は投資市場であつて、企業に投せられた資本はその材料を米國に仰ぐのである。

亞細亞土耳其は黒海並びに地中海双方の貿易範圍であつて、この一部は特殊關係

をもつてゐる。即ちそれは小亞細亞である。シリアに於ける所謂勢力範圍は、戦前の國際通商に明確なる意義を有してゐたが歐洲各國がそれを整理して、土耳其の認可した鐵道敷設及びその他の企業を、實行する資本を有しないために今やその意義は殆ど消滅して了つた。米國のみが資本を有してゐる。而も、歐洲内地に至る咽喉である所のペイル、スミルナ、アダリア及びアレキサンドレッタ等に達する直接交通の利便ある汽船をも所有してゐる。そこには此の地方の通商に於ける米國の利益を表示する何等かの豫兆若しくは圖解があるのである。

その最も廣汎な適用に於て、米國將來の貿易が近東に及ぼす影響は借款及び投資にある。塞耳維、希臘、及び羅馬に米國政府のなした借款は莫大なものではなかつたけれどもそれらは近東諸國全部の秩序ある政治的産業的發展の中に一定收穫を得せしめたのである。將來の問題は、現在の状態が大規模の企業に投せらるべき私營資本を勃興せしむるに如何に縁遠きものであるかと云ふことである。

舊政體の土耳其時代にかくの如きことが試みられたことがある。即ち、それは凡てが土耳其の許可を受けねばならぬ時期で、土耳其皇帝は決してその許可を與へる

に客ではなかつた。而も許可が既に與へられたものである様な困難なものには皇帝は關係しなかつたのである。一九一一年に、資本五千萬弗を有する米國企業家聯盟が組織され、鐵道、公共事業等の大擴張計劃及びその他の事業發展計劃を有してゐた。可成りの富源が發掘によつて發見せられ、一時その計劃は成功した様に見えて、新しき市場が米國よりの原料に對して創設された様にも見えた。そこへ大打撃が振りかゝつてきたのである。

獨逸の手は漸次壓迫してきた。そして米國の企業家聯盟は至る所で封鎖された。バグダッド鐵道は事實に於て米國の計劃によりて、危險にはされなかつたが、併し、獨逸は太平洋對岸から何等の競争をも受けなかつたやうである。獨逸政府に派遣された外交代表及び抗議は、獨逸當局の皮肉なる否定に出會したのである。伯林政府は、その有名なるコンスタンチノール駐紮大使が干渉しつゝあることを知らなかつた。確に獨逸政府は、右大使に干渉することを命令しなかつたのである。亞細亞土耳其に於ける英國企業抑壓に成功せるに比すれば、米國企業の殲滅は兒戲に等しかつた。併しながらその行爲は有效なものであつた。米國の資本家等は財政上の恐

慌を豫見して遂に損失を見越して撤回したのである。

かくの如きことは、新しき條件の下に於ては再び繰り返へさるゝことはないであらう。併しそれに就いての智識は未だ跡を絶つてゐないので米國資本家をして逡巡せしめるのであらう。然しながら、近東に於けるよりもはるかに誘導的な投資市場ではない。そして、これら諸國民に一層大なる利益を得せしむる何物もそこにはないのである。而して、漸進的ではあるが米國資本は尙ほコンスタンチノールにその前途を發見するであらう。而して後はじめて近東との米國貿易は明らかに増加されるのである。その需要は農業用機械と共に工業に對するものを大いに要求し、石油發動機、トラクター、鐵器、機械器具、電氣用具、機械企業、鐵道材料、自動車、家屋裝飾具、麥粉、綿種油、綿製品、その他雜種の物貨を要求する。一般貿易は仲介者としての倫敦及び漢堡の解散と紐育よりの直接航路を有する米國物產集散本部としてのコンスタンチノール建設によりて發展してゆくであらう。

過去の露國は全世界の陸地七割以上を領有してゐた。その人口は一億七千萬以上であつた。而してその產物は廣大なる領土及び氣候によりて非常に多種類であつた

が發達した産業は主として農業であつたけれども、次位のもは毛皮、漁業、林業である。また、鐵、石炭、滿淹、石油、及び貴金屬等の鑛脈をも有してゐた。

一九一四年に於て、約一億九千四百萬エーカーの土地が主として小麥並びにライ麥の麵麩原料を生産し、四千三百五十萬エーカー以上が燕麥を八百萬エーカーが馬鈴薯を産出した。一九一五年にはこれら農作の全地は三億二千三百三十四萬エーカーで、その他玉蜀黍の四百五十萬エーカーと、大麥の二千八百五十萬エーカーとがあつた。量に於て云へば小麥産額は二千四百八十萬噸、ライ麥は二千五百四十七萬五千噸、玉蜀黍は一千四百三十五萬九千噸、馬鈴薯は二千四百八十三萬八千噸であつた。鑛産物中には、米國産額の約二分の一を出だす油田と、印度、ブラジルの産額加算より多量を産する高架索の滿淹及びドン河流域の石炭並びに鐵がある。世界の最大國たる露國を經濟國としての概観は以上の荒漠たる領土が全國から除去された後に殘存せるもの、前途を判定せんために如上の如く行はれたのである。過去に於ては、舊露國には約二十の經濟團體があつて、障礙物として遇されてゐたこれらから開戦最初の二年間英獨の救主であつた露國の經濟上及び通商上の政策が捻出さ

れたのである。此の政策はセルギウス、ウキット伯一個人の肝煎で現出したものであつた。國家的經濟保護政策は專制政府時代にその源を發したもので、ウキット及び彼の學派たる進歩的露國人はその中に新しき國家生活の萌芽を見た。而してその基調は國産の原料並びに製品に高率なる税を賦課することに依つて、國內産業を發達せしむることであつた。たとへば、その計劃は非常に直接的なものであつたので外國の農用器具製作者及び電氣企業家は露國內に出張所を設けんと企劃し、又は名目上の出張所を設立せんとした。それらは全然國內の工業であつた。而して、斯くの如き保護産業政策より、ワルソー及び莫斯科の紡績工場並びにロップの化學工場等が建設せらるるに至つたのである。通商政策は、外國貿易がその主因であつた故に決して經濟政策の直接系統を引いたものでなかつた。通商條約のそれと同一なる無條件的最惠國條款を含む二重關稅制度の下に商議せられたものである。

露國は、独自の經濟組織の下に發展した。一九一三年に於ける外國貿易總計は、殆ど十五億弗で、輸出は約七億八千三百萬弗で、輸入は七億七百萬弗であつた。實に此の貿易の大部分は歐羅巴露國の貿易であつて輸出の九割乃至九割一分、及び輸入

の八割三分乃至八割五分の取引をしてゐたのである。地方自治團と同時に露國領たるフィンランドは輸出入の約四割を貿易し、亞細亞露國は輸入の二割と、輸出の六分を行つてゐたのである。

獨逸は露國貿易の主要なる地位を握つてゐる。大戰以前、獨逸よりの輸入は總計の四十七パーセント二分の一、若しくは三億三千六百萬弗に達した。これ等輸入の若干は獨逸製品ではなかつたけれども、それらより生ずる仲介利得を、漢堡は獲得してゐた。而も獨逸自身は、露國より主として、農産物を輸入してゐたが、それは決して獨逸のそれとは比較すべきものではなく總額二億三千三百萬弗で、露國の輸出總計の約三割に該當してゐた。此の通商の一方面は即ち膨脹的貿易に近づきつつあるのを説明した、此の事情は常に獨逸の對露貿易絶對權と争ふ様に見られてゐる。統計家は戦前に於ける米國と露國間の實際貿易に就いて何等信を措くべき統計を造つてゐない。これは商品の幾分かが、地中海諸港に廻送されたものであるがその大多數は、主として獨逸を通過して運輸されたがためである。米國領事の調査は一年に於て輸入綿の統計が一千萬弗であることを示した時に、實際の輸入が五千萬弗

に進歩してゐるので全然統計は信據し得られないと云ふ確實なる實證を與へた。原料綿花に加ふるに露國は米國から耕作用の農具及び新設工場の用に伊する半成品並びに鐵道企業用機械その他莫大なる各種の機械等を輸入した。そして、米國は露國から羊毛、大麻、亞麻、皮革、燃油、甘草根及び滿俺鑛等を輸入したのである。米國は、悲惨なる萌芽の胚胎してゐた時局の中にある專制政下の露國とさへ、その貿易を持続することが出来た。大統領タフト政府の外交は、議會の否決を豫見して、米露間の條約が、猶太人に對する露國の差別待遇なる理由に基き大統領の權能で取消したために國際的非難を免れたのであつた。此の條約の取消は、輿論に應じて、諸外國に適應せられてゐる露國の協定稅率繼續を要求することなくして米國にも適用せらるるに至つた。

ノックス秘書の行へる外交を通じて、露國は自國の計劃の下に此の條約を繼續した。併しながらそこには米國製產品に對して差別せんとする強烈なる要求が報復の官僚的條項間に存在してゐたのである。皇帝の政府が顛覆せられた時、米國大使は前政府に代れる臨時政府と通商條約を商議すべく命令せられた。而もその商議は過

激派の運動の性質が商議を不可能にならしめない程度に政權を繼承したあとで實行せられねばならなかつたのである。その結果、舊帝政時代の露國の各分裂國に有效なる對露米國貿易政策はなかつた。

或る種の將來の貿易關係が設定せられねばならないけれども、中央露國、若しくは他の各地方の何れかとの通商關係に就いてのみ、時期を決定し得るのである。この事は米國のみならず諸外國にも同様に眞實なものである。而して舊露國より主として縮少せられたことは疑ひもなく永續するのであつて、波蘭は分離せる經濟國の一である。露領波蘭は常に米國に對して、亞麻並びにその他の農産物を輸出してゐた。そして亞麻は今日に於ても尙ほ需要せられてゐる。ワルソーの紡織工場は米國の原料綿花に大部分負ふてゐる。而もその工場は將來に於てこの綿花の保證を與へてゐる。波蘭を失つたことは露國に對する主要なる經濟地の損失である。唯莫斯科のみが工業中心地としてのワルソーに對抗するのである。

領土上より云へばその他の主要地も分離し易き形勢にあり、而も既に分離したのもあつた。けれどもそれらの分離地もいつか聯邦露國の下に集合せらるると云ふ希

望がある。ウクライナは全黒海地方を包含してゐるこれら分離地中極めて最大重要なものである。ウクライナの豊沃なる土地は輸出に供すべき莫大なる小麥を産出し、その運輸はオデッサをしてブエノス、アイルスに對抗する商港たらしめた。廣大なる石炭脈及び鐵鑛脈を有するドン河流域は、ウクライナに接續するこの地方に莫大なる前途を有する鋼鐵工業の發達を保證する工業能力を與へてゐる。金屬工業は大戦勃發と同時に愈鞏固なる基礎の上に立つたのである。露國は鋼鐵鐵道を印度に輸出さへしたのであるが、政治的團體がこの經濟的團體を支配するに至るべき將來に於ての問題たるを免れない。地理的には、此の地方は露國本部より分離することは出来ないのみならず、尙ほ、この地理上の關係と同様なるウクライナの分離的地位とを有する黒海の咽喉である。

滿條礦を有する高架索は露領中發掘せられつつある鑛業地方中最も豊富なるものである。それは舊露國に附屬してゐたか、若しくは山境ではなくしてトランス高架索と併合するかも知れない。これはジョルジアと露領アルメニアとが一政治支配を組織するに至ることを豫見せしめる。トランス高架索地方の經濟上の富源はジョ

ルジアよりアルメニアに多くある。而もそれは事實上裏海地方であつてバクは石油の大出產地である。マルコ、ポーロが石油泉を発見したのは此地であつて、それは多くの駱駝に積んでも尙ほ餘りある上に燃料として極めて良好なものであつた爲に人々は遠方より燈火に供せんため採油に出かけて來たのである。五世紀半の間、この石油は量を減じなかつた。併しながらその利用は、附近の國を超えて各地に普及され、遂ひに世界的のものとなつたのである。

西伯利は地理的にも政治的にも露國より將來減少するものの一と見られても好い。經濟的には、ウラル山脈があると雖も歐羅巴露國と亞細亞露國との境界を決定するのは容易なことではない。西部西伯利の乳酪生産は、その市場を歐洲に發見し、鐵並びに炭坑が發達する時、また歐洲に供給するであらう。金礦は他國の探掘を全然排斥する部分と然らざる部分とに分れてゐるが極めて廣大に散在してゐる。けれども、歐露と亞露とを分別する境界線が確實に決定されないにしても、西伯利は地理的並びに政治的に見て、極東方面に向つてゐる。オムスクはいつか歐露より離れて全極東國民の首都となるであらう。浦潮斯德は既に桑港及びシヤトルとに連結

せられてゐる。

此の分離露國の團體に何が起るかを決定する充分なる努力に對して、時局は非常に熟思的である。而も聯邦露國が成立しやうが、若しくは非聯邦國に分裂しやうともそこには尙ほ曾て露領であつた無限の廣大なる土地があつて、開發し得る莫大なる富源と將來の外國貿易の豫測し難きものがその中に含まれてゐるのである。これらの中若干の地方は尙ほ勞農政府の治下にあるであらう。そして、修正派過激主義が凱歌を擧げるであらう。而もその他の地方は舊制度の社會組織を建設し、國家としての承認を得んとして、全然過激派の綱領を排斥するであらう。併しながら、産業上の社會主義が何處かに成功するか、又はそれが全然失敗するか、その何れにしても經濟的條件は變化せられないであらう。

獨立若しくは半獨立の状態にある地方の或るものが農産物の輸出をなし及び工業品の輸入を唯に繼續するかどうか、或はまた輸入原料より高價に値する半製品に、自國産原料を製造するかどうかと云ふことは疑問である。更らに、ウクライナ小麦の一部が麥粉として輸出されるかどうか、若しくは凡ての穀類が小麦の如く輸出さ

れるかどうかと云ふ疑問もある。而もその問題は、大部分の鐵鑛及び高嶺鑛を、石炭を使用して、鐵鋼業の發達に利用せらるるか否か、又はその原料が國內工業に於けるそれらの價值に無關心に輸出されねばならぬかどうかと云ふ様なことになつて現れてくるであらう。更らにかう云ふ問題も起つてくる。即ち、皮革の大部分は革工業及びそれと類似工業に従事せらるべきか否か、及び外國に加工木材として若しくは原料木材のまゝで供給することは好いか悪いかと云ふ様なことである。農業地方の或るものに於ては、輸出品たる精肉の缺乏及び國産牛に對する多量の供給穀物の缺乏がやがて到來して來るに違ひない。

政策が分離せる地方により若しくは再び聯合せる團體によりて決せられやうともそこには文明の自然的進展に發達せらるべき廣大なる自然富源が尙ほ存在してゐるのである。これら問題を解決する中の若干の要素はそれ自身の中に於て全然解決されるべきものではない。その主なるものは外國資本である。露國の募集した大外債の多くは腐敗せる専制政治に蕩盡された。けれどもトランス西伯利鐵道は建設せられ、その他の鐵道が敷設せられ、而して、ウキットの商議した借款の或るものは産

業發展の極めて鞏固なる形式に利用せられたのである。過激派によるこれら借款の支拂拒絶は既に過去の事件である。要するに露國、若しくは露國の縮少せる部分及び殘存せる部分が支拂することになるのである。

これは外國資本を再び露國に入らしむる誘因であらう。この誘因が、此の形式で來る時に、世界貿易中の露國の地位は再び固定的なものとなるであらう。而も斯くの如くなるには多大の年月を要するかも知れない。或ひはまた、そんなに多くの年月を要しないかも知れない。併しながら、その來ると云ふことは確實である。農産物を充分ならしめる經濟的復興は全然それ自らの中からは起り得ないのである。露國は政治上の動搖を示さうとも、世界各國へ輸出及び自國の生産組織を改革せねばならないのである。

第十三章 經濟上の南米

世界市場たる南方大陸——西班牙植民の遺風たる輸出税——工業の制限的富源——購買力源泉たる農産及び礦産——ブラジルの護謨と珈琲——銃鑽と滿俺——分權的財政政策——アルゼンチンの穀物と家畜——礦物の缺乏——ウルゲエー及びパラゲエー——智利の銅と硝石——保護關係の傾向——ボリビア及びエックアドル——カリブ地方

南亞米利加は世界が供給してゐる最も潑刺たる商業市場である。而もそれは、新しき時代を支配する條件の下にある中立商業地帯として事實上關係してゐる單なる大地方に過ぎない。全世界に於ける最も有望なる市場として、それは必然的に激烈なる競争の市場となるのである。而も一市場として理解する前に先づ經濟的基礎として理解し、及びその基礎を構成する數ヶ國の經濟政策の知識を理解しておかねばならない。

南方大陸の各種の地方及びその生産的源泉の記録は十六世紀の經濟的地位から二十世紀のそれに至る迄の迷路を殆ど示してゐない。植民時代は西班牙及び葡萄牙の通商獨占の記録であつた。この獨占は當時の反映であり、それは海外に植民地又は

領土を有する歐洲諸國一般のことであつた。併しながら各國政府が許可し保護した海賊はこの貿易獨占を修正するに最も有效なる方法であつた。

南米に於ける西班牙の經濟史は、西海岸及びカリブ地方をその内容にしてゐる。大西洋岸に於ては、葡萄牙がそのブラジルを占領してゐたため植民地の權威であつた。プレート河沿岸地方は農産物はあるが殆ど價值がなかつた併し、西班牙總督によりて秘露にある當局より整理されてゐたのである。

通商獨占到基調する西班牙の經濟政策は單に貴金屬のみを發掘する様であつた。ピザロが探檢狂の勇猛な群衆と共に秘露のインカ國を通過した時、農業はその國の賞讃すべき技術であつた。そして、金は何等の好奇心をも唆らないほど、その土地の特産物であつたのである。西班牙人の經營の下に、第一義的必要なものではないにしても、鑛業が最も優勢な事業となつた。歐洲人が河床に金塊を發見してから、葡萄牙の居留民及び葡萄牙政府は農業を棄て、省みなくなつたのである。

西班牙領植民地が、十九世紀の當初に獨立し、その後ブラジルが獨立王國となつたので通商は、特に海運に關して自由になつた。併しながら、そこに西班牙並びに

葡萄牙の政策の遺風のあるのは免れなかつた、輸出税は、この遺風の中の一である。ベンヂヤミン、フランクリンは、自國よりの輸出品に課税することは、國家經濟の凡ゆる健全なる原則を蔑視するものであると主張した。けれども、南方諸國の實驗は氏の非難點を實證しなかつたのみならずその政策は國產品に對する海外市場を減少せしめなかつた。それは、生産要素から離れて考へられねばならない經濟的南米に於ける單なる一要素である。而もそれは、世界市場としての南米大陸の價值を減するものではない。

自然は南米大陸に膨大なる工業地方たらしむべき諸種の、及び同一種の物産を與へなかつた。その富源の莫大なるものは農業であつて、金屬は甚だ粗雜に散在してゐるに過ぎない。熱帶性農産物中、特に、珈琲、ココア、果實及び護謨は、人類の消費並びに工業上の需要に應じるために、原料のまゝで諸外國に供給する。穀物及び牛肉、羊毛並びに羊肉等は、温帶地方に産出するものであつて、局限せられてはゐるが、食料及び衣類の供給の源泉である。硝石曹達は、人工法によりて空氣から此の豊富なる肥料要素を製造する科學的進歩があるにも拘らず、尙ほ依然として

世界の農業に潤澤し續けるのである。金及び銀は美術品に使用せられ、通商上の特別必須品とせられてゐる。併しながらこれらの産物はそれ自らに於ては何等工業上の根柢をなしてゐないのである。

而もブラジルに於けるが如く鐵鑛脈が多量に存在する所には石炭が缺乏してゐる。そのため根本的鐵鋼工業は行はれ得ないのである。アンデス河地方の銅及び錫は必須品でないにしても、他大陸の工業に對して價值あるものである。而も南米大陸の工業を發展せしめるほど多量に存在してはゐない。諸外國人に對する熱帶及び温帶性食料品と工業の原料との二つの富源の結合は、南米をして大購買力を得せしむる所のものである。その他の工業原料の缺乏と現在の如く集中の地理的困難とは此の大購買力の大部分を海外に向けしめねばならないことになつてくる。

それ故に南米は、豊富なる原料を所有する國が工業品とそれら産物とを交換せざるべからずと云ふ古典的經濟學者の學說と、多少制限を加へられてはゐるがそれに相當した經濟上の基礎として看做されるべきである。これが即ち世界貿易に於ける關係中に一個の團體として遇される南米の形勢であり地位である。併しながらそこ

には各自の範囲内に活動しつゝある多數の共和國は、各々その國內産業を發展せしめんとする國家的財政組織を適用してゐるのである。

南米諸國の人口は五千萬以上ではなく、この大部分は消費力の僅少な土着人である。けれども主要國の外國貿易調査に表はれてゐる如く、その購買力は人口に比して非常に高率であつて、總計は人口三億五千を有する支那のそれに比し三倍に達してゐる。且つまた、移民によりて消費者の數が増加することも確實である。此の増加は、汎米主義者のなした机上の誇張論よりも更らに更らに緩漫に表れてくるであらう。のみならず、植民し得べき茫漠たる地方があり、これらの地方が生産的及び消費的人口をもつて漸次満たされることは必然的なことである。移民によりて十年後若しくは三十年後に於ける膨脹總計は顯著ではないかも知れない。而して、その活動は今日と同様であるかも知れない。これは市場としての南米に至る通商國が何故に遠き將來を觀るかと思ふ理由である。

經濟的基礎としての南米を充分理解せんためには各地方の自然富源及び各國の財政政策を大體觀察する必要がある。人間の分布と、政治的分布が、通商的分布より

早く構成される。通商に關して廣義に云へば南米大陸は大別して三つの地方に分類される。即ち、アマゾン河よりマゲラン海峡に至る東海岸地方と、巴奈馬よりその海峡地に至る西海岸地方と、及び巴奈馬よりギアナスに至るカリブ海岸地方とである。

東海岸地方は、平野、人口並びに自然富源の各種と範圍の廣大なこと等に關して、非常に、而も最も重要に見られてゐる。該地方はブラジル、ウルグエー、アルゼンチン共和國並びに河流と鐵道の運輸によりて海外に通ずるバラゲーエーの山間地方を含んでゐる。

廣大なるブラジルは注目し値するものであるがその領土を説明する時、そこには台衆國の平地よりも更らに廣茫なる平地を有してゐるとも云へる。輸出品の主要なる二つの源泉は護謨と珈琲とであつて、アマゾン河の自然護謨は、併しながら未だ壓倒されてゐない。ブラジルの生産は全世界の供給總量の四分の一を占めてゐる。而も猛烈なる價格の動搖がブラジルに對して護謨の眞價値の固定評價を與へることを不可能にしてゐる。一九〇六年粗製護謨は一封度三弗であつたが、一九一一年には

六十六仙であつた。將來に於て、ブラジルの産物が、アマゾンの護謨が集中され、賣買されるより以上に低廉なる價格で産出し得る馬來半島諸州の、精練された護謨と競争せねばならないと云ふことが理解される。而もアマゾン護謨は培養護謨より明瞭に區別せしめる確實なる量をもつてゐる。そこには、國家の財産として、比較産物の歩合が下落し續けるかも知れないが、馬來半島の精製産物の競争によつて、猛烈に悲惨にも敗北し、輸出税の漸進的値引が命令せらるるに至るべしと斷定することは何等の理由のないことである。

ブラジルの珈琲採培は世界珈琲産出の絶對首位である。而もその統計を研究すればこれが如何に眞實であるかが明瞭になる。その統計の殆ど全部はブラジルの收穫が、世界のその七割以上を占めてゐることを示してゐるのである。ブラジルの珈琲培養に適する土地は殆ど無邊際である。そして、實際上の問題は、常に有利なる價格を持続せんためには如何にすれば生産過多を防げるかと云ふことであつたし、また將來も同様このことであらう。そこには世界の珈琲市場に於いてブラジルの首位たること及びブラジルに與ふる購買力に關して何等疑ひを容れることは出来ない

のである。

ココア若しくはチョコレートもまたブラジルの熱帯農産物の一である。それは珈琲と比較すれば可成り少量ではあるが而も、結構な國家財産である。世界のココア生産は決して、需要以上を産出しない。そして、價格の動搖も大して大きくはない。砂糖及び綿花は可成の量を以つて産出せられるけれども兩者とも主として國內消費に供せられ、及び國內工業の根底をなしてゐる。南米の温帯地方に於ける牧畜業の發達は、輸出に適する多量の皮革を産出し同時に國內消費に供すると共に海外へ出す肉類をも産出するのである。

金及び金剛石の他の、ブラジルの主要なる礦物は鐵鑛及び滿俺である。ミナ、ゲラエス州の赤鐵鑛脈は百二十億噸を貯藏してゐると推斷せられ、その鑛床は海岸を去る四百哩より五百哩の所にある。而して、これを研究した専門家は貿易上の價値あることを疑はない。これは世界鑛脈中の大なるものの一であるが國家的鐵鋼工業の根本としての石炭缺乏のため發掘する方法がない。地方的國內工業に適する多少豊富なるカーボンはあるが熔鑛爐に使用せらるべきほどの多量の石炭はないので

ある。

ブラジル政府は國內工業に鑛物の利用を保證することに關して、鐵鑛を海岸に運び、石炭を海外より移入する諸種の計劃を研究した。併しその計劃は、近き將來に於て、國家的鐵鋼工業の發展を期することは殆ど不可能である。その結果は矢張り多量な而も容易に海岸に運搬し得られる滿俺鑛が海外への輸出を續け、ブラジルの購買力に一勢力を附加するのである。

自然富源は既に研究したから、ブラジルの財政經濟政策は政治組織を理解すればわかるのである。南米各國は殆ど獨立戰爭後合衆國が聯邦になつた様に漠然と聯合してゐる。そして、中心的政府があつて、或る點に於てその聯邦は國家生活に關する凡てに於て強固なのである。併しながらそれと同時に、各國は各自の經濟的財政組織の中に活動してゐるのである。中央政府は關稅を徵集し、及び各種の國內所得の源泉を所有してゐる。

輸出税は歳入の有力なる源泉であつて、エーカー地方より輸出する護謨を除く外、凡て聯邦によりて賦課せられたのである。國家の大財産たる珈琲は中央政府に何物

をも與へない。その輸出税は徵集せられるが而も、サン、パウロ及びリオ、ド、ジャネイロの珈琲栽培國自身の用に供せられた。ココアの輸出税は、その大産出地たるパヒアによつて徵集せられてゐる。他の諸國は各自國産物に輸出税を賦課してゐるが、これらのあるものは各國の目的を破壊するほど甚だ極端なものである。米國科學者は曾て、花梨木及びマホガニー材は輸出税が甚だ高率なため到底海外に出すことは出來ないため北方鐵道の機關車に焚木として使用せられてゐると言つたことがある。

聯邦は各種の獎勵金及び補助金をもつて、國內産業を獎勵してゐる。併しながら聯合全部に亘る國內産業の獎勵は聯邦政府の任務として認められてゐる。ブラジルは此の點に關する國家政策をもつてゐる。即ちそれは極端なる保護政策である。協定稅率に關してブラジルの關稅表を研究した方法論的獨逸の關稅制定者はブラジルの關稅表は世界各國中最も高率であることを示してゐると斷定した。多種の關稅は自國の目的を破壊するほど猛烈に高かつたが、綿花並びに羊毛品に課したるものゝ如く或るものは疑ひもなく國家産業を刺戟したのであつた。

事實に於て、ブラジルの關稅は廣大なる統治範圍全部を通じて、及び議會の年豫算案を修正せしむる權限を與へられた爲政者を通じて、多少修正せられたのである。それにも拘らず財政上の意味では、ブラジルは世界貿易の關係に於て、常に海外へ輸出する自然物産の凡てに可成り高率な輸出税を課してゐる保護關稅國として見られねばならない。消費税は煙草、飲料、鹽、長靴及び短靴、その他の物品等に課せられてゐる。

アルゼンチン共和國は百二十五萬方哩の沃野があるので世界の畑として、又、世界の牧場として見做されるべきである。小麦は購買力の不變な源泉であり、玉蜀黍、亞麻仁、牛肉、羊肉及び羊毛等もそれに次ぐものである。數年間の旱魃と虫害は穀物收穫よりの収入を制限したが、而も平均して一定期間に對してはあまり變せなかつた。

牛肉及び羊肉の供給はアルゼンチンが通商國として急速に發達した一の理由である。而して、それは外國貿易の非常なる發展に於ける主要なる要素であつた。十九世紀の最終年に於ては九千噸の凍肉價格約百萬弗が輸出され、十年後に於ては十八

萬一千噸、價格一千八百萬弗が輸出された。その他の家畜生産も相當増加した。

羊毛收穫は依然として國家の富源を進歩せしむるものであつた。穀物の栽培の持續的擴大と、羊牧場地方を侵佔しつゝあるその他の栽培發展とに拘らず、將來羊毛收穫が國家の富から消滅するであらうと豫期する理由は全然ないのである。

アルゼンチン共和國をして、最近まで五十弗の資本に比し極めて大なる購買力を獲せしめ、且つ國際的に至らしめ、更らに、公共改善事業のために募集したる政府公債を支辨し、並びに外國投資による鐵道その他の企業の利益配當をなすに至るべき程好調にしたのは以上の農産輸出品であつた。

アルゼンチンは膨大なる農産の天惠があるに反し、自然は、國家工業發展上必要なる礦物富源を吝嗇にも與へなかつた。そして、國內には全然鐵鑛はない。而もアルゼンチン山脈に沿ふて極めて少量を産出する外、石炭も殆ど發見し得られない。又アルゼンチン山麓及び智利のアタカマ鑛山地方の餘沫を受けた地方にある銅脈も殆ど經濟的意義を有しないのである。而して、數年以前バタゴニアに發見せられた石油脈は、疑ひもなく燃料の供給源泉として價値あるものである。その生産額は年百萬バレル

に達してゐる。そして、これを保存し、採掘せんとする政府の手段は、浪費すべからずと云ふのである。併しながら、出来るだけ採掘され得る所の全ては、曾て輸入石炭に支辨された燃料豫算案を低減せしむるためにあてられるのである。北方のサルタ、ジュジュイ地方の通商能力及びアンデス山脈の東方裾野に沿ふメンドサ、ネクエン地方の通商能力は未だ尙ほ現はれてゐないのである。

アルゼンチンは古典派の經濟學者によりて空想せられた理想的状態に至りつゝ、あると云ふこと、及び自然物産を海外へ搬出し、國內産業を發達せしめんとする希望なく外國製品を輸入すること等の理想的状態に近づきつゝ、あるのは、如上の簡單なる研究から理解されるであらう。然も機會のある所には保護政策が伴ふのである。北方の暖かき地方に於ける砂糖栽培は保護税を以つて奨励せられてゐる。また、皮革及び羊毛工業奨励の運動は尙ほ續行せられてゐる。そして、メリヤス工業は有望なものとなつた。

併しながら、總括しての財政制度に於ては、アルゼンチン共和國は自國の富源の性質によりて創造された經濟上の地位を認識してゐる。そして、歳入の大部分は、

非常に廣範圍の消費物貨に賦課したる關稅から來るもので、輸出税は一八九〇年の財政危機以後の時代に課せられ今日に於ては撤廢せられてゐる。一九一七年の議會はクエブラコ(タンニン酸越幾斯)、凍肉、牛、羊毛、獸皮、亞麻仁及びその他の物貨に輸出税を再び課せんとする權限を與へた。そしてこれは實施されたのである。

海外購買力に關係あるウルグエーの國家富源の主要なるものは牧畜の生産である。そしてウルグエーの穀物は國內需要以上には産出しない。唯獸皮、羊毛、羊肉、牛肉、牛エキス等は主要なる輸出品である。經濟的には、アルゼンチンの同種輸出品と同様であると云はれる。ウルグエーは農業を主として奨励せんとする明白な國家政策をもつてゐる。而して歳入の大部分は輸入税から徴集されるのである。

水平線上一千哩にあるパラグエーは、世界商業に於ては主として牧畜をもつて列してゐると見做される。そして、獸皮は主要なる輸出品であつて、輸出税がそれらに課せられて以來、また歳入の主要なる源泉となつてゐる。パラグエーは牧畜の産業に於て偉大なる能力を有し、且つ、自然増殖よりむしろ植民によりて増加を來たす將來の人口に對して殘された南米中の一國である。

西海岸諸國は、鑛産方面より云へばアンデス山脈の豊富なる鑛脈があるけれども農産物に就いて仍且論じられねばならない。智利は海國貿易に於て、曹達硝石若しくは硝酸ナトリウムを所有してゐることに大部分起因して、一頭地を抜いてゐる、これらの白色を帯べる黄色砂漠地方は、その地震で地表が破れて、下層の地層が發散過程に出逢つた時にも草木の葉を傷ひ得なかつたのであるが、該地方は、約年産三百萬噸を輸出してゐる。

自然の寶富の大源泉を有する智利が硝石脈の消耗によつて漸次逼迫しつゝあると云ふのは、最近に至るまでの科學者の説であつた。併しながら、新しき發見は硝石の量が莫大ではないにしても尙ほ新鑛脈があることを説いてゐる。而も加工の硝石に關しては、それらが爆發物に全然製作される事かも知れないがそれは甚だ高價なものであるとを充分表はしてゐる。且つこれは何故に世界の農業に對する肥料に、自然硝石をなさしめやうとしないかと云ふ理由の一である。政府は戰時中加工硝石の消費量を計算しない。併し、個々人は平時に於ける生産の計算中に加算せねばならないのである。而して、智利硝石が該國の永久的所得源泉であると云ふのは合理的

的な結論である。

智利は無限に銅を有し、且つ劣等なる鐵鑛の莫大なる鑛脈を有してゐる。のみならず、此國には石炭もある。けれども大部分褐炭で自國及び地方的工業用の需要を充たすだけ充分ではない。そしてまた一方、工業用の目的を以つて、鐵鑛並びに石灰石とを一緒にすることは尙ほ異常な成功をしてはゐないのである。で、米國資本家の管理と經營との下に、その鑛脈は智利の鐵鋼工業に對してより、寧ろ、米國の鋼業に利用せらるゝに至つた。そしてその鑛物は智利に於てよりも、ベツレヘムに於てはるかに價値あるものである。

智利の中部谿谷は輸出し得べき或る農産物の多量を出たすのであるが荒涼たるパタゴニア主島及びマ格蘭海峡の羊牧地たる群島は世界の羊毛供給に生品を送る様になつてから輸出の源泉として更らに重要なものとなつた。

智利の經濟政策は如何なる所でも、適用し得るならば直ちに施行せらるゝ如き猛烈なる保護政策である。戰爭中に構成されたる紡織工場はその一例である。關稅より所得は、決して不思議なものではなかつたが而も歲入の殆ど大部分は硝石の輸出

税から獲られてゐる。智利は銅が硝石の如く自然の獨占ではないこと及び世界の銅と競争せねばならないことを知つて、銅に輸出税を賦課することをしなかつた。そして、銅に何等の課税も負はせられなかつたのである。

秘露は自國內にあるアンデス山脈の廣大なる地方に擴がつてゐる異常なる鑛脈を所有してゐる。貴金屬より切り離して考へる時、その鑛産物は銅である。而もそこには瀝靑炭の大量があり、セツロ、ド、バスコ地方に於て、これらはある地方的利用に供せられてゐる。けれども大部分の炭層は交通の便を缺くために採掘不能である。けれども斯くの如き利便はいつか與へられるであらう。併し、直ちに實現せんとすれば莫大なる經費が必要である。鑛業會社の多くはアンデス河の水力を利用し大規模の水力電氣工場が銅の製練に應用されてゐる。秘露の北方には石油田があつて、その生産品は鐵道に使用せられ、約二百五十萬バレルを輸出し、尙ほ年々増加しつつある。これは購買力の重大なる要素である。秘露はまた、アルバカ羊毛、砂糖、北方の良質綿花が大量輸出せられ、一方に於ては可成の護謨がアマゾン河を下つて輸出されてゐるので農産物に關しても大いに價值あるものである。

秘露の經濟政策は保護政策の一で、そこには、綿花工業の場合に於けるが如く國內工業を發達せしめんとする可能性である。高率なる輸入税は綿製品に課せられ、而して、國內工業は大いに繁榮してきたのである。

財政制度に於ては、輸出入共に税を課せられてゐる。そして、輸出税は鑛産物、護謨、羊毛、砂糖、綿花、及びその他の農産物に課した。多年の間、護謨は輸出税の主要なるものであつたけれども、而もその關稅表は大戦中甚だしく擴大された。この國家政策の急激なる變化は、一九一八年三月二十日の法律に依りて行はれたもので、その明白なる要點は特別關稅及び價格による關稅を併合することであつた。少數の除外例はあつたけれども、輸出税は、各種物貨の市場價格がその法律に規定せられたる標準に達する迄は課せられなかつたのである。その點に就いて、規定せられたる特別稅率は、該法律に確定してある最小價格以上である實際上の市場價格以上に一割を附加することを規定したものである。大部分の生産品の不當價格は、大戦が終了してゐるのにその繼續を豫示してゐる該法律中に含まれてゐた。自然獨占ではない鑛産及び農産の何れか、この關稅を支辨し得るかどうか、及び、平和克

復後同様物産をもつて他國と競争するかどうかは、實際の後に決定せらるべきである。原則として、市場價格が法定標準價格に達する迄は、輸出税を賦課しないと云ふ條項はこの狀勢に至るであらう。けれども、その時に於ては、全然所得はないものである。

ボリビアは海岸線が缺乏してゐるにも拘らず、西海岸の國として説明しても好い。而も廣汎なる河の流域の護謨産の大部分はアマゾンを通過して大西洋に運搬せられるのである。そして、少量の銅を産出するが、ボリビアは錫の産出をもつて主要なるものと見做されて好い。此の國は錫産山に於いては馬來半島の次に位してゐる。ボリビアはその國家歳入を輸出入の關稅によつてゐる。而して、主要物産としての錫は、護謨輸出税が少量の歳入を提供するけれども、最大なる所の源泉である。

エクアドルは國家富源の緊要なるものであつて、それはココア、又はチョコレートである。そして七千五百萬封度を産出し、年々増加しつつある。その他の農産物には珈琲、護謨、棕櫚の實、及びその葉、巴奈馬帽用の藁並びに獸皮等がある。尙ほ鑛物も多少ないこともない、エクアドルは國家歳入の殆ど全部をココアの輸出税

から得るのであるが、關稅が、地方産業を發展せしめんために課せられ得る所には何所にも賦課された。

カリブ地方は大西洋へも太平洋にも大に面接してゐる北海岸地方と云はれて好い。勿論そこにはコロンビアをも包含してゐる。此の地方の主要物産は珈琲、ココア、果實、及び山地よりの護謨、金、銀、各種の硬質木質及び染料、並びに藥用植物等である。

カリブ諸國、コロンビア、ベネヅエラ及びグイアナス島等は本質的に同一産物を出だすのである。コロンビアは主として、珈琲及びバナナを輸出し、海外購買力に對しては金及び銀の産出に依頼してゐる。ブラチナ鑛脈は國家の主要なる富として考へるほど多くを産出しない。而も未だ發掘されない莫大なる富源があつてその中の一は石油である。そして、その發掘は漸次行はれるであらうがその價值は既に決定してゐるやうである。コロンビアは珈琲及びその他の産物に輸出税を課してゐる。

ベネヅエラの主要輸出品はココア、珈琲、及び獸皮である。同時に鐵及び石炭もある。それ故に一定の工業能力を所有してゐるのである。併しながら、現在の狀勢

に應じるまでに充分ではない。カリブ及び、オリノコ石油地方は通商發展上有數なるもので、石油は現代に於ける一の必須品である。財政制度は輸出入共に税を課してゐる。

經濟上より云へば、グイアナスは砂糖及び護謨を含むその他の熱帶產物並びに金をも產出すると見て大差はない。政策上及び通商上より見れば彼等の對外關係は特に和蘭領と佛國領として承認されるべきで、英領グイアナは英本國の貿易政策上共に觀察されるべきで、地理的には砂糖工業地たるデメララ島をも併せたるものとして見られてゐる。

經濟的基礎としての南米の以上の如き觀察は單に熱帶性及び温帶性農業の大體の關係を示すに過ぎない。總括して、熱帶、温帶は共に發展の見込はあるけれども、熱帶農産は主として輸出系統に屬するが故に、購買力の主要々素である様である。同様に銅並びに硝石の輸出は、鐵鋼が漸次工業要素となりつゝあると併行して産業の重要な要素である。

輸出税の賦課は諸國全部に亘つて行はれつゝあつて、保護税下にある國內産業の

發展は持久的政策と思はれる。併しながら、海外購買力の容量を變せしめないものがあるがそれは機械及び器具に對してなされる要求である。それ故に總體に於て、南亞米利加は或る輸出原料の大產出地として、及び主として工業品の消費者として觀察せらるゝのである。この意味に於て、南米は一市場として見られるべきである。

第十四章 對歐市場としての南米

顯著なる地理的状態——諸國間の貿易——歐洲への航路——巴拿馬運河——歐洲との人種的流線——地中海諸國よりの移民——佛國の智的影響たる貿易要素——西班牙と伊太利——英國が首位たるの理由——國家の順調發達——英國の投資——獨逸の方法——チエートのアラワル植民は重大ならず——他國內の市場は失はれず——白耳義通商の悲劇——歐洲の前途

市場としての南米は三つの地理的見解を以て見られるべきで、即ち内地貿易、對歐通商關係、及び對合衆國通商關係がそれである。且つまた主として濠洲、日本等とのトランス太平洋貿易、並びに對印度貿易もある。このトランス太平洋貿易は有望なるものではあるけれども、市場としての南米に於ては可成り重要なものではない。南米内の諸國間の通商は、大部分國境續きの貿易であり、そして、一部は海運によるものである。熱帯地方が同一産物を生産するので此の種の取引は殆ど行はれない。而も金屬の場合にも同様なことが云はれるのである。此等諸國は殆ど大工業の原料をもつてゐないために、工業品の貿易は紡織品を除く他、殆ど行はれない。陸上貿易は主に家畜及び農産物等の季節的取引で、實例を擧ぐれば牛、馬、山羊

羊等がアルゼンチンと智利間に多少多く取引されるのである。

比較的大なる取引は主として、熱帯地方と温帯のブラジル間に行はれる食料品である。アルゼンチン共和國はブラジルより珈琲を得るかほりにブラジルの製粉會社へ小麥を送るのである。秘露は智利に甘蔗を供給し、濠洲の收穫が少くて智利が豊作である時は智利よりその穀物を輸入する。又、秘露は綿織物を國境を越えてポリア及び智利に輸出する。ブラジルはマゲラン海峡を通つて智利に珈琲を送り、エクスアドルは海岸を下つて智利に珈琲及びココアを送つてゐる。而も智利は以上の二國に各種の物貨及び小數の工業品を輸出するのである。

南米關稅同盟の問題は時々起つた。而してそれは大陸通商に就ての大見地より見られてゐる。而もそれに對しては政治的背景が必要であつて、此の提案は決して實現出來ないものではないが、直ちに實行することは可成り困難なことである。それよりも、地理的に集合せる諸國間の國産品の自由貿易が遙かに確實に發達する。此の關係は彼等が商議し、而も未だ實施されなかつた多くの條約中に認められる。而して、それは秘露及びポリア間に存在し、且つ、智利及びポリア間にも締結せ

られやうとしてゐた。此の種の計劃が、若しも各國間に成就されたならば、それは縮盟國に利益を齎らしたであらうし、且つまた、海外諸國の生産品に對する市場としての彼等の價値を傷はなかつたであらう。

地理上の障碍は東海岸地方、カリブ地方並びに西海岸地方間の大なる物貨取引を妨害してゐる。ベネズエラの諸港は紐育からよりの距離よりもブエノス、アイルスからの方が遙かに遠距離に位してゐる。巴奈馬及びバルライソ間の西海岸中第一の商港たるグアヤキルはウルゲエー並びにブラジルの市場として甚だ多く便利である。そして、秘露貿易の咽喉たるカラオも亦之と同様である。

貿易範圍内に於ける對歐羅巴關係は二箇の立脚點より觀察されるべきであつて、その一は地理上からで、その二は人種上からである。

地理上の關係に關しては、ゼノア、馬耳塞、バルセロナ、リスボン、ポルドー、ハーブル、リバープール、サウザンプトン、プリマウス、漢堡、ブレメンより、リオ、ド、ジャネロ、サントス、ブエノス、アイルス、及びその他の東海岸諸港に至る航路は、紐育、ボストン及び費府よりの航路に比し僅かに遠いのみである。例令へば

紐育より所謂ブラジル第一の商港たるベルナンブコに至る航路は三千七百哩で、リバープールよりは、四千六十二哩である。これは東海岸諸港の何れにも四百哩以内の差であつて、大洋交通にあつては殆ど意に介せざるものであることを示してゐる。

巴奈馬運河が合衆國の太平洋航路を南米の西海岸にまで延長せしめたけれども、而も、歐洲諸港とグエヤキル、カラオ及びバルライソ間の距離を同一比例で短縮せしめた。運河の開通は、一方に於て、紐育、ノルフオール並びにニューオルレアンスを利便にしたがまた、歐洲航路をして喜望峰を迂廻して、若しくはマカラン海峡を通過するが如き長途の航海をなさしめない様にしたのである。カリブ海岸諸港に對する同様のことを除いて、合衆國は比較的に交通上歐洲以上の利益を與へられなかつた。

人種的連續、言語、法律、慣習及び傳統の遺承、智的同感の同系——これらの總ては、歐洲並びに合衆國の南米に對する可成りの關係を考察する時、注目せられねばならないものである。ラテン系アメリカと云ふのは漠然たる、誤れる語である。而も南アメリカと書く時は、總括して、及び區分して南方大陸が歐洲西方より、特

にイベリア半島より植民されたものであると云ふことがわかるのである。且つまた近代移民の主潮は、その中のあるものは中央歐洲に發源してゐるが、地中海諸國、特に伊太利より來てゐると云ふ事實をも表示するのである。

ブラジルを除く南米諸國全部の國家的基礎は西班牙人であり、ブラジルは葡萄牙人でありその中には多くの亞弗利加の混種がある。西班牙人と葡萄牙人とは甚だしく相違してゐるけれども、ラテンの特徴に就いて云へば多少一致してゐる點がある。西班牙の南米移民は尙ほ繼續されつゝあつて、伊太利の移民は最近半世紀に發達したもので、漸次増加しつゝある。ブラジルのサン、パウロに於ける定住人口の三分の一は伊太利人で、ブラジルの他の南方諸州は伊太利人の激增を示してゐる。移民によりて利益されたウルゲエーの如きは主として西班牙からのものであつて、西班牙よりアルゼンチン共和國に至る商船は不斷に往還してゐる。併しながら伊太利のそれに比しては殆ど比較にならないのである。

アルゼンチン共和國は八百萬の住民を有してゐるがその中三百萬は伊太利生れであるか若しくはその子孫である。世界の南方温帯地方に於ける最大都市たるブエノ

ス、アイルスの人口中四分の一は伊太利人である。而も、アルゼンチンは地中海諸國からばかりではなく、遠く北方からよりも移民を歓迎する政策を執つてゐるのである。

パタゴニアは最早不毛な土地ではなく羊並びに牧牛に適すると共に小麦栽培やその他の雜種の農作に適する農業地方となつてゐるが、温帯地方に住する數百萬の人々の移民を熱望してゐる。而も一方に於ては中央及び北方アルゼンチンも亦、熱帶的精力の消耗を來たすことなく北方民族の住み得る土地があるのである。政府はウエルシユメン、瑞西、露領波蘭、ポエル、及び中央歐羅巴のスラヴ等の植民を獎勵してゐる。此等の植民は開始せられつゝあつて、來るべき半世紀の中には、アルゼンチンの人口に影響を與へるであらうと思はれる。併しながら、過去の猛烈なる西班牙の植民と、現在の激烈なる伊太利の移民とに依つて、現在の國家の形式は明らかにラテンである。

此の歴史的遺風と、非常に優勢なる西班牙、伊太利、並びに葡萄牙の言語とをもつて見ても、如何にラテン民族の思想を有する人間が南米に大發展をなしてゐるか

い理解されるであらう。且つまた、常に、西班牙亞米利加主義の復興に對する知識的運動があるかと云ふ理由をも理解せられるであらう。併しながら更らに大なるラテンの知的勢力は即ち佛國である。

南米には佛國人は殆ど小數しかゐないのであるが西班牙人に比較すると佛國の影響ははるかに大なるもので、ブラジルに於ては、その言語が葡萄牙語であるにも拘らず國家的特色に何等確然たる葡萄牙の知的感銘を與へてゐないに反し、佛國の知識主義は盛に提唱されてゐる。佛國の思想はブラジルの文學に大影響を與へ、該國の政治組織に對しても非常なる直接的影響を及ぼしたのである。實驗哲學の提唱者たるオーガスト、コムトの學説はその學派の者が何等の努力をしなかつたがブラジル王國を顛覆して共和國を建設せしめた最も顯著なる要素であつた。

最後に、新聞紙が西班牙人、伊太利人、葡萄牙人間に發行せられ、且つ、凡ゆる教養ある階級が佛國と密接になつた爲に、國際的の要素として歐洲の人心に映するに至つたと云ふことが理解されるべきである。これは、通商上に反映的影響を與へた。そして、時々『北米合衆國帝國主義』Yankee Imperialism——と稱せらるゝ幽霊

と競争するために南米内のラテン同盟を造らんとする運動の計畫に供せられたこともある。又、時としては、南米諸國と歐洲のラテン國との貿易を増加せしめんとする實際的計畫の根柢をもなすに至つたのである。これは將來の貿易關係に於て認識せられねばならない潜勢要素である。

民族的並びに知識的連續を概観して、その實際的見地より狀勢を批判せんとする研究者は西班牙、葡萄牙、伊太利並びに佛國さへも、何故にラテン民族に非ざらざる歐洲國、即ち、英獨に比較して、可成り小規模の貿易をなしつゝあるかを質問するであらう。而もその回答は、西班牙及び伊太利は民族的同情の或る範圍に基礎を有して、好調なる通商を營んではゐるが、この他の諸國は莫大なる海外貿易に對する國內の根柢を有してゐると云ふのである。彼等は廣汎なる工業國に至るべき原料を缺いてゐる。而して、市場としての南米は主として、機械を含む工業品の市場である。伊太利も西班牙も兩者は南米に銀行その他の企業に對して多少の資本を有してゐるとは雖、産業を發展せしめる莫大なる海外投資に對する剩餘資本を缺いてゐるのである。

佛國はブラジルの鐵道、北部アルゼンチンの鐵道、及び銀行等に多大の投資をしてゐる。而して、利益配當と共に、此の投資を通じて材料を供給する利益を得てゐるのである。而して佛國の對南米貿易が甚大であることは、大部分社會的條件に起因してゐる。中産階級は尙ほ未だ南米に發展してはゐない。けれども、かくの如き階級は今や現れんとしてゐるのである。その結果、消費者は購買力を制限されてゐる極貧者の大集團であるか、若しくは、莫大なる購買力を有し、思ふ存分贅澤品を購入し得る一部小數の大富豪階級であつた。而して凡ての文明的精巧なる美術品は彼等富豪のものであり、佛國は商品としてこれらを供給した。

南米貿易の第一位は最も強健な理由に對する英國によつて占められてゐる。カンニング氏の豫見によりて、四分の三世紀間、英國は何らの競争者をも持たなかつた。カンニング氏は十九世紀初期の第一の貿易政策家であつた。氏は英國は西班牙の專制力を回復せんとする神聖同盟に對抗するために米國と共同すべきを米國公使リチャード、ラッシュユに薦めた。そは若し叛亂植民地が再び西班牙の主權下に來るならば西班牙の貿易獨占は依然として繼續すると云ふことを豫見したからであつた、

モンロー主義に關するカンニングの迷論は、英國首相が單に政治的自由を愛するに過ぎないと空想した或る小數の皮相なる歴史家によつて抉出されたものに過ぎない故にそれを茲で抹消する必要はないのである。植民地が完全に獨立する以前に、居留民はプレート河畔に於て英軍を撃破せねばならなかつた。カンニング氏は英國に對するそれら植民地の通商を欲してゐた。而も氏は彼等が獨立すると同時に自由市場を開設すべしと云ふことをもつて、彼等の政治的獨立を激勵する全然合理的手段によつて目的を達したのである。

英國商人は直ちに南米全土に活動し、通商の流は本國との間に横溢した。此の貿易は、最初から英國が持續してゐたもの、及び漸次膨脹し、強大となつた海運の利便に依つたものである。併しながら英國貿易の更らに有力なる助成者は、その投資であつた。そして、投資の有利なる市場を探索しつゝある無限の英國資本家は、大戰の勃發當初、英國がそこに約四十億弗を投資するまで南米全土を潤はしてゐた。南米に於ける英國の此の投資は、英國貿易の有力なる源泉であり、英國が歐洲のラテン國と南米諸國との民族的及び知的同系によつても何ら大なる影響を蒙らないと云

ふ理由を説明するものである。

英國は大戦第一年の對南米貿易に於ても頑強に舊狀を固執した。併し、戦争が愈々激烈となり、英國の輸出持續政策が一層緊迫せる考察をしなければならなくなつたので、此の貿易を可成り縮少せしめたのであつた。且つ石炭の輸出は自國工業及び聯合國工業の需要のため制限されねばならなかつた。そして、機械及び鐵道も同様の狀況に立ち至つた。而も綿花市場さへも猛烈に縮少されたのである。併しながらその暴落は實に一時的のものであつて、永久的のものは一つも失はれなかつたのである。米國が全然參戰し、その結果が最早疑問を要せざる如く確實になつた時、英國通商委員が南米の諸國に派遣された。これは一九一八年の盛夏である。而して再び南米貿易を開始したと公表したのである。

休戰條約調印後の二週間に南米全土にある英國領事は、空虚なる庫を満たすために渡航せんとする商人に航海の便益を與へられたと云ふことを發布した。而して船も商人が渡航し又購入物貨を積載して歸還したりする用に供せられ、斯くの如き方法は英國をして縮減せる貿易を再び復活せしめ、同時に獨逸の貿易を浸蝕せしめ

るに力があつた。且つまた、過去の條件に依りて測定せられた市場としての南米に英國が充分なる繁盛を持續するであらうと云ふことをも確實にしたのである。併しながら凡ゆる種類の公共事業、港灣事業及び鐵道敷設等に於いて、將來の英國資本が、過去に於けるが如く南米に投せらるるかどうかは頗る斷定し難きことである。即ち、英國貿易は南米市場の發達と相應じて、成長すべきものでないことを示してゐる。而も英國貿易は消滅するものではない。

獨逸の南米貿易は普魯西の隆昌と共に發展せる貿易と、及び全世界通商に入れる經濟的發展の異常なるものゝ一であつた。農業國から運輸し、若しくは工業國になる聯邦の道程にあつた此の時代の初期に於ては、南米の農作地は不斷に組織的に而も町疇に耕作せられてゐた。豊富なる資本を有せず而も莫大なる利益を得んために大規模の鑛業發展及び鐵道企業を計劃せんとする如き敢勇をも持つてゐない獨逸は保守的性質のものに投資した。併しながら、水力電氣の發達に至つては獨逸は他國よりも一頭地を抜いてゐた。が、獨逸の資本は、主として、硝石産地、公共事業、銀行、及び商事會社に投せられたのである。

全世界に一千の貿易會社を有する漢堡は、南米に特に注目した。漢堡にある會社は、自ら、獨逸に關聯せる凡ゆる大輸入會社に統一せられた。又獨逸は商船航路に投じた資本によつて實施する貿易から可成り莫大なる純益を獲たのである。ブラジルの珈琲收穫は大部分獨逸會社の經營で、この多様な活動の凡てから見ても、英國の投資に比較すれば獨逸の南米投資は少量ではあるけれども三分の一世紀間に建設せられたその貿易は、英國が一世紀間に發展したものに比して、甚だしく遜色あるものとは思はれないのである。

聯合側が獨逸と講和を締結し、獨逸の輸出貿易を妨げない様になれば、直ちに獨逸の工業家等は、國有としてはあまりに少數な商船しかもつてゐないけれども再び南米に注目するに至るであらう。而も南米は對獨市場若しくは獨逸品に對する市場を拒絶する様なことはない。のみならず南米は獨逸の通商的活動に對し、従前通りの市場たることは確實であつて、これは、一般的感情ではないが而も、それが屢々國論を構成し、若しくは知識に於けるよりも寧ろ、人間の渴望を型成するものである。南米に植民せる獨逸人はこの大陸をもつて獨逸品に對する市場であると見做して

ゐる。そして彼等の中に少くとも重要ならざるものは無數にある。これは南方ブラジルに於ける獨逸植民地のことであつて、そこは最近三十年の植民にかゝるもので且つ、チエートン族移民の新しき流ではないが、寧ろブラジルに對しては眞の禍根であつた。而も移民は人種的同系と言語と宗教、學校及び慣習を承繼してゐた。學校並びに教會はその補助金が本國より支出されるので伯林から管理されてゐた。對獨開戦後、ブラジルは此の内部よりの慘禍に對應するために強硬なる手段を執り、獨逸の特色ある總てのものを嚴烈に壓迫したのである。未來に於けるブラジル國は獨逸植民地であつたサンタ、カタリナ諸州及びリオ、グラランド、ド、スルを統治するに至るであらう。

併しながら、該植民地は獨逸の通商上の財産ではなく、南方ブラジルには約百萬の獨逸人が居住すると屢々言はれてゐるにも拘らず、その數は四十萬以上では決してない。百萬人と誇張されて喧傳せられたもので、而も大戰以前長期間かくの如く使用せられてゐたのである。ブラジル政府自らは決して、此の人々に獎勵を與へなかつた。

而して獨逸植民地に就いての眞實なることは、外國物貨の消費者としての住民は殆ど零であると云ふことである。彼等は甚だしく田舎式の人間であつて、退歩的である。而も、彼等の消費する總ての物貨を自ら本質的に生産することが出來たのである。全く、彼等は外部よりの供給を恐れて少數の必需品をもつて原始的な社會を構成してゐた。

獨逸の眞の商業はリオ、ド、ジャネロ及びサントスの諸港からブラジル人に物貨を供給することであつた。珈琲收穫の利益は漢堡の諸會社に歸航運輸船に對して甚だ價值ある供給の意義を與へた。而して此の物貨は非常に雜多な製造品であつた。ブラジル人の間に戰爭から増大された對獨憎惡、及び獨貨憎惡、並びに珈琲貿易から漢堡の除外等はブラジルをして、南米に於ける獨逸市場から慥かに控除するであらう。併しながらこれは諸外國全部に於ては決してないのである。

アルゼンチン共和國は大戦中、一般輿論が聯合側に好意を有してゐたにも拘らず嚴然と中立を守つてゐた。ブエノス、アイルスに於ける獨逸通商植民地が、該國中最も有力なもので、尙ほ今日存在してゐる。そして伯林に直接關係せず、また、ブ

レメン及び漢堡に殆ど利益を與へないかも知れないが、アルゼンチンの通商上極めて明確な地位を占めてゐるのである。獨貨は所謂中立歐洲諸國から間接に輸入され、若しくは諸外國の物貨が分配のために生産せられるかも知れないけれど、而も獨貨はアルゼンチン内の獨逸會社によりて、賣買され、或る意味に於ては南米に於ける獨逸の貿易の一部であるであらう。獨逸からアルゼンチンへの移民は休戰條約調印後直ちに復活した。これ即ち獨逸貿易を意味するのである。

智利は南方に甚だ多くの獨逸人を收容してゐるがブラジルの如くではなく、忘れしめるために獨逸語の使用を嚴禁し、若しくは全然失念するために故國の制度使用を嚴禁した。所謂智利の獨逸植民地は全く獨逸及び西班牙の兩國語を使用してゐる。彼等は大戰の結果として更らに全然智利國民生活に吸収されるであらうが、併し獨逸人は永遠に消滅しないのである。これは、獨逸人の需要を獨逸より供給すると云ふ優先權のあることを示してゐるのである。

更らに記憶すべきことは、智利も亦、大戰中、中立國であつたことである。獨逸の投資及び獨逸商業利益はその結果として多少惱まされたけれども、人民の大部分

には何等の戦争に對する一般感情が起らず、且つ、ブラジルの場合の如く、獨逸の影響を剷滅せしめんとする政府の政策がなかつた。

若し同様のことが諸外國に擴大されたならばこれも同様の結果を與へたであらう。南米の凡ゆる有勢なる國家の通商並びに財政上、尙ほ未だ有力なる獨逸人の部落に就いては戦後の數年間に於ける統計が表示する所に關せず、獨逸は南米市場より排斥されてゐると切言せられてゐるのである。

南米に於ける通商の悲劇は白耳義のことであつて、國內に於ける如く南米での優勢な國であつたのが、全然剝奪されて了ひ、大戰以前白耳義にとつて南米市場は價値あるものであつた。而して、ブラジル鐵道に資金を投じ、その建設材料を供給したのみならず特殊産物をもつてアルゼンチン市場にも關係し、そこに於て可成の貿易にまで發展したのである。白耳義は智利にエンヂン並びに鐵道用具を供給して該國に有利なる市場を發見した。またその他の諸國には自國産の優秀なる織物を供給した。未だ獨逸の兇猛の犠牲とならざる以前の數年間に於ては、白耳義から南米への輸出は白耳義の國內繁榮にとつての缺くべからざる富源であつた。

復興白耳義は、いつか再び此の貿易に歸へつて來るであらう。併しながら、復興の道程は極めて遅々たるもので、稍少時は、曾つて占めてゐた白耳義の通商は聯合國及び後援國の手に歸すのである。而してそれは南米に於ける歐洲貿易の總容量を構成するものであつて、又、國際的要素として、ひとり歐洲に信用さるゝに至るであらう。けれども、白耳義が適當な地位を占めるまで南米の市場は白耳義の復興を待つてゐないと云ふ悲しむべき言葉が降り掛つてゐる。而も稍軽い意味で同様のことが佛國に對しても言はれるのである。即ち、佛國は大戰の最も殷烈なる時期に於て、對南米貿易を擴張せんとしてゐたゝめである。

南米市場を概略視察して、歐洲に對する南米市場の新時代は一の改革であつて、新しき貿易ではないと謂つても好い。民族的連結及び地理上の地位等は、現在の通商上便利なものであるが更らに將來に於ても歐洲に對する都合好き要素であるであらう。併しながら南米市場に於ける將來の主要素は即ち合衆國である。

第十五章 對米市場としての南米

クレイよりブレインに至る將來——米國の關稅政策により妨害されざる貿易——アラゾルの優先
 ——一般商業の解剖——大戦中増加せるもの、性質——歐洲よりの變化——永久的及び一時的の利益——戰後通商の特色——逆境的及び順境的の均衡の諸原因——將來發展の基礎——新しき事業——借款と投資——企業の發展——南米に投資されたる十億弗は何を意味するか

ヘンリー、クレイ時代より、南米と合衆國との關係を一層親善にせんとすることは米國政治家の成就よりも、寧ろ熱望であつた。併しながら、ジェームス、ジー、ブレインが西半球の將來に侵略的移民を劃策するまで、合衆國には一定の南米貿易政策があつたとは言ひ得られないのである。國民は産業上の機會に就いて無智であり、通商に對しても同様無智であつた。彼等は市場を欲求しなかつた。而もそこには彼等をして南方に注目せしめんと刺衝する國內に於ける資本に對して、莫大なる利益のある事業があつたのである。

ブレイン氏は當時、極めて優勢であつたので、約三分の一世紀後汎米會議は南米に於て自らを發見し、最初の發見者の熱誠を表白する論客によつて、ブレイン氏の

名を列記せずして集會した。國務秘書の席を襲ふた優秀なる繼承者エリフ、ルート氏は、自己の對南米將來觀察が人民及び諸國の政府に一時的影響を残したその視察よりの歸途、カンサス市に於けるトランス、ミシシッピ商業會議所會議にて演説して云つた。それは一九〇六年のことである。

二十五年以前、熱誠なる劃策家にして且つ歴史家の過去に對する理解を、政治家の將來に對する解釋に擴大する移民に貢獻したるブレイン氏は膨脹する通商に依り及び相互扶助に依りて政治的親善を個々人の接近で補足せねばならないと云ふ亞米利加關係の新時代を創始せんと計劃した。ブレイン氏の劃策した政策は今日に至るまで繼續し、合衆國議會はこれを證明してゐるほか、その後の各大統領はこれを踏襲したのである。それにも拘らずブレイン氏は當時の一進歩を示した。一八八一年及び一八八九年に於ては合衆國は自國內の發展からその勢力を解除して海外企業及び對外貿易の發展に向はしめた點に到達しなかつた、または、南米諸國は自國の産業發展に必要な繁榮に對する保證及び統治の安定なる局面に到達しなかつたのである。

併しながら、今や南北兩亞米利加がブレーン氏の政策を採用する時期が来た。而して貿易、資本、及び合衆國企業等の生産の前面には機會が横はつてゐた。且つその機會は自由に捉へられるもので、その道程は強烈な通商の平和的繁榮に於ける南北兩亞米利加の發展に對して、ブレーン氏なる先見の明ある政治家によつて指示されたのである。

南方大陸との通商關係が關稅政策によりて妨害されたと云ふこと、及び右大陸の諸市場が合衆國に於ける生産品市場に課せられた制限令によつて、制限されたと云ふことは最も普通な誤解である。而して最も愚昧なる政治家等は此の誤つた見解を高調してゐる。然るに凡ゆる關稅法案の偏頗に於て、大陸としての南米若しくは特別共和國としての南米は合衆國によりて差別せられなかつたのである。大統領グラント氏時代に珈琲稅が除去せられて以來合衆國は繼續して南米諸國の生産品の九十パーセント及びそれ以上を自由關稅として許可した。護謨、珈琲、ココア、バナナ及びその他の果實並びに實際上凡ての熱帶農産物は自由關稅表に記入されたのである。而して、銅及びその他の礦物並びに硝石も同様であつた。

ペーイン、アルトリッチ法は自由關稅皮革によつて南米諸國に對する如上のものに更に補足し、アンダーウッド、シモンズ條例は此の權利を羊毛及び穀物を自由關稅表に入るゝことに依りて補足した。數年間の南米諸國よりの輸入の分類は、その中の若干が合衆國に自由關稅を許可された生産品の九十九パーセント以上であつたことを示してゐる。ブラジルの場合に於ては、百分率の分母は甚だ小數である。而して、合衆國は自國の目的に對して諸産物を自由關稅にしたのであつて、南米諸國の利益のためでないこと云ふことが正しい。そして、同様のことが諸外國の關稅法に就いても云はれ得るのである。而も、南米諸國が合衆國內に自由市場の利益を得たと云ふことは根本的事實を變更しない。

數箇の互惠約定の一時期を除いて、合衆國の生産品が南米市場に於て關稅免除を受ける如き唯一の場合が即ちブラジルに於てである。ブラジル優先として知られてゐるものは一九〇四年以來效力を發生したものであるが但し中止せられた一年間を計算しないので、それは合衆國で生産せられた或る種の商品のために、ブラジルの一部に一時的に置かれた差別である。その關稅表は時と共に擴大せられて遂ひに小

麥粉、コンデンスミルク、護謨製品、顔料、假漆^{ワニス}、インキ、タイプライター、計量器、冷蔵庫、ピアノ、風輪機、セメント、干菓物及び學校用具並びに机、及びコルセット等をも含むに至つたのである。ブラジル關稅率から一様に二十五パーセント割引することは麥粉を除いた三十パーセントの優先を得てゐる以上の物價に與へられてゐる。麥粉は本來、二十パーセントを受けてゐたが、合衆國よりの麥粉がブラジル市場を全然失つた時期に於て、ノックス秘書は優先の中三十パーセントに増加を確定した。

此の優先は年々繼續された。そして、ブラジル議會に依りて可決された年豫算案に影響し、實行の輕減に依りて有効にされた。ブラジルも亦、合衆國への可成重要な物産の課稅を統治權の意味によつて修正すべき方法を明示したが、これは諸外國が該法規によりて利益を蒙つてから別に差別の意味を有しなくなつたのである。優先に依りて影響された總貿易は合衆國よりブラジルへの輸出の單なる小率を構成するに過ぎない。

ルート氏の演説の十年後、合衆國の貿易を南米の市場に擴張せんとする組織的政

策の性質の中に何物かがあつた。大戰以前の停滯期に於ける通商の分解は以上の特質を表示してゐる。合衆國よりの南米の輸入品は石油、木材、鑛業用機械、農用機械、軌道、機關車及びその他鐵道用具、諸種の鐵鋼產物、電氣器具、室内裝飾品、麥粉、豚脂、鹽脂肉並びに一般商品として知られてゐる粗製品及びその範圍内に廣く使用せられるもの等であつて、織物の市場は凡ての中で最も制限されてゐた。故にその結果第一義的原料はなかつた。石油、木材及び麥粉は半製品として分類されてゐたが、莫大なる輸入品は凡て完製品であつた。而して全價格の約一億五千萬弗は米國を離れる時の價格によりて計算せられたもので、南米諸國の輸入價格で計算すれば、その總額ははるかに大である。

米國は、南米よりの原料に對しては、主として互惠的市場であつた。そして、その中には護謨及び熱帶食料品、珈琲、ココア、バナナ等があつた。輸入品の温帶農産物は主として皮革及び羊毛で、鑛產物は貴金屬をも含んでゐるが、主として銅並びに硝石であつた。

米國がまだ嚴然たる中立國であつた大戰の初期に於ては、容量と價格に於て減縮

せる通商があつた。南米の有力なる國は既に諸外國よりの輸入を縮少して通商及び財政上の危機を通過した。此の危機は戦時不安と運輸困難とによつて強調せられたのであるが、歐洲市場が全然閉鎖若しくは制限してゐる或る種の生産物の吸収を米國が開始した時に救済せられたのである。而して、これは永久に低下しつゝあつたブラジル珈琲の購買を増大した。且つブラジルの皮革が莫大なる量をもつて、吸収せられ、輸出品は二年間に三倍になつた、また海運管理の英國の政策に起因して、多少の障碍があつたけれども護護は非常に多量に輸出せられた。ココアの輸出も二倍になつたのである。

戦争需要が全然降りかゝつて來た上、英佛が生果物の利益を獲得するため公然運輸を繼續したのでアルゼンチン共和國は明らかに新しき市場の必要を殆ど持たなかつた。而も、剩餘收穫の若干を所有することが出来る様に見えた。そこには玉蜀黍又は穀物が多量にあつたので米國は自國の收穫があるにも拘らずアルゼンチンの剩餘の一部を輸入した。而も皮革の購買は量に於て五倍になり、曾て需要せられなかつた亞麻仁の市場が開けて、羊毛の購入も二年間には四倍に昂つた。米國はまたウ

ルゲエーの羊毛及び皮革を非常に多額に輸入した。精煉又は原料のまま、でポリビアの錫も米國熔鑛利益企業によつて米國內にその市場を與へられたのである。この企業はニュー、ジェルシーの海岸に熔鑛爐を据え付けて大戦中ポリビア錫全部を本質的に需要したのであつた。

米國は智利からの硝石購入を倍加以上にした。而も硝石に對する歐洲市場は獨逸の閉鎖と白耳義の掠奪によつて一部分閉塞されてゐたのである。銅の輸入も非常に増加した。秘露は米國が銅購買を二倍にし、熱帯農産物を莫大に購入した爲に利益を得た。その他の南米諸國も歐洲の市場が制限されてゐたけれども米國の玉蜀黍購買に依つて同様に利益を蒙つたのである。

互惠的南米市場は合衆國の南米物産購入に比例しない。けれどもこれは或る方法に於ける戦時状態であつて、特に制限された運輸の便利を表示してゐる。或る物貨に於ては、他のもの、輸出が明らかに増加してゐる一方、その基礎を得たのである。充分なる石炭を供給することの出来ない英國はアルゼンチン共和國、ブラジル及びウルゲエー等から亞米利加炭の膨大な輸入をする様になつた。

一般に鐵鋼產物及び特に鐵道材料は以上の如く多量ではなかつた。それは合衆國內の工場が歐洲交戰國のために、並びに、國內の戰爭準備のために供せられたがためである。更らに南米に於ては殆ど鐵道の新設がなかつたためである。併しながら、或る種の機械は甚だ多量に買収され、自動車は依然として確乎たる進境を示してゐた、錫板は鐵鋼產物に關する法規から除外されてゐたのでその輸出は莫大なものであつた。その他各種の機械も亦、價格に於ても量に於ても、増大し、最も意義ある利益は綿製品からであつた。

合衆國が參戰後も南米の原料產物購入は持續した。けれどもその購買は聯合國側に關聯して行はれたもので、その分配も同様の方法で行はれたのである。合衆國から南米への或る種の輸出品は増加した。而も、多様な物貨の中には製作場及び工場が軍需品製作に轉せられたので低減したものもある。運輸機關の缺乏もまた一般通商上の障害として見做される。以上の事は特殊物貨に關する統計上の詳細に拘泥することなしに一目瞭然である。狂奔的戰時價格を認容して、合衆國は南米市場に於ける全價格及び數量に於いても、はたまた、比率に於ても増加を示すことが出來

た。此は實際的利益を證明するものである。貿易の變遷は次の戰前三年及び交戰中三年を表はす汎米組合の報告より抜抄したる表によつて示されてゐる。

南米並知國の輸入

	英 國	獨 逸	佛 國	合 衆 國
戰前三年				
1911	\$ 262,099,378	\$ 166,057,707	\$ 77,470,841	\$ 129,701,069
1912	271,596,755	179,183,276	84,009,125	133,333,245
1913	285,555,025	188,900,663	89,520,389	167,527,500
總 計	819,51,158	534,141,646	251,000,355	450,587,814
開戰中三年				
1915	134,893,588	25,935,543	157,231,670
1916	151,330,088	33,135,448	245,037,475
1917	185,391,498	29,937,751	328,104,926
總 計	421,615,574	88,308,742	730,426,107
三年間の増減百分率	397,635,584 48	162,611,613 65	299,838,292 62

三年間の増減及び百分率は英佛は減少米國は増加

南米共和国の輸出

	英	獨	逸	佛	國	合	衆	國
戰前三年 1911	\$ 236,722,421	\$ 139,392,081	\$ 979,68,551	\$ 194,918,560				
1912	270,693,412	156,625,322	163,831,319	247,094,781				
1913	281,988,119	162,026,169	104,971,173	204,237,389				
總計	789,403,952	458,044,482	3068,71,303	646,300,730				
開戰中三年 1915	297,984,630	955,79,973	318,183,932				
1916	291,210,604	140,507,243	453,213,385				
1917	324,497,601	144,944,925	592,275,562				
總計	916,692,601	381,050,141	1,386,672,479				
三年間の増減 百分率	127,288,883 16	742,78,968 24	730,371,759 113				

英佛米共に増加

合衆國と南米との戦後の貿易特質はその實質が戦前と同一であるが故に變化しな
いやうである。南米は主として工業製品を依然需要すべく、熱帯食料及び皮革、羊

毛の如き温帯地方よりの産物等を供給するであらう。且つまた確乎たる増加量をも
つて輸出すべき産物がある。併しながらそこには特殊國との貿易關係に影響する
或る種の特別考察が必要である。

南米市場に於ける地位を決定する時、合衆國は所謂國際的妨害に就いて注目せし
められるであらう。世界商業の一形勢は中立地帯に於ける『投げ賣り』である。而
もそれは國際トラスト——若しかくの如きトラストが再現されたにしても——に依
りて全然管理され得べきものではなかつた。市場はあまりに動搖し、確定價格に對
する誘因は非常に強硬である。通商上の不徳義と外國市場に於ける『投げ賣り』の
貿易政策とを有する獨逸の除去は未だ全然攪亂要素を除去したものではない。

南米が工業品の莫大なる輸入國となつて以來、その市場に諸外國の競争を激甚な
らしむることは南米にとりて利益あるものであつた。而して『投げ賣り』は此の競
争の一形式である。南米は自國消費者が會て市場を獲得した時獨占の恩典にあるこ
とに依つて不幸に影響されるであらうと云ふ如き危惧なしに以上の事を実行するで
あらう。敗北せる競争國は特定物の市場を暴利のまゝ、支持せる他國に對して基礎を

再び獲得せんと極力注目し甚だ熱心であるべきで、これは、米國がその競争國の價格に對抗するために準備しなければならぬことを示してゐる。

全體としての南米及び有望國の大多數が彼等のために莫大なる明白な貿易殘額を所有してゐることは一般に知られてゐる。これは、生産品獨占の性質を帯べる多數の原料を各國に供給し得ることに起因してゐるのである。而して、此の明白なる剩餘は大部分海外にて募集せる借款及び外國の企業發展に對する利子支拂の配當による結果に他ならぬ。米國は輸出以上に南米からの輸入超過によつて生じた明白な剩餘を相殺せんとする以上の特質の不明確なる剩餘のある點には未だ到達してゐないのである。

北米人は珈琲の消費者と云はれてゐるので此の市場は、ひとり商品となつて購入する以上の剩餘をブラジルに保證してゐる。而も何人も一年間に九封半の珈琲を使用し、此の九封はブラジルから仰ぐのである。その結果、珈琲コップの如き小さなものが南米貿易中の重大なる要素である。米國の政策は南米に物貨を輸出することによつて出来るだけ廣く此の不幸な均衡を軽減することであり、またせねばならぬ

いのである。併しながらブラジルに對して、確實な均衡が樹立し得られないと云ふ悲しむべきものとして採用されてはならない。

これと多少同様な状態が智利に關しても云はれる。智利硝石及び智利銅の増大しつゝある購買はその發展しつゝある國の貿易に就いて順調な均衡を樹立した。工業用として米國への輸出増加は經濟状態を平調に復さしめるけれども將來數年間眞の均衡は得られないであらう。而も智利は恒に亞米利加生産品に對するはるかに好き消費者であることがわかる。

アルゼンチン共和國は以上と反對なることを示してゐる。そこには自國に對する正式平衡があり米國の利益になる平衡がある。非常に價値ある市場が或る種の農用機械のために建設せられ、その機械は米國が甚だ卓越してゐるものである。基礎的鐵鋼工業の根底を有せざるアルゼンチンは常に海外より農用器具を莫大に輸入し、米國は主としてその供給に當つてゐる。アルゼンチンは此の輸入を軽減するに充分なほど自國産物に對する市場を米國に發見することは出来ない。即ちアルゼンチンの主要物産は農産物であるために米國の如き廣大なる農作地を所有する國にはかく

の如きものに對する大市場は存在し得ないからである。名義上に於ては二國は共に農産物の生産者であるが故に世界の各市場に於ける競争者である。而も事實に於ては、その競争は米國が輸出する剩餘農産物を減縮する事情のために、極めて小さなものである。

此は一般的關係であるが、併し、統計的引照が表示する如く除外例となるべきものである。一九一三年の米國よりアルゼンチンへの輸出は五千萬弗で、輸入は二千三百萬弗である。其翌年は殆ど正反對であつて米國からの輸出は三千萬弗で米國への輸入は五千萬弗であつた。かくの如き驚く可き貿易均衡の轉換に對しては相當の理由があつた。一九一四年にアルゼンチンは猛烈な不作の眞唯中にゐたので海外購買は非常に短縮せしめられ、農用機械は此の短縮に於ける最も多大なものであつた。

同年、米國は自國農作が莫大であつたにも拘らず、若干の物貨は縮減した。穀物及び燕麥はアルゼンチンから輸入され、亞麻仁の市場も開かれ、アルゼンチンの食料は最初に北米の消費者に供給せられたのである。商業不振のためアルゼンチンの工業品購買減縮、及び、農産物に對して米國內に市場の新設等の二つの事情は平衡

を齎らさなかつたけれども貿易方面を轉換したのである。その後の年は更らに順調であつたけれども、相互の通商の永久的方法としては決してなかつた。米國とアルゼンチン間の貿易均衡は常に米國に有利であり、而も米國はアルゼンチンに於ける市場をアルゼンチン農産物を購入することに依りて平衡に近づき得ると云ふ地位に、漸次價值あるものとなりつゝあることを發見するであらう。即ちこれは恐らくは確實である。

米國に對する市場としての南米全體の市場に再び論を戻せば、ある結論が上述したところから得られ、全體の特質に就いての或る説明がなされるであらう。

大戰が勃發した時、米國は組織的方法で南米市場に參與すべく何等の努力もしなかつた數年間を回復せんとしてゐたのである。米國の輸出者及び工業家等は實に歐洲の勁敵となり、貿易の大部分の利益を把握せんとする道程に上つてゐた。交戦中は確實な利益があつたがその大部分は獨逸並びに白耳義の消滅したことに起因し、その中の若干は永遠に獲得せられるであらう。併しながら、眞の利益は更らに積極的性質のものであつた。國立銀行條例によつて米國の諸銀行が南米に支店を設けし

た時その便利のために物貨の交易上可成り進歩があつた。併し此の方法によりて可能にされた反動は正貨取引を保證しないのに、進歩すべき第一歩であつた。尙は兩國の親善を要求する長期信用制度に貿易を改正せんとする傾向があつた。地方貿易の慣習及び需要に就いての智識並びに通商の行はれる國の言語に於てさへも、或る進歩が認められたのである。

以上の進歩は米國をして南米將來の貿易の成果を確實にするところであつて、歐洲と全然同一水準に至るべきを保證してゐる。而も歐洲大陸を排除するまでの通商獨占の前途はないし、又は、かくの如き前途は好まじきことではない。歐洲は自ら通商すべきである。外國貿易は歐洲にとつての食料である。而も南米はその慈養の一部を供給すべきである。

米國が見得る廣大なる眼界がある。これ即ち新しき商業である。米國輸出貿易の最も廣汎な心を有する産業指導者の或るものは、既に設立されてゐる自國から離れて單に事務を執るために南米の市場へ行くことを拒絶した。若し所有し得べき何等の増加がないならば、彼等の煩勞が何等價值あるものと考へないのである。而も彼

等が増加を見る所には現在の貿易に對して競争した。併しながら、それは單に將來の事業の根底としてゐあつた。これ即ち今や擴大しつゝある光景である。けれどもその背後には心理的要素と稱せらるゝものがある。

イスパニア領亞米利加の特質をよく理解すること若しくは更らに正しくイペリア亞米利加を理解することが、その本質であつて、よき智識を増進することに就いて説くのは殆どつまらないことであるけれども、その主題は等閑に附すことは出來ないのである。南米を取扱ふ時その極端は絶望的である。過去に於ては無智に基礎を有する保護的色彩があつた。これは修養せられたる南米人と共に一般南米商人にあまねく普及せられたものである。且つまた、無智に根底せる無氣味な阿諛に至る傾向があつた。自國を誹毀すること及びその動機、並びに未だ曾て存在しなかつた政策に従屬すること等は常に北米に依る準備を伴つてゐた。

米國との外交的系争に於ては南米諸國は屢々正しくなかつた。而してその公人及び智識階級はそれを知つてゐる。而も未だ知らざる、若しくは知らんと欲せざる人々の偏見に導くことに依つては何物も得られないのである。それ故に自尊心を維持

すること及び、利益を得んとする方法として自國に阿諛しないことは北米にとつて常に好いことである。此を保存して、南米國民に就いての同情的理解を先づ最初に樹立することに依つて南米に貿易を建設せんとする事業は正しき道に向つて前進するであらう。これ即ち、南米市場の心理である。

更らに一層強力な心理的要素がある。これは明白なる米國と稱せらるるところのものである。資本の形式で南米にあるものは必要なるものである。銀行支店はその補助であるが決して資本を造らない。彼等は唯資本の流れる運河を決定するに過ぎない。それ故に第一義的に必要なものは、南米に新しき商業を多量に確保せんがために米國にとつては生産品と共に資本の或るものを輸出することである。英佛兩國が既に所有せる擔保を堅く固執してゐるとは雖、歐洲は將來南米諸共和國の財政を司ることは出来ないであらう。これらが米國に於ける戰時借款に附屬するものとして保證された時に、それは貿易財産としてのその價值のために、右の附屬物を分離しない確定した考をもつてゐた。併しながら、港灣、築港、灌溉、及び鐵道の如き政府事業に就いて要求せられた新借款は英國若しくは佛國によつて供給され得ない

のである。そは兩國の戰爭負擔はあまりに重大であつたからである。

以上の借款は米國によりて與へられねばならない。而してそれを與へる時に、材料に對する甚だ限定的市場を規定してゐるのである。名目上に於ては戰爭の終熄した時全然借款はなかつた。アルゼンチン共和國による二千五百萬弗の短期借款は皆濟されて消滅した。ブラジルのサン、パウロの市債は數年間繼續した。リオ、ド、ジャネロの同様の借款は戰爭後成立した。百萬弗より少額なる二三の小借款は他の都市と相互に行はれた。併しながらそれらは取るに足らないものである。

企業發達に於ける投資は實に大範圍に行はれ凡ての亞米利加の産業及び財政上の指導者の中に隠れたる空想と投機の問題、及び鑛業投機に満足すべき空想と投機の問題は南米に最も廣大なる市場を見たのである。而してそれは既に該地にある大機會に相呼應してゐた。智利の首都より五十哩の距離にあるテンメントの豊富なる銅鑛は、銅鑛精煉の低廉な方法が発見せられたので米國企業を通じて再び採掘されたのである。而して十年の後一萬人の産業組合が設立された。

小期間の中に北方智利のチュクイカマタの大銅脈地方は世界に於ける最も大なる

銅産たらんとして廢止された採鑛場から再び活動しはじめたのであつて、そこには一萬五千人の工業團體がある。智利に於けるポートルロス及びその他の銅山も亦直ちに確實なるものにせんとする大膽な投機的な米國資本家によりて従業されたのである。タフオの大鐵山は米國製鋼者の企業に呼應し、その鑛石はベツレヘムに對する貢獻物となつた。祕露に於てはセロ、ド、バスコ銅坑は米國正貨數百萬の投資を受けて、南米の最も生産的繁榮の一となつた。それは新しき事業を創造することに依つて米國の工業家に對する南米市場を擴大する右の特質の發展的企業である。斯くの如き、及びそれと同様の投資は新しき時代に於ける南米への米國貿易の眞の根底である。その當初に於ては約五億弗で、その半額は智利にのみ投資せられてゐるのである。

アルゼンチンの投資は主として倉庫用機械及びその附屬企業にあつて、それは鐵道及び水力工業が重要なものであるけれどもブラジル投資に可成りの部分を占めてゐる。ブラジルの企業には加奈陀及び英國の通貨が投せられてゐるが米國よりの資本も分解するに困難なほど混合してゐる。而して加奈陀及び英國と此の資本との融

合は英國に於けると共に米國の材料を購入することを確實にする。祕露の投資は主として銅鑛、鐵道、及び、採鑛發展のために造られたる水力電氣工業等であるが、また、米國の材料を購入することを保證する性質をもつた米國の他の投資が祕露にある。

南米に於ける北米の投資の將來は現在の投資に依つて判定することが出来る。鑛山、鐵道、及び全土に亘る水力電氣工業、並びに、南方ブラジル、ウルゲエー、アルゼンチン等の大畜産國に於ける冷蔵肉工業及び倉庫——かくの如きもの全部は北米資本に開かれてゐる主要なる物産地である。港灣事業、灌漑事業及び政府、州、市等に依り企てられるその他の形式の公共事業等は、債券の形式に於ける投資の市場である。即ちそれらの開く市場によつて新しき事業を創設することは以上の二つの場合である。而もまた米國が自國利益と同様に投資の利益を得んと求めてゐると云ふことを、他國に對して實證するものである。その投資は將來の市場の眞の基礎である。來るべき十年間に於て、米國は南米に對して、借款の形式及び發展事業の直接投資に於て十億弗を供給しなければならぬであらう。

第十六章 カリブの経済的運命

丁抹領諸島の購買の前途——経済的曲線としてのカリブ列島——玫瑰の甘蔗と煙草——ホルト、
 リコの珈琲と砂糖——英領——孤立的ジャマイカ——提案されたる加奈陀西印度聯邦——一九一
 三年の通商協約——巴奈馬と中央亞米利加——バナナ及び珈琲——外國投資——カリブ地方生産
 増加の経済的觀察——米國の影響——積極的國家政策——保護國——ニカロウガン條約——溫情的強
 制——サント、ドミンゴの抗議——ヘーチヤン條約の意義——命令と安定の誓約——將來の貿易

海軍力と國防とは米國旗を丁抹領西印度及びバージン群島に歴史的に樹立せしめ
 それらが米國領となつた時に現在の様に命名されたのである。而もこれは米國が參
 戰する以前に完成されたとは雖、大戰の結果の一である。そして、多くの相異なる大
 運命の實現であつた。

何等の通商の考察が此等諸島の購買にせらなかつた。全體の貿易は更に大發展の
 見込がなく、而も、セント、トーマスの收得は土地の狭少なカリブ地方の通商管理に
 於いての更らに進歩したものである。而して、それは英國とカリブとの聯合若しく
 は加奈陀西印度同盟の迷夢を一掃する。そして、キュラコアより丁抹國旗が消滅し

て、恐らくはマルチニツク及びグアデロープから長期間の佛國の標準にあるその國
 旗が消滅することを豫示してゐる。

米國は、クロムウエルのジャマイカ占領後『ウインドワーズ』航海圖及び『コッ
 ド岬よりオロノツク河に至る西印度』の海圖が倫敦に表れた時即ち植民地時代から
 カリブ地方とは密接な關係があつた。米國の獨立當時及びそれ以後、西印度の通商
 は貿易實施權を刺衝するために、また佛國との威嚇戰に包含するために、及び一八
 一二年の英國との實際的戰爭に於て、米國にとつて甚だ重要なものであつた。そ
 の當時、貿易は大規模の新英國——米國——との貿易であつた。新英國人チムシー
 デクスター氏は暖爐が時代遅れとなつた時それを購入して西印度に賣却することに
 よつて財産を造つたのであるが、西印度ではその暖爐は糖蜜の蒸溜用として利益を
 以つて賣却された。その後は殆ど新英國の獨占となり、紐育は非常に利を得るやう
 になり、費府、及びすつと以後には南太西洋岸諸港、並びにニューオルレアンスも
 同様利益に浴した。

カリビア灣の海岸線は玫瑰の西端よりオリノコ河口沖の南米主島へ擴がつてゐる

その新月形をなせる二つの翼角間にある主島はベネズエラ及びコロムビア海岸に沿ふ英領ギアナ並びに巴奈馬、中央亞米利加からユカタン半島の尖端に至るまで擴がつてゐる。ジャマイカ及び西印度諸島の若干は以上の三日月形の中に都合よく散在してゐる。西印度諸島全部は十八世紀のウエスレー教牧師トーマス、コーク氏に依りて、大陸の破片の散在せるものが神の御手によりて明らかに掘られた廣大なる鑿道中に存在するものとして記述せられたのである。ウインドワーズ及びリワード群島のセント、トーマスより南米海岸線に至る峻巖な屈曲は三日月形の島を構成してゐる。北米の延長はその三日月形の灣曲に沿つた地勢を伴つてゐる。カリブの通商は、此の政治的分界——未だ確定した政治的目的がないけれども——を知るに非ざれば理解されることは出来ないのである。

通商はそれが政治的保護の下にある通商國に大陸分派の島嶼が結合すると云ふことになつた時、從來の不振は消滅するのである。而してその方法は經濟的傾向——此場合には群島の傾向——に作用する地理的作用を通じて、經濟引力によりて米國へ引きつけられるやうにせられてゐる。且つ米國の國家政策の傾向はこれを引きつ

けんとするのである。

玖瑪は玖瑪共和國であるけれども保護國である。ポルト、リコは海軍根據地としてのセント、トーマスと共にバージン群島が米國の領土である如く、矢張りさうである。ハイチ及びサンクト、ドミンゴを含むその島は、公用語が數多の政府の事情を採用するために使用せられてゐるか否か知らないが、之亦米國の保護國である。此の事情の系統は二國の自然物産を發達せしめんとするに價值ある安定なものであつてかくして二國の通商は増加したのであつた。

カリブ群島は孤立して廣範圍に散在してゐるので、全體の通商を解剖することは可成り困難である。而もその性質は甚だ單純である。主要なる物産は熱帶農産物で甘蔗はその大部分に亘つて栽培せられてゐる。而して、その次は珈琲、バナナ、及びその他の果實で、ココア、煙草、硬木及び染木並びに、各種の熱帶産物等は諸種の物産が各自に於ては極めて小數ではあるが、全體として輸出貿易中に可成りの要素をなしてゐる。それ故にカリブ群島が常に温帶地方に需要されるので、そこへ賣却すべき物産を所有してゐるのは明白なことである。而も、その反對に、温帶農産物を

輸入する。即ち主として、麥粉、倉庫用品及び多量の紡織品等を含む製造品である。玖瑪は土地、人口、富源、地理上の位置等に於て、現在及び將來のカリブ貿易の最も重要な要素である。且つまた産業的經濟的に有望なる四百萬噸の甘蔗を産出するのである。

甘蔗の生産は未だその最大限に到達してゐない。西班牙治下に於て此の島の歴史上最大なる收穫は一八九四年及び一八九五年に於てであつた。而して、その二年間は各年百萬噸を少し超過した。一八九五年に勃發した暴動は凡ての生産の平常基礎を破壊したが、一九〇四年には再びその收穫は百萬噸を超過したのである。此の時から生産の増加は確定して一九一五年から一六年にかけての收穫期には三百萬噸を超過した。而して一九一七年より一八年にかけての收穫は更らに莫大で、一九一九年には約四百萬噸に昇つた。世界的平和克復と歐洲諸國の高級甜菜甘蔗が再び平常に復したので玖瑪は戦時の強烈な需要と有力な高價格とを望むことは出来なかつた併しながら、常に増加しつつある米國の消費に依つて、玖瑪は四百萬噸及びより好き價格をもつて市場に臨むことが出来るのである。これ即ち玖瑪に大購買力を保證

するに他ならない。

世界的需要を構成した香味を有する優良の葉で出来てゐる優秀なる煙草は生産能力を限定されてゐた。これはかくの如き需要に對する凡ゆる刺戟があつた時、未曾有の高價格期中收穫の増加を來さないと云ふ失敗を示してゐる。最も優秀なるものを産出するピナル、デル、リオのヴェルタ、アバジヨ地方は最も制限された地方である。ピナル地方の東方及びハバナ地方の西方裾野に栽培されるバーチドス葉煙草も亦生産を限定せられた。玖瑪は五千萬封度の煙草を輸出する。而して優良なるの故をもつてこれは砂糖に次ぐものであるが、而もそれは單に附屬的のものである。砂糖製産の價值は煙草の約十倍で主として砂糖收穫のために、玖瑪は一年一億五千萬弗の外國貿易から七億弗に高騰した。而して、此の貿易の大部分は米國との通商である。

經濟的意味に於て、ポルト、リコモまた、砂糖を有し平常産額五十萬噸の年産のある珈琲はその市場が米國に設定されてから、歲入の一大源泉になつた。この小島の貿易は通商上價值あるものであるが、米本國は玖瑪が大陸米國に對してあるより

も更らに價值ある市場である。諸外國との通商は輸出入双方共一割以下の小なるものである。それにも拘らずカリブの通商要素を決定するには考察されねばならない。地質上及び生産上、ハイチとサント、ドミンゴは同一であるが、政治上、彼等は境界線及び人種言語の區別等を有する二箇の異なる統治を有してゐる。而して、ハイチは黑人共和國であつて、國民は佛國語を使用し、サント、ドミンゴは人種及び言語共に西班牙である。ハイチの富源は珈琲、砂糖、果實、及び熱帯木材等である。サント、ドミンゴのは砂糖、ココア、煙草等が珈琲より更らに重要であるけれども殆ど前者と同様である。

ハイチ及びサント、ドミンゴに關する貿易狀況は經濟的背景をもつて大部分政治的のものであり、英領西印度に關する狀況は政治的背景をもつた經濟的のものである。地勢は決定的要素である。

西印度諸島中の英國領は一萬二千六方哩でその面積は殆どデラウエア及びメリーデンド州と同一であつて、人口は約百五十萬である。散在せる珊瑚礁のバハマ群島は此の面積の三分の一を占め、ベルムダの外廓は何等の經濟的價值がない。而して

主として燈臺の置場として使用されてゐる。この群島はカリブの地理的範圍の中には這入らないのである。

また散在せる島嶼を有するアンチルスのウキンドワード及びブリーワード群島は四千方哩の面積で出來てゐる。而して地理的同質であるとも云はれてゐる。バーバドウス及びトリニダッドは此の群島中の主要島で、カリブ灣の外観線に位して、容易に大洋航路の便を受けることが出来るのである。その輸出品は砂糖、ココア及びその他の熱帯農産物である。南米本島を去るデメララは砂糖産出の主要源泉である。トリニダッド島はデメララと同様英領グイアナに附屬してゐるのであるがアスファルトを産出する。此等の諸島は凡て英國に至るよりも米國に餘程近くその距離は一千哩乃至は五百哩である。而もその諸島は英國より巴奈馬に至る汽船の航路に當り、英國と直接交通をなしてゐるので、對英貿易を激勵する上に地理的基礎がある。

ジャマイカは孤島である。而して米國領及び保護の連結線の灣曲中に位してゐる。即ち、その外線は、ポルト、リコ及びセント、トーマスにして、内線はハイチ、サント、ドミンゴ、及び玖瑪である。ジャマイカの面積は四千餘方哩、若しくは英

領西印度の約半分以上である。人口は八十五萬乃至九十萬で、若しくは英領の總人口の二分の一より多少多いのである。米國への輸出は總額の五割で、米國よりの輸入は少し多いのである。英領西印度貿易の總額の約二分の一はジャマイカの貿易でその半分以上は米國との貿易である。

一八三〇年のジャマイカの奴隷廢止は砂糖工業の死滅的凶兆であつた。解放後半世紀間に此の工業は振興し、また突發的に衰微した併し以前の活動は決して回復しなかつた。而も米國人の船長が果物産業を確乎たる根底に置き、バナナをポストンに運搬しはじめた時に、此の島には再び繁榮がやつてきた。此の果物栽培は米國資本の下で確實に振興されて、而もその結果は若干の英國資本が投せられ、ジャマイカとのバナナ及びオレンジの貿易を樹立するに至つたのである。

それにも拘らず、その島は猛烈な經濟的不振を経験し、これが起つた時いつでも工業家及び商業家は米國に併合せられんことを希望したのである。全部で約二萬の有色人種、黒人及び半黒色人の人口は稀薄である。米國人は何人もジャマイカの併合論に注目しなかつた。而も善良なる米人は母國の帝位から英國の無數の海洋寶物の一

を掠奪せんとする米國の帝國主義者と自らを攻撃されるのを見出すことは常に大なる驚愕であつた。

英領西印度の聯邦に對する計劃が考案された時、ジャマイカは常に有望なる一員として目されてゐた。キングストンから離れたローヤル港に於ける海軍工場は、英領西印度艦隊の本部であるために、一の難點であつた。そこにはまた歴史的記念と感情とがあるが、經濟的並びに地理的の意味に於ては、ジャマイカは英領カリブに對して若しくは加奈陀に對して何等の羈絆もないのである。

統治要素としての統治權をもつた加奈陀西印度聯合計劃はすつと以後の運動である。政治的意味に於ける斯くの如き結合は殆ど考察を要しないほど不可能であるけれども、そこには貿易利益と、加奈陀の政治的影響を及ぼさんとする見解をもつて一層密接なる商業的結合をなさんとする試みがあつたのである。

加奈陀西印度通商協約が一九一三年に商議された時、此の政治的感情が表はれて逡巡しつゝあつた此等植地は英本國政府の都合よき行爲の執られることを希望してゐた倫敦から強力な暗示を得たのであつた。その協約の主要目的は加奈陀麥粉製

造者に、曾て米國の麥粉會社によりて把握されてゐた市場を與へることであつた。加奈陀が提供しなければならぬ唯一の價格の讓歩は砂糖の優先權であつた。而もそれは甚だ小さいものである。而して、これに與つた西印度植民地は英領グイアナでその中にはデメララ、トリニダッドバルバドウス、セント、ルシカ、セント、グンセント、モントセラット、アンチグア及びセント、キッツ、ネビス等が含まれてゐた。

ジャマイカは英本國及びその他の英領西印度からの壓迫があつたにも拘らずその商議に參與することを拒絶した。而も、ジャマイカは、若し米國の麥粉に對して差別したならば米國はジャマイカの物産に對して差別するであらうかを恐れてゐた。加奈陀は慥かに米國の市場損失に對して殆ど償ひ得ないところの有利な市場の方法に於て、殆どジャマイカには提供しなかつたのである。而して、商議に參與しないにも拘らずジャマイカは加奈陀の麥粉に何等の讓歩をもしなかつたけれども、自發的に右協約の便利を與へられた。併しながら米國がジャマイカに自由市場を尙ほ與へてゐることを發見した三年後に於て、ジャマイカは倫敦及び加奈陀の壓迫に屈伏

して右協約に加入したのである。

米國の物産が或る不便に惱んでゐるのに、何等の顯著なる變化も英領西印度諸島には起らなかつた。而も加奈陀若しくは西印度諸島は何等の明白な利益を得なかつたのである。ハリファックスと英領西印度諸港間を航行する汽船は明らかに増加しなかつたし、西印度を基礎として加奈陀商船航路を建設せんとする空想は遂ひに消滅した。

その全計劃は人爲的であつて、地勢は全然それに反對であつた。即ちそれは何等の經濟的根底がなかつたのである。然るに大戰によつて軍國的刺衝に與へられた衝動をもつて、その計劃は再び開始され加奈陀西印度聯合を構成するために異常な努力がなされたのである。若し差別的關稅が米國の通常貿易に痛烈な妨害となるならば、政府は疑ひもなく自國關稅の救濟策を見出し、然る後、軍國的刺衝が地理及び明白なる運命と甚だ戦ひ得るか云ふ疑問が起つてくるであらう。ジャマイカは米國に對する優秀な市場であるけれども、米國一億の人口の市場は、ジャマイカにとつて善き市場である。經濟的引力はジャマイカを米國に引き寄せる。英國優先は

砂糖市場の契約を實行し、ジャマイカが英國の製造品を歓迎せんとしてゐるけれども以上の状態を變化することは出来ない。加奈陀との通商同盟は即ち不確定なものである。

カリブの中央亞米利加沿岸及び巴奈馬沿岸を考察するために尙ほ三つのものが残されてゐる。運河の使用、從業及びその地帯に駐屯する兵力は市場を供給する。併しながらその市場は政治上及び統治上共に米國領であるために巴奈馬の通商として考へることは出来ないのである。而も供給の状態は貿易活動を創設し、その中に地峽全體が參與してゐる。運河地帯より離れて、巴奈馬共和國は生産的に、パナマを供給する源泉であつて、これらは自ら可成りの貿易を營んでゐる。

珈琲及びバナナは中央亞米利加の主要なる輸出物産である。サルバドルは五共和國の中で、カリブに面接せざる唯一の國である。ガテマラ、ニカラグア、ホンジュラス、及びコスタ、リカ等凡てその海岸から米國に面接してゐる。珈琲の生産は主として太平洋傾斜面の高地で、運河はこの歐洲に優秀な市場を有する生産品に便利な航路を提供してゐる。併しながら、兩洋間の聯絡鐵道の建設及び、内地の發達

と共に自然的運行はカリブ諸港より産出する莫大なる貿易のために榮えた。ガテマラ及びコスタ、リカは今や兩洋聯絡線を敷設し、ニカラグアは僅々敷設せんとしてゐる。更らに、生産の最も有望なる源泉たるバナナはカリブ海岸地方の低地に栽培せられ未だ全く利用されざる硬木林は此の地方に存在してゐる。尙ほ此の地方には護謨を生産する部分もある。而して砂糖栽培は太西洋岸に最も近い所にある。

政治的影響のあらゆる問題から離れて、是は、中央亞米利加通商の管理が米國に從屬してゐることを示してゐる。カリブ諸港はニューオルレアンに對する自然的供給者で、此の通商傾向は玖瑪のグアンタナモにある海軍根據地から始まつてセント、トーマスを含み巴奈馬に至るべき、米國國防の廣大なる一線に對する經濟的歸結である。カリブの通商及び運命は此の中に融合するのである。

現在の中央亞米利加の貿易の大部分は米國の諸會社によつて行はれた投資から來たものである。それ故に、入海を越えてニューオルレアンへ至る貿易及び太西洋を通過して紐育並びにポストンに至る貿易は相當に賞讃すべきものである。太西洋地方若しくはカリブ地方の生産額の主要源泉たるバナナ業は殆ど同く北米の投資の結

果で、また、内地の發達を助成し、その物産に海岸へ至る道と與へる一部鐵道敷設は、最初は英國より資本を借款したけれども是また米國資本家によつて實行されたのである。投資總計は約五千萬弗で、中米の大部分は未だ發達してゐないので此の投資は米國の投資家及び工業家等にとつて、新しき職業を創造する様に、有利に二倍され、また三倍されるに相異なる。

カリブ地方の將來の通商が觀察されねばならない概観がある。而してそれは社會進化の一として考察されたる生産の増加及び消費の増加に關係してゐる。

更らに改良農用機械の使用によつて得られたダコタ牧場の優秀なる生産を示すものがある。而も此の機械の助を借りたダコタ農業に於ける一人の能力増加の量を反覆説くことは不必要である。此の生産は熱帶地には殆どない。而も機械使用は白人勞働の習性と黑人勞働の不足とに依つて該地には大なる意義があつた。農業トラクターは今や恰も熱帶地に生産を附加する時期が始まつたやうである。カリブ地方に於ては、その農場の利用は無制限である。故に、數年内に熱帶農業產物量に顯著なる増加を來すであらうと云ふことを期待するのは正當なことである。消費者は既に

近迫してゐる。彼等は群をなして彼等の市場の方に南方へ南方へと接近しつゝある。一億の米國住民は激烈に急速に増加しつゝあるので、短期間内に増加した人口はカリブ地方の凡ての物産を猛烈に吸収するに至るのである。彼等は製造品をもつて食料品と交易するであらう。而も雙方とも同一の問題である。而して政治的保護國となれる不確實な國家のカリブ地方の經濟的運命が觀察されねばならないと云ふことは此の概観中にあるのである。

米國の國家政策はカリブ地方の經濟的傾向と一致してゐる。而して協定若しくは條約がこれを確證してゐる。これは何等の軋轢をも示さない若干の場合の一であり國家行政が先祖の政策を變更しない實例の一である。ニカラグア條約中にあるごとき中央亞米利加との關係に於て、大統領タフト政府に採用された政策は、大統領ウキルソン政府によりて繼承され實行されたのである。氏は内患防遏の方法としてニカラグアに米國汽船の航行を保證する條約批准を確把して、先代よりもはるかに成功した。此の商船は數に於て甚だ小數であつたけれども、その實現は明らかに德義的勢力であつた。而してそれはニカラグア富源發達に刺戟を與へ、且つ外國資本

の投資を誘導するものであつた。

サント、ドミンゴに於て、條約又は協約の形式なくして大統領ウキルソンによつて事實上の保護國が建設せられた。ルート秘書はサント、ドミンゴの負債支辨が規定されてある約款を商議し、債務者の利子に於ける歐洲の干渉權を廢止した。此の協約の下に、所得の蒐集は米國によりて管理され、一定の額は利子支拂及び元金の割賦消却に對して除外された。而もその方法は順調に働いて、非常に速かに負債を支拂ふべき傾向があつた。

併しながら該協約は關稅收入のサント、ドミンゴの割前の支拂若しくは國內所得の徵集及び支拂等を規定してなかつた。その結果、此等所得の管理は政治家の野心に歸し、革命に次ぐに革命が勃發したのである。

ブライヤン秘書は關稅及び一般財政管理と共に國內所得の管理を保證することに關してルート協約の範圍を擴大することによつて提供せられた所得の誘惑を抑制せんとしたのである。彼の行動はサント、ドミンゴの主權を壓伏するものとして憤慨を買つた。而して革命は海軍省が華盛頓の訓令によりて該政府の猛烈なる支配を行

ふまで相續いた。そして、それは誰が大統領たるべきかを決定した。而もその大統領は強硬なる新聞檢閲を樹立し、關稅表を制定し、而して、主權に屬する凡てのものを管理すべきであつた。かくて、漸次に條件は改善され、海軍司令官は或る批判的特權をもつて新聞を許可した。サント、ドミンゴは未だ全然形勢を調整するやうにはならなかつた。併しながら、華盛頓の國家行政方針の下に、該國の國民は確實な及び政治的安定の時代を將來に望むことが出來た。而して、短時日の後、新しき條約は確乎たる保護國の根底を樹立するために商議されたのである。

以上はハイチに續いた徑路である。華盛頓政府は殘忍なる野蠻に再發の弱點を助成した。米國海軍は最も險惡な擾亂時代を支配し、政府並びに議會は商船の助を借りて樹立せられた。此の實行的立法的創造をもつて、條約は商議せられ、それによつて米國はハイチの財政保護を確立した。而も全然さうであつたけれども政治的保護の提示を拒否するために注目せられた。此のハイチ條約はカリブに於ける米國の主要なる利益を獲得するために大統領ウキルソン政府の執つた最も重要なものの一である。

サント、ドミンゴ及びハイチに行はれたる有利的強壓は論評せられたけれどもその結果は正當なものであることがわかつた。ハイチと新しき條約を商議する時が來れば、米國軍艦はニカラグアに於ける如く全然撤退し、若しくは平常の數に縮減されるであらう。併しながら、十年後にこれが可能になるか若しくは可能にならないかは分らないが、それらの勞働の結果を享樂すべき平和なるハイチに對する機會がある。且つまた、自然富源の發達から來る大貿易があるであらう。而して米國との貿易に於ける互惠的影響は確定するであらうけれども何等の利己的行動によるものではない。特別通商權は何等米國によりて、求められてはゐないのである。歐洲各國は、米國と共にハイチ及びサント、ドミンゴに於て安全に利益を得てゐる。而もその資本と通商とは保護されてゐるのである。

米國の政治的範圍及び經濟的範圍にあるカリブ地方は膨大なる運命に於て充實すべきことは以上の如くである。

第十七章 隣接國 加奈陀

戰時借款と平時富源——國家精神の濃度——自然富源の貿易に對する關係——漁業及び林業——
 礦物——西北部の小麥畑——その他の收穫——大膽なる鐵道投機に對する理由——財政制度と優
 先關稅——戰前の對歐貿易——戰年の豫見——米國との通商關係——互惠約定案却理由——將來
 の密接せる通商

加奈陀は大戰から九百萬以下の人口となり約十九億五千萬弗の戰時借款を負ひ、平均一人二百二十弗の負擔を荷つたのである。これは約百七十億と云はれてゐる國家の富の總計の約九パーセントである。

加奈陀は自然富源及び未開發の富を發掘する事に依つて、恐るゝことなく將來に臨んでゐる。然るに解決すべき悲しむべき問題があつて、その中のあるものは經濟であり、またあるものは國際關係である。新しき時代に於て、加奈陀は英帝國の事件及び責任並びに自國の求めてゐる參與等の廣大なる關係の發展を改正しなければならぬ。これは英國優先をも包含してゐる。而して同時に加奈陀は激烈な政治關係及び米國との密接なる貿易關係への形勢を認識しなければならぬのである。

その問題は、北米が母國としての英國に最もよく忠實を表明して以來、無制限に貢献し、且つ加奈陀が一部分である英國を維持するために加奈陀の物産の犠牲的提供をなした國家とどうして加奈陀と云ふのであるか。

それは國家を構成してゐる國民の國家精神であつて、此の國家精神は英國に對して甚だしき忠實であるにも拘らず加奈陀人の自治的特色である。これ即ち國家的自覺である。數年以前、太平洋岸より太平洋岸へ加奈陀を横斷した一旅行者は外觀上の些細な狀況によつて感銘せられたことがある。東方諸州に於ては、ホテルは常に英國の歴史上の名稱と一致してゐた。キングスホテル、クキーンホテル、キングエドワード、ピクトリア、ウインゾア等は普通の名稱であつて、未だ此の他にもある。大小麥畑の中央にある大西北部に於てはその他の名稱が附せられてゐる。それらは常に州の名稱で、アルバータ及び、サスカッチェワンの如きもので、若しくは、或る先驅者又は成功した實業家の名稱をとつたもので彼等の普遍的な精神がこれを表はさしめる様になつたのである。併しそれは英國の方には關係がなかつた。

歐洲の旅行者等が米國に於ける町村の特長として見馴れてゐた『歌劇場』は新し

き加奈陀の町村にも等しく現はれて居つて、その名稱は英國の傳統と何等の關係のないことを示してゐる。而してそれは米國に於けるが如く有名な町若しくは地方の目標であつた。東部諸州に於ては傳統が承け容れられ、西部諸州に於ては創造的であつた。而も加奈陀は、西部諸州が事實上感情に於て東部諸州から分離してゐる國家と考へられ得ないのである。唯異るところは東部諸州に於ては國家精神が一樣に横溢してゐないと云ふことである。併しながら加奈陀の利害に影響する凡ゆるものに於ては、それは殆ど云はれ得ないのである。

英國は一八三七年の内亂後讓歩をなし、ダーハム卿の勸告を承認して、加奈陀に自治權を與へた。而して一八六七年に諸州が聯邦に合致した時、國家精神の自由行動が宣言されたのである。全然政治的獨立のみならず加奈陀に對する完全なる財政的獨立に默従することによつて加奈陀を認めた。加奈陀は自國の關稅を作成し、財政政策を決定した。これは國家精神を刺戟するのに相應した政治的自由及び經濟的自由行動である。その基礎に於て、凡ゆるものは運命の自覺であり、此の自覺は加奈陀の各種の富源を知ること起因しそれは加奈陀をして、農業國及び産業國たら

しめるものである。

加奈陀の主要なる國家財産はその農産物であるが尙ほ補足的財産があつて、即ち、林業、鑛業、漁業等で、それらは關家産業の根底をなしてゐる。加奈陀貿易に含まれてゐる自然富源の關係は國內輸出の圖解によつて明らかに表示されるが、同時に戦争が生産力を刺戟した比較の圖解をも示すものである。一九一三年は不景氣が近づきつゝある工業的商業的反動期であつた。而もその翌年と比較する時、それは尙ほ優勢であつた。一九一六年は最も困難な時期で軍需品製造が猛烈に活動した年である。これは大戦の中間期及び物貨の輸入總計及び輸出總計の中間期に於て、分類によりて比較的明らかである。

年	消費輸入	加奈陀物産の輸出
1913	\$ 659,064,000	\$ 436,218,000
1916	766,501,000	1,091,706,000

類別による輸出

年	1913	1916
農産物	59,073,000	81,281,000
漁業	20,237,000	24,350,000
林業	42,533,000	55,225,000
動物の生産品	51,613,000	117,910,000
工業品	208,613,000	261,606,000
其他	54,011,000	440,477,000
共	109,000	7,859,000

工業品の増加は戦時現象であつて、加奈陀が英佛の軍器に如何に貢献したかを示してゐる。併しながらそれは平和時の通商に於てはあまり重要な要素ではない。動物よりの生産品及び農産物の増加は顯著なる平和時の要素である。

海産物は國內消費及び對外貿易に對する補給物であつて、食用海産物は主として太平洋沿岸である。而も太平洋岸に於ても蛙獵は重大なるものである。加奈陀政廳の政策は特殊の保護によつて此等の富源を保存し激勵することである。これは英領コロンビアの諸川の蛙獵には可能であるけれども深海に於ける魚類の生産力は人力をもつては管理出来ないものである。加奈陀の最も期待してゐるものは大海より通商の用に供するために魚類を誘導することに不適當なる浪費を防ぐことである。

木材は加奈陀に對する國家的富の大源泉の一であつて、米國の浪費的政策の觀察に大部分根底を置く有效なる保存政策は、加奈陀にそれらの保存を保證するのである。木材富源は大部分英領コロンビアにある。併しながらマリチン諸州及びオンタリオ並びにケベックにも可成りの松がある。此等諸州及び特にケベックの大木材富源はタウヒ若しくはバルブ樹にある。加奈陀のバルブ樹に據る印刷用紙は説明を要するほど甚だ有名である。加奈陀はそのバルブ樹を自國の新聞印刷工業建設に利用した。併しながら、加奈陀の主要なる工業利益は需要材料によりて、生産品が輸出される前に、バルブ材に製造されることであつた。これは木材の輸出を禁止して諸州殊にケベックによつて行はれてゐる。而も此の政策は一部米國に多少改正と抗議と抗争の題目であつたのである。けれどもそれは加奈陀に於て粗型のまゝなるバルブ樹の原料を分離する様にならなかつた。

鑛物富源は極めて廣範圍に分布してゐる。而してそれは英領コロンビアに最も豊富にして、該地からは金、銀、石炭、銅、鉛、及び若干の亞鉛が出る。而も銅は最も價值ある工業上の鑛物である。南部アルバータには石炭がある。オンタリオには

スベリアー湖の北岸に沿つて質のあまりよくない鐵鑛脈がある。そこにはまた、若干地方より産出するので殆ど世界的獨占の觀あるニッケルを産出するのである。ノバ、スコチアには鐵鋼工業の基礎である石炭がある。

農業は加奈陀の自然富源の最大なる根底である。

東部諸州は各種の輸出貨物を産出し、製酪工業は外國貿易の重要な要素である。オンタリオ及びケベックの麥粉工場は大部分以上諸州の小麥畑に準據してゐるのである。その生産品は一年約三千萬ブッシェルであり、又は地方消費に對して需要されるのと殆ど同一である。

マニトバより北極地に朦朧と擴がつてゐる西北部の小麥畑は現在に於けると同様に將來に残されたる財産である。而してその確實なる生産を判定することは人間の豫測出來ないところである。一九〇五年に英國通商局の調査をした經濟學者メーバ教授の最小限度の評價は三億ブッシェルで、十億ブッシェルと云ふ最大限度の評價は杜撰な想像であるけれどもその表明は單に經驗から得られ得るものである。

大マッケンジー流域及びピース河地方の生産能力は將來のために開發せられるべ

きである。而して知り得る限りの凡ては小麦畑が漸次マニトバを越えて擴大されたと云ふことであつて、該地方は三十年前までは小麦畑の限界であると考へられてゐたところである。北方の農業が更らに擴大され、ばされるほど、加奈陀は愈々一收穫に準據することによりて起る凡ての不確實性をもつた一收穫國となるのである。併しながら此からも亦た、數年間後に期待されるべき平調小麦産額が得られ、國家の農業富源は、一年の農作によつてよりも若しくは未曾有の不作續きによつてよりも寧ろかくの如く測定されるべきである。故に加奈陀西北部に於ける小麦の平均年額二億五千萬ブツシエルは決して誇張した評價ではない。

畜産工業の前途は注目し値するものであるが氣候は實に激變するので非常な食料が必要である。而して該地の冬期は甚だ長いのである。即ちこれは原理である。更らに各種の農業及び小麦栽培等はアルベルタ地方に優良な利益を提供してゐる。アルベルタ地方には日本方面よりの順風が、畜産を旺ならしめたが遂ひには小麦及び一般農作に土地を當符めることが更らに有利になつたのである。養豚は唯だ穀物栽培の出来る東部諸州の一定範圍に於てのみ可能である。

大西北部に於ては氣候は穀物又は玉蜀黍の栽培を妨害する。タフト互惠條約の討議中、舊思想を抱ける若干の議員は加奈陀穀物が自由に輸入されるべきであつた爲に、米國の西方農夫が滅亡すると考へた。彼等は明らかに加奈陀の玉蜀黍畑が極地にまで延長するであらうと考へたのである。勿論穀物は、バナナ若しくはオレンジの如く西北部極地に於て栽培せられ得るのであるが、それは單に温室に於てであつた。而して、殆ど加奈陀農産中の要素たることは出来ないのである。雜多な農作は英領コロンビアに於ける農業要素であつて、就中果實は最も有望なものである。併しながら廣義に云つて、畜産及び各種の農作は加奈陀の外國貿易に對してよりも寧ろ、國內生産及び消費の要素として考察せらるべきである。

加奈陀の國家政策は自然富源より進化することであつた。而して第一に必要なものは運輸で、その結果、湖水地方を聯絡する優秀な運河組織が出来て、小麦は大西洋に捌け口を發見した。鐵道は先づ最初に補助されて、大陸横斷鐵道の大きな空想が起つてきたのである。ジョン、マクドナルド卿は自然の障害があるとの理由をもつて猛烈に、また全然眞摯なる反對があつたにも加奈陀太平洋鐵道補助金を威嚇し

たり買収したりして加奈陀議會を通過せしめた。その當時北太平洋線は未だ敷設せられてゐなかつた。そして氣候状態がそれにとつて甚だしい障害であることを豫見した米國の豫言者等はオッタワに同様意見を有するものゝあるのを知つた。

加奈陀太平洋鐵道は二十年後、ブロンズ、ルバートに終點を有し、北部より數百里のグランド、トランス、太平洋鐵道の計劃によつて行はれ、また北部よりはるかに遠距離の加奈陀北部鐵道によつて行はれた。大戰は以上の計劃を財政上の負擔に厭倒させたのである。大戰は政廳の手に更らに大なる負擔としてその計劃を残した。而も極北まで鐵道を敷設することが國家發展に眞實必要であるかどうかは遠き將來に於て決定せらるべきである。同様のことがハドソン灣への鐵道に就いても言はれるのである。その構成は單線軌道で、その運轉は惡氣候の下に於て、不可能ではなかつたのである。併しながら、ハドソン灣沿岸に一年間小麥を貯藏し、翌年の季節にジエームス港からリバープールに搬出する問題は可成り緊要なものである。

若し此等膨大なる鐵道計劃がその目的を充たすことが出来ないならば、それに關係した政治家は猛烈に非難され、數億弗の投資損失の責任を負はされるであらう。

併し彼等には責任がない。彼等は單に國家の衝動に呼應した空想家であつたのである。若し彼等がその計劃を企劃しなかつたならば彼等は政治家ではない。何となれば經驗は企業の實行し得べきことを決定する唯一の方法であつたからである。加奈陀の國家精神は一回の試験によりて何等満足すべきではない。而して、それは事實に於て背後にある加奈陀の國民である。

加奈陀の工業發展は、人爲的方法によりて刺戟されたとは雖も、順調なものである。加奈陀に鑛脈があるので、主として自然的政策たる保護政策の採用は必然的なものであつた。水力の原料はその有效なる源泉であつた。

鐵鋼工業は二地方に分れて居つて、その一は豊富なる石炭を有するノバ、スコチアのケーブ、プレントン地方である。而して鐵鑛はニュー、ファウンドランドのベル、アイルのワバナ、レンヂより、及び西班牙並びに瑞典より來る。原料集中のための潮流中の好地位にあることは低廉なる銑鐵物産に對して理想的であると云はれてゐる。而して世界市場を有する膨大なる工場的發展は遂に期して待つべきである。或る重要な工業は建設せられた。併しながら初期の空想は實現せられなかつた。

ツート、セイント、マリーの鐵鋼工場設立は大部分地理的事實に負ふ所が尠くない。而して、そこには低級な或る地方的鑛石があるけれども高級鑛はメサバ、レンヂよりスベリアー湖を横断して安價に搬入せられ、石炭はエリー湖諸港より仰ぐことが出来ること云ふことは主として考察すべきことであつた。而も更らに考察すべきは此の點に於ける鋼鐵線の工業は西北部を通じての鐵道敷設に大利益を得たと云ふことである。各種の形式に、特に銑鐵製品に於ける鐵鋼工業は加奈陀政廳より、並びに州廳よりの莫大なる補助金及び獎勵金によつて激勵せられたのである。

一般産業の發達が、必然的に米國との互惠を確立することの失敗によりて、若し全然甚だ急速に行はれたかと云ふことは常に議論の餘地があつた。加奈陀の採用した政策の下に、米國內の多數の工場は、加奈陀に分工場を建設するに至つた。此等若干の分工場は疑もなく原料蒐集の便利及び完成物産の分配に準備せられたものである。而も政府の財政々策が強要した、ゆゑにその他の工場も疑ひもなく設立せられた。米國內の本工場に對する關係に拘泥することなく、その分工場は加奈陀の工業であつた。

加奈陀の通商關係は錯雜したものである。而して、その關係は戰前歐洲の設立せる最惠國待遇に根底を有し、且つ特殊通商協約及び三重關稅制度に基準してゐる。優先稅率の眞髓は一九〇七年の關稅法によりて主張せられたもので、その條例によりて規定せられたるもの及び附則に規定せられたるものに關しては、一般關稅、優先關稅、附加關稅及び條約關稅の四個の異なる關稅表があつた。優先關稅は英國品及び英領地の物産に課せられ、條約稅率は、政府が互惠的讓歩のかはりとして他國に讓歩をなすことを表示する中間的のものであり、一般關稅は、他の關稅表の何れもが適用されざる各國よりの輸入品に適用され得るものである。附加稅とは一般關稅に附加された戰爭稅率である。

英國優先關稅表は中間關稅率より約二十パーセントの優先を主として表明してゐる。併しながら、これは大部分の商品に三十三パーセントと等しき利益を呈示するまで擴大されたのである。戰時所得法案に於て英國優先の可成りの利益が增大された。而も諸外國、特に米國に適用する關稅は七パーセント二分の一引きあげられ、英國には二パーセント二分の一引き上げられた。

此の財政法案は反投げ賣約定として知られてゐるものによつて補足せられたのである。これはその物貨が生産國市場に於けるよりも加奈陀市場に於て廉價で販賣する他國の製造業を防遏することに依つて、加奈陀の製造家により多くの保護を與んとする巧妙なる法規であつた。而してこれは主として米國を標準に置いたものである。

大戰勃發と共に效力を發生したる此の財政方法の下に於て、加奈陀の輸入統計によれば米國は、加奈陀市場に於て價格約四億一千一百万弗の物貨を賣却し、英國は一億三千二百萬弗佛國は一千四百二十五萬弗を賣却した。主なる輸出品が農産物であつた加奈陀は英國へ二億二千二百三十萬弗、米國へ二億五十萬弗、佛國へ三百萬弗を輸出した。

聯合諸國との加奈陀の貿易關係は新時代の整理の下に於ても急速に變化せられなうであらう。而してその關稅は現在の中間關稅及び條約稅率に基礎を置いて繼續されるやうである。

佛國は加奈陀に生産品の大市場を有する聯合歐洲諸國中の唯一國で、その生産品

は特殊なものである。若し佛國が關稅の大輕減を承け得られたならば各種雜貨に於て英國とはるかによく競争することが出來たであらう。而して加奈陀は好ましき條件で佛國の市場に入ることを期待し得られたであらう。加奈陀及び佛國に於て英國の利益を短縮せしめんとする一九一一年の佛國加奈陀通商條約は最も巧妙なる通商外交の一であつた。併しながら、植民地の經濟政策に何等の干涉をもなさないで、英國は之を默認したのである。

加奈陀は舊露國と僅少の通商をしてゐた。而して若干の露國生産品を輸入したけれども加奈陀は農用機械に對する露國市場の、優先の條件を欲してゐた。露國は英國政府に許されてあるよりも以上の利益を與へることは出來なかつた。而して、また、米國に對して差別をする地位にはゐなかつたのである。

敵國との關係は、獨逸及び奧國を指してゐる。而も土耳其並びに勃牙利は重大なものではない。以前の中央強國の物産に對して差別を繼續すると云ふことは明らかに豫見せられるけれども、埃太利物産に對して加奈陀に殆ど市場がないので該國に残されたものは極めて紊亂してゐるのが整理されると云ふことである。數年間

即ち、一九〇三年より一九一〇年に至る獨逸は附加税を課せられてゐた。而して、獨逸は自國の協定税率を加奈陀に否定したのである。而も兩國は多大の不便を感じたので或る獨逸の協定税率が加奈陀に應用される方法が講せられ附加税は撤退された。會計年度たる一九一四年の獨逸よりの輸入は一千四百五十萬弗で、獨逸への輸出は四百四十萬弗であつた。將來に於て獨逸の主要なる關係は工業原料を奪奪せんとする企圖にある。

米國との加奈陀の貿易關係は二國間内の重要なもので、地勢は二國が互惠的であるべきことを強要してゐる。これは聯邦成立のすつと以前の加奈陀政治家の意見である。互惠條約は一八五四年のエルジン、マーシー條約に依つて樹立せられたのであるが、その條項に規定せられてゐる通商の物貨は自然産物であつた。此の條約は米國のより加奈陀の直接財政利益に非常に貢獻した。而もその不均衡は、若し加奈陀が米國政治家に提供した避難所に對して影響した加奈陀に憤激が起らなかつたならば一八六七年に米國によつてその條約を廢止するに至らなかつたのである。

エルジン、マーシー條約の廢止後、通商同盟、完全自由貿易、各種の互惠條約等

に對する計畫をもつて、加奈陀政治家の華盛頓への來訪期が續いた。而も以上のことはベンジャミン・ブッターウオース、ロバート・アル・ヒッチ及びその他の炯眼な議員等によりて、無益にも支持されてゐたのである。連續的な拒絶が加奈陀の互惠條約主張者等を落膽せしめて、遂ひに來訪は休止された。一九一一年の互惠條約がタフト大統領とウキルフリッド・ローリエル卿の政府との間に商議されたときは、加奈陀の事情は大いに變化してゐた。而して、その條約は相互利益の精神で商議されたのである。加奈陀の農産物は米國に重要な關稅の免除を得たが、同時に加奈陀への米國産物にも同様の免除があつたのである。輿論に反對して、加奈陀は米國の剩餘農産に對して優秀な市場を提供したし、且つ尙ほ將來に於ても提供するのである。

米國議會によりて法律にされた後、加奈陀をして該約定を拒絶せしむるに至つた動機は加奈陀自身の出來事であつて、親密な政府によつて問題にされるべきではない。それにも拘らず、當時に於て加奈陀の議員に影響したる若干の理由は検討すべき價値あるものである。その一は疑ひもなく純然たる政治的のもので、自由黨は十

四年間多數を占めてゐた。連續的權利使用の凡ゆる政治團體の如く、不平はその階級間に生じて行つた。野心ある青年は昇進の道が老人によりて閉ざされてゐるのを知つた。で、彼等は自然と現在の領袖を顛覆せしむべき難點を探ねた。そして、それを互惠條約に反對することに於て見出した。

そこにはまた政治熱に對する訴があつた。その裏面には、これは母國に對する忠實の表明であつた。更らに加奈陀國精神の主張があつた。米國へ併合されることの妄想は急激なる愛國主義者及び國家主義者によりて希望され、米國に於ける皮相な不注意なことを云ふ公人の役は此の國家感情を刺戟するに效があつた。彼等は併合と互惠とを話頭に上せた。而もその互惠は恰も純然たる經濟的のものであるのに政治的のものであるかの様に話頭に上げせたのである。口巧者の政治家等による情熱と偏見に對する訴への中に東部諸州の急激なる愛國主義者が、加奈陀に避難したる獨立戰爭中の愛國主義者等の迫害さへも受けつゝあると考へたと云ふ事は不眞面目に説かれてゐたのである。

併し最も有力なる考察はその材料と經營であつた。加奈陀の工業家等は製造品に

於ける廣範圍の互惠の前途を警告された。有力なる運輸會社は西北部の莫大なる小麥收穫が國境を横斷して米國の麥粉會社へ運搬されて、運輸の大部分を失ふに至るべきを憂へてゐたので猛烈に該協約に反對した。

同様に有力なる財政上の影響は運輸利益を含んでゐた。

更らに、確實なる名論は互惠條約の反對者によりて續けられた。これは米國內の政治的豫兆に根底を置いてゐたのである。而も反動の前兆は明らかで、その政黨が速かに諸外國の行動に關係することなく關稅を低減するやうになると云ふことは大いなる推論であつた。此の説は事實によつて判斷される。一九一三年の關稅法によつて、加奈陀は何物をも得るところはなかつた。唯、一九一一年になした免稅のみがそこにあつたのである。

加奈陀の互惠條約棄却は米國に何等の憤激をも惹起せしめなかつた。然しながら加奈陀が米國市場の凡ての利益を享受し、そのかはりに何物をも米國市場に輸出しないであらうと云ふことは斷言出來ない。互惠約定の再締結は利益均等に至る第一歩であるべきである。

一九一四年の鐵鋼工業の甚だ不振なる時に於て、西部鐵道は加奈陀工場の線路を購入した。これは米國への鐵道輸入税がなかつたのでかくの如く提供することが出來たのであるが加奈陀の諸鐵道に供給せんとしてゐたその工場は嚴烈なる投資防止規約に隨伴する加奈陀の關稅によつて防遏せられてゐたのである。これは再び鋼鐵通商に不景氣が來た時に於て適用されてはならない非互惠條約の條件である。これと同様の觀察が農用器具にも適用され、その廣範圍の處置が農産物に適用された。英國優先は加奈陀に激烈な問題を惹起し、植民地優先はその根底に經濟政策がなかつた。而して、それは、倫敦より管理されたるものとして英國事件中に承認を得んが爲め、加奈陀によつて與へられたものである。此の承認が與へられなかつた時、その政策は繼續された。併しそれは極めて不熱心であつた。今や、全く承認され、輿論は差別的關稅のために非常に猛烈となるであらう。併しながら、これは加奈陀の費用ではない。而もその努力は米國の費用をもつて擴大されるのである。これは開戰中累進的課稅法に隨ふ政策であつたが、而も米國の貿易は漸次發展して行つたのである。戰爭中、米國よりの輸入は總計の七十五パーセントより八十パーセントで

あつて、これは平常の商業方法である。その傾向は紐育の一部に於ての取引管理によつて及び戰時中吸收された莫大なる加奈陀の擔保によつて、益々強められた。州及び市の借款は當初自由に行はれ、何等の運動に於ける休止がなかつた。倫敦は加奈陀に對する資本の貯藏所たることを廢止し、而も英國優先は此の條件を變化せしめることが出來なかつたのである。

米國との加奈陀の政治的關係は今や最も親密な性質にある。多くの憤懣の原因——その中の或るものは一世紀前よりあるものであるが——エルフ、ルートが國務祕書であつた時に一掃されて了つた。アラスカ境界爭議の解決、太平洋漁業爭議の解決及び無數の爭議のルート氏によつての解決は米國外交の華々しき一期である。而して、これは親善と協同の確實なる根底を形成したのである。且つ相互に偏見、若しくは憤慨なくして平常の基礎の上に通商關係を改正する道を開いたのである。大戰に於ける米國の協同は甚だしく、親善の感情を強めた。

この親善が、加奈陀は大部分米國より購入しなければならぬと云ふことを強要した。而して事實に於て加奈陀をして、政治的分離と關稅の財政的障礙があるにも

拘らず國內市場たらしめたのである。同様に、米國をして加奈陀物産に對する國內市場たらしめた。米國との通商は相互に殆ど反抗障害のないもので、地形は、貿易關係の基礎たる經濟的條件に於ける英國の利益の不當なる擴大に對して猛烈に反抗してゐる。以上の通商關係の改正に於て、國家としての加奈陀の地位は曾つてあつたよりもはるかに鞏固である。即ち、英國政府は海外國家が決定せられるところに従ふからである。米國に對する國家は自國の政治的運命に於て極めて密接な關係にある如く經濟的運命に於ても甚だ密接な關係にある。併しながら加奈陀は米國よりの莫大なる物産に對する隣接市場であるやうに運命づけられてゐる。

第十八章 日本と相互市場

新富國——ハーバート、スペンサーの勸告拒絶——西洋よりの利益——島國とは何ぞや——僅少なる農産——原料の國有——政治的進化——經濟的獨立獲得——財政政策——戰時繁榮——將來の通商の基礎——米國との通商關係——ノックス條約——太平洋の諸問題

大戰から勃興した日本は新たに、富國となり、攻勢をとり、而して發展的になつた。その地勢的地位の性質から、及び交戦地から遠隔の地にあるので、日本の犠牲は甚だ僅少であつた。而もその利益は莫大なものであつて工業的、財政的、商業的に日本は度り難きほど充實した。一九一九年に於ける國債は一九一四年に於けるよりも非常に少かつた。而して、聯合國に對しての借款に應じた。日本の銀行正貨は五年間に五割を増加し、一九一四年には約六億八千萬弗であつたが、一九一九年には十六億弗に昇つた。これ實に新時代に於いて二重に認められるべき國であり、即ち、一國として、及び優勢なる亞細亞の強國としての觀察である。

ハーバート、スペンサーの勸告は、日本に對して西洋文明が孤立すべく一八九二年に金子男爵に與へたる珍書翰に表はれたものであるが、今や奇異の感なくんばあ

らずである。その哲學者は日本をして、國內に外人をあまり收容しないことに依つて、外人の土地所有を禁ずることに依つて、外人の通商特權を否定することによつて、外人の採鑛を禁止することによりて而して、雜婚を禁止することによりて、西洋に對して東洋文明を保存せしめた。雜婚を説ける一部の手翰は通商に關する彼の見解に對して適當ではなかつた。故に省略されても好いものである。彼の外人採鑛許可に對する反對は恐らく惹起するに違ひない紛争のためであつた。且つまた、西洋の諸政府が彼等の要求を貫徹するために軍隊を送るであらうと云ふことのためであつた。政策としての孤立の問題に於て、彼の手紙はかう云つてゐる。

日本の政策は出来るだけ歐米人を接近せしめない方針であると私は考へる。甚だ有力なる人種が現はれると日本の地位は永久に危険なものである。而して日本は外國人に出來るだけ少く基礎を與へんとする凡ての豫防を執らねばならない。

日本が利益をもつて許可する唯一の通商形式は物貨の取引に對して必要缺くべからざるところのものであり、それは各種生産品及び知識的産物の輸出入である。而して、何等の特權も他種族、特に優力なる人種の國民には、これらの目的享受

に絶對的必要であるより以上には決して與へられなかつた。明らかに日本は歐米諸國との條約の修正によつて「國家を外人及び外國資本のために開くべし」と云ふことを提言してゐる。私はこれを不幸なる政策として遺憾に思ふ。若し日本が如何なることが勃發するかを知らんと欲せば、先づ印度の歴史を研究すべきである。一度、非常に有力なる人種の一をして基礎を獲得せしめるならば、そこには日本と戦ふべき攻撃的政策が短時日の中に必然的に起つてくるであらう。而も此の紛糾は場合によつては、復讐されねばならない日本人による攻撃として表明されるのである。而も一部領土は掠奪され、外國植民地として支配されることを要求されるのである。且つこれから、全日本帝國の征服が時々起つて來るのである。日本は如何なる場合に於ても此の運命から逃れるには非常なる困難があると私は信じてゐる。併しながら、日本は、若し上述の如きものより以上に外國人に特權を許すならば此の道程をして困難なきものとなし得るとも私は信じてゐる。

外國人は土地を所有すべからず。

かくの如く一般に述べたる勸告の研究に於て私は實に外人の財産所有の禁止の

みならず土地貸借拒絶をも述べなければならぬ。而も許容すべきは唯單に一年借用として居住することのみであつた。

上に述べた政策の研究に於て、日本はまた沿岸貿易を日本自ら行ひ、外人のそれに従事することを禁止しなければならない。此の沿岸貿易は明らかに、私が全部承認として説いた要求中に含まれてはゐないのであつて、その要求は物貨の輸出入の利益に對する要求である。諸外國より日本に輸入せる物貨の分配は適當に、日本人自らに渡されるべきで、外人には拒否されるべきである。而して、その理由は、再び含まれたる各種の反動は爭議に對して甚だ多くの門戸を解放してその結果攻撃的になるであらうと云ふことからである。

此の哲學者の勸告の重要なことは、ペルリ提督が西洋文明に對して門戸を開き日本がそれを歓迎した時と同一であつた政策を一轉せしめた。若し彼の勸告が日本をして世界の事情から孤立せしめると云ふ意味を附隨したのであれば日本は亞細亞の主權國のかほりに孤立國となつたであらう。而も日本はその勸告を拒絶した。そして西洋各國と同程度に自國を置き、而も、外人の土地所有を許可せず、政府管理

の下に鑛山を支配し、而して、沿岸貿易に外人の參與を拒むことなくその管理を持続すると云ふことは明らかである。

世界貿易の中に甚だしく朦朧と浮ぶ此の國家は何であるか。

それは自然産物の貧弱な、二十六萬方哩の土地若しくはテキサス州と約同一で人口は日本固有の住民五千七百萬、朝鮮人一千七百萬、及び臺灣人三百六十萬人にして、經濟的團體として七千七百萬人以上を構成してゐる一島國である。而もこの一團の中には出生率が死亡率よりはるかに多く、自然的増加の數は經濟的及び政治的發達に充分なる行動を與へるものである。

原料富源は甚だ稀薄なものである。米は主要なる農産物であると同時に、多量に輸出されるが主要なる食料である。小麥は人口に比して小額しか産出しない。而も小麥常食を提供することが出来るのである。大麥、馬鈴薯及びライ麥もまたその收穫は充分でない。併し輸出すべき若干の煙草及び黃大豆がある。國內養牧は極めて小なく、羊の數はワイオミング州の小羊牧場と等しくもない。漁類は實に富豊であつて、米につぐ重要食料である。砂糖は臺灣に産出し、砂糖に馴れてゐる七千七百

萬人の需要以上に供給することが出来ないけれども、輸出されるのである。煙草は主として輸出される。

茶は主要なる農産物で國內需要以上に産出する。生絲製造は最も生産的な國家的事業である。國産葉は麥稈眞田及び麥稈帽子の材料として多く産出し、國産陶器はその質が善良にしてそれから優秀な磁器が發達し、有利な事業の基礎を造つてゐる。そこには政治的方針が産業發達と歩調を共にする人々の最初の富源がある。而して彼等は自らの需要に供する生絲が労働者の手より機械に明確に且つ敏速に變化すべき鍵鑰を與ふる人々である。且つ、此の顯著なる利益を示しつゝ、原料羊毛及び原料棉花が外國より輸入されねばならなかつたところの紡織業を樹立したのは實に彼等であつた。而も、更らに商船の地位を確保しつゝ、自國の造船業を發達せしめ、また未だ非常に進歩はしてゐないけれども基礎的な鐵鋼工業を樹立したのも實に彼等であつた。

此の工業發達に於て彼等は地下にある原料の國有政策をもつて開始し、運輸組織の國有を隨伴した。鐵道は全然政府の管理下に置かれ、汽船は補助の目的をもつて、

政府航路とならしむべき同一なる状態の下に置かれた。國內産業の發達は、保護政策が採用せられ、適用された。

此の産業發達と並行した政治的進化は有名なものである。唯その外面的必要が與へられ非常に簡單に行はれたのであつた。

ペルリ提督が門戸を解放した後にも西洋基督教國は日本を甚だ文明國として承認しようとしなかつた。一八五八年の對英及びその他諸外國との條約に於て、日本は主權の二箇の本質的な隨從を伴つたのである。日本の司法權は外國裁判所の治外法權によつて局限されてゐた。日本の經濟的獨立は確定關稅率の下に制限されてゐたのである、而も日本が舊制度より勃興しはじめた時、その最初の努力は、政治的獨立を再び獲得することであつた。これは一八七八年の條約に於て、米國によつて許容された。併しながら、諸外國がそれに同意しなかつたために効果がなかつた。治外法權及び關稅管理の廢止は、一八九四年より一八九九年に至る間に多くの條約が締結せられるまで歐洲諸國よりは得られなかつた。而も承認された日本財政制度の管理權をもつて、日本は一九一一年の關稅條約によりて、世界の大多數の國家と

の通商の根底を造つたのである。

以上の概観は、國內産業が通商條約によつて如何に發達し、國際貿易が如何に擴大したかを表示してゐる。一九一一年の關稅條約に於ては、輸入税は主として特殊のものであつて、輸出税は十二年前既に廢止されてゐた。新しき關稅表の下に、原料は殆ど全部課税がなく、半原料は極少額の税を課せられてゐた。製造品は分類表によりて、十五パーセントより四十パーセントに至る税率を支辨し、贅澤品は五十パーセントを支辨したのである。

日本は生絲及び生絲製品、半製品の銅、金、茶、磁器並びに麥稈眞田等を主として歐洲及び米國に輸出した。

且つまた主として支那に對しては綿製品並びに砂糖を輸出した。及び少量の海産物、石油及び脂肪、若干の金屬品等をも輸出した。日本の主要なる輸入品は穀物、麥粉、砂糖等の食料品、及び國內消費のための藥品、化學品、並びに石油、糖蜜等である。工場へ供給する棉花は最も重要な輸入品である。尙ほまた原料羊毛がある。機關、機械及び各種の鐵鋼製品は製造品の部門を造つてゐる。

大戰勃發以前の一時期は日本は不景氣のどん底にゐた。そして貿易の極端なる不均衡があり、工業は最も大いに不振であつた。商業活動は制限せられ、財政は不景氣の状態にあつて、日露戰爭によりて構成された國債の利子支拂は國民の産業生活を抑壓せしめた重大なる負擔であつた。此等の惡情態は主として日露戰爭より結果した亂調貿易及び財政を隨伴した。

大戰の當初に於て、この不景氣は原料生絲及び國際通商の物貨たるその他のものの輸出に於ける暴落によつて益々不振になつた。而も此の状態は長くは續かなかつた。英國は日本の産業力を認識し、軍需品の注文が續々申込まれた。造船所は一時に活氣を呈し、膨大なる利益は商船から流れ出た。これらの利益は、更らに原料製作に多忙な工場のために歐洲より得られなかつた製造品を製出する化學及び工業工場並びに機械工場に投資された。併しながら或る機械は海外より得られ、米國がその供給國であつた。戰爭以前、造船及び鐵鋼業に對する鐵は殆ど大部分英國並びに獨逸より輸入されてゐた。英國は尙ほ此種の材料を供給することが出來た。併し、米國はその方面に主要なるものとなつて、參戰するまでの溝渠を充分みだしてゐた。

のである。機械供給に於ても、同様のことが起つた。

日本は休戦條約調印まで何等の妨害もなく米國より原料棉花の供給を受けた。そして、平和が克復した時、兩國の貿易は明らかに激増してゐた。その根本的のものは交戦期中と變つてゐない。而もまた將來の貿易の根本的要素であるが故に解剖する價值のあるものである。大戰以前、日本は原料棉花に次いで米國より麥粉、燈用石油、鐵道及び機關車、鐵塊及び鐵板、機械、エンジン、及び一般製造品を輸入したのである。

米國は日本より日本の生絲全輸出額の三分の二の生絲を購入し、交戦中八十六パーセントに昇つたのである。且つまた、日本獨特の茶及び各種の磁器、並びに麥稈眞田、花筵及びその類似品をも輸入した。此等の物貨は將來に於ける通商中の主要なるものであると云はれても好い。兩國は理想的に相互通商の地位にある。米國は自國に産出しない故に日本の物貨を多量に購入することが出来、日本は工業國として發展してゐるにも拘らず特に造船に對して莫大なる機械及び鐵鋼産物を、紡績工場に對して原料棉花を輸入すべき地位にある。而して、多少日本の利益になる價格

に於て計量されたる貿易均衡は、此の通商を奨励し持續する米國の好ましからざることを偏見しないのである。これは價格に於て低減するとは雖一年約二億五千萬弗にやがて到達すべき通商である。その後、この發達は更らに漸進的であり、併しながら殆ど確乎たるものではない。

日米間の貿易關係は一九一一年のノックス條約に立脚すると云はれる。その通商に關する規定は米國組織の下にある最惠國條約を含んでゐる。而して、それらは二ヶ條の中に現れてゐる。

第五條、締盟國內の産物又は製造品が締盟一國內に輸入さるゝ物貨の輸入税は自後、締盟兩國間の條約により、若しくは兩國の國內法規によりて規定せらるべきものとす、締盟國に非らざる他國が諸外國に同様物貨の輸出に關し支辯し若しくは將來支辯し居るよりも締盟一國內に對する輸出品に他の關稅、若しくは一層高率なる關稅を賦課し得ざるものとす。

若しくは締盟國によりて、締盟國に非らざる他國への輸出品又は他國よりの輸入品と同一に非らざる締盟一國の領土への物貨の輸出入に對し、如何なる禁止を

もなす能はず。但し以上の規定は檢疫手段として、又は動物及び有益植物保護目的のため賦課し支持されたる禁止令若しくは制限令に對しては適用されざるものとす。

第十四條、本條約に明らかに規定されたるものにしては除外として、締盟兩國は、其の一方が他の一方の國民又は物貨に適用されるべき他の凡ての國の國民又は物貨に現に好意上與へ若しくは、今後與へんとする免除又は特權、利益、通商航海に關する凡てに於て、若し諸外國の利益のための讓歩が好意的のものであり、その讓歩が附屬的のものである時、同様な若しくは等しき條件にあるもの、凡てに同意すべきものとす。

該條約中の規定は關稅に關する條約の決定まで既に存在せる基礎に立脚した通商關係の繼續を規定してある。これから、特別協定が通商關係の基礎として記憶されたと云ふことは明らかである。斯くの如き協定は相互讓歩をなすに殆ど困難でない一の互惠的なものである。而して、その問題は日本が米國の物産に對して如何に多く大なる讓歩をしたかと云ふことである。

一九一一年の日英條約は米國物産に對して差別的なものではなかつた。最惠國約款の下に米國は自國物産に對して同様な待遇を得たが、日本の關稅が主として英國品に讓歩すべき見地をもつて創設せられて以來、米國には殆ど實際上の利益がなかつた。而も、日本と通商條約を商議する時の來た時、米國は自國物産に事實的利益である讓歩にあることを認められるであらう。貿易均衡は、日本が米國品を購入するよりも、米國が日本品を莫大に購入するので有效なる凡ての通商協定によつて、日本の利益になるやうに繼續するやうになるであらう。

日本の貿易に於ける米國の益々重要なることは權威ある方法によつて開始せられたのである。

貿易總量に於ける各國間の日本輸出入普及に絶大なる變化を齎らすに二十年を費したのである。その初期に於ては英國は日本の輸入の最も重大なる源泉であつたけれども日本の輸出には僅かに貢獻したのみである。米國は英國が輸入に貢獻してゐる如く日本の輸出の大部分を引き受けた。併し、日本への輸出のかはりに

は單に英國へ供給する輸入品全部の三分の二しかなかつた。一九一三年、英米兩國は日本の輸入に殆ど同様に貢獻したが、米國は日本の輸出の、英國によつて行はれるものより殆ど六倍の多きを行つたのである。

米國は長期間、日本の輸出に對する最も重大な市場であつた。一八九七年以後の一年間に米國への日本の輸出は他の如何なる國に對するよりも非常に多く、一九〇五年には日露戦争より進歩したる例外的條件の結果として、支那への輸出は米國への輸出より多かつた。一八九七年以後ずつと、米國への輸出は他の國に對するよりはるかに多く支那への輸出がその次位であつた。一九一三年の數字は次の如くである。諸外國全部への輸出は六億三千二百四十六萬圓でその中米國への輸出は一億八千四百萬圓、支那へは一億五千四百萬圓、佛國へは六千萬圓英國へは三千二百八十萬圓、英領印度へは二千九百八十萬圓、伊太利へは二千九百四十萬圓であつた。その年に於て米國は日本の輸出總計の二十九パーセント二で支那は二十四パーセント三、佛國英國英領印度總計は十九パーセント三であつた。

最近二十年間の日本の輸出貿易の概観は米國が日本の輸出の二十五パーセント

より少く行つた時はないと云ふことを表示してゐる。而も一九〇七年より一九一六年に至る間は米國への輸出は總輸出の平均三十一パーセント一であつたのである。支那の最高率が日露戦争中一九〇六年二十七パーセント七であつた時に於てさへも、又は支那の輸出總額のその他の年に於ての百分率も可成り僅少であつた。英國の最大限は一九一七年にして、十二パーセント六であり、英領印度へ最も多く輸出された一九一六年に於ても六パーセント三であつた。殆ど米國への輸出は三國が聯合したよりは多いのである。日本の一九一六年及び一九一七年の三〇パーセント二、及び二十九パーセント八に於ける大増加を來した輸出は主として米國への輸出である。米國は、長い間日本の輸出の最も優秀な市場であつたのである。

現在の貿易の概観は如何に多く日米兩國が共通してゐるかを示してゐる。貿易關係の大略はこれらが容易に改正されることを表示してゐる。それ故に、市場が自由な相互的であるので、凡ゆる徴候は日米間の有利なる相互通商を指摘してゐる。併

しながら、此の平凡な貿易は凡ての窮極ではない。そこには日米兩國に無限に關係してゐる亞細亞大陸たる東洋には更らに他の貿易がある。それは主として支那關係してゐるのであるが、事實に於て太平洋の凡ての問題を包含してゐる。而もそこには太平洋の神祕、太平洋の優越、若しくは太平洋の利權の何れか注意されねばならないのである。

第十九章 支那と太平洋の通商

● 經濟的意義——鐵脈——外國貿易の性質——僅少なる容量——諸外國との關係——ジョン、ヘーの門戶解放——ルート、高平聲明——ランシング、石井協約——支那自身の説明——日本の經濟的掌挾——講和會議の結果——借款銀行團——材料發達の影響——財政政策——強國に對する苦き試練たる經濟的獨立——利害國としての米國

支那とは何ぞや。此問題は各様に回答されねばならない。歴史的には支那はその古代文明の硬化した地質の下から時々發展せんと動きつゝある靜的國である。地理的には滿洲を含み蒙古、西藏、土耳其坦を除いた支那本土として觀て、百九十萬方哩の土地であり、種々の氣候と三億五千萬の人口とを有してゐる。

産業的には、その鑛山によつてみれば亞細亞大陸の最も廣大なる鑛脈を有してゐる。而して財政的には混然たるもので、國際的には世界的問題である。外交的には無價値であり國家的には不可解である。

第一の問題は生産的富源が將來の市場として支那を顯著たらしめる地方としての經濟的支那に就いてゐる。此の産業的豫見は原料に就いてゐあつて、貿易の豫見

は三億五千の人民が一箇の消費者として貢献する需要が獲得されると云ふことであり、一箇の生産者として貢献する彼等が賣方になる物貨に就いてゐる。

農業は海外に至る原料の事實上の購買力の主要なる源泉である。桑樹は有效なる要素で、それは生絲が輸出品中最も價值あるものであるがためである。而して、其次に大豆、その他豆油原料の豆が位し、茶、皮革、毛皮、藥草、胡桃、油、その他羊毛、原料棉花等がその次で、これらは經濟的意味に於て國內に甚だよく利用せられてゐるのである。

金屬富源は、工業上の基礎であるが故に、有力なる購買力である。その中の若干は錫の場合に於けるが如く亦、原料中の有力なる要素である。而も支那内地には二十五乃至二十六種の金屬がある。錫は世界産額の五パーセントを産出し、尙ほ未發掘の大鑛脈がある。更らに、輸出すべき亞鉛、鉛及びアンチモニーがあるほか、銅もあるが此の銅は地形上多量が銅貨に使用されるために輸入されて大部分使用されてゐるけれども、尙ほ輸出せられてゐるのである。石油は未だその發掘の初期にあるけれども多量にある。併しその産地は純然たる國家の財産たることを表示してゐる。

石炭及び鐵鑛は支那の工業能力を示す有力なる經濟的要素である。概觀に於ては此等の鑛物の地理的地位の詳細を示すこと若しくはその相接近することを調査することは必要ではない。而も二者は鐵鋼工業の根底となるであらう。鐵鑛脈と石炭脈との鐵道敷設及び國內發達に對する關係は互に相接觸してゐるのである。

石炭脈は科學的に評價され、決して想像的ではなく一萬億噸と見做され、若しくは地理的に見て、一千年間、現在の歩合で世界に供給するに充分であると評價されてゐる。

鐵鑛脈は五億噸と云はれ、此の評價は石炭の場合の如く科學的根據によつたもので想像ではない。取扱に適する有名なる鐵鑛は無數の外國租借地に接續して散點してゐる。而して、それらは評價の基礎である。

工業は支那人の優秀なる附屬物であると或觀察家によつて聲明せられてゐる。事實彼等が斷言せられた如く勞働慾を所有してゐるか、或は彼等の勞働慾が生存の痛切たる要求に起因するかどうかは個人的の説として殘されてゐる。併しながら、彼等の工業能力が非常に發達されたこと云ふことはその國民を最もよく知れる人々の實

驗である。支那人の手工は複雑なる彫品、象牙の小工作物、及び優秀なる刺繍物等の如き無数の美術品を必要とする繊細性及び柔軟性をもつてゐる。併し、それは單に支那人が有効であることを必要とする巧妙なる手工に對してその緻密な生産品に於てのみではない。彼等は更らに他の特質をもつてゐる。

滿洲に於ける熔鑪の銑鐵及び漢陽に於ける製鐵場は最も激烈な種類の筋肉労働に對する彼等の能力に就いて極めて屢々引用される實例である。而して、支那人は肉體的及び精神的の二重の能力を有してゐるが全體としての一般人民に就いては、最高なる有識機械の思想を充分にもつてゐると最も適切に云はれると云ふことは疑ひもなく眞實である。此の國民が全然傳統以外にある新しき企業に没頭するやうになる時、不可離に隨從するところのものは推斷的のものである。併しながらそれは廣大なる領土の富源の凡ての問題を考慮して生れたる推斷であつて、また完製品に造られたる原料の運輸を考慮してなされたる推斷である。且つまた、度々起る政治上の問題を解決せんとすることは忘れてはならない。

支那の外國貿易は主要なる方面を隨伴する。日本の如き最も近き國をも含む海外

市場は、生絲、原料棉花、茶、豆油の豆、木油、肥料、羊毛、皮革、及びその他金屬類等に對してある。豆油原豆は生絲に次ぐ最も大なる單獨輸出品である。ア
ンチモニー並びに錫は主要なる金屬品である。

現在の状態に於ける輸入必要品は燈用石油及び諸種の綿織物、羊毛、藥品類、石鹼、電氣用機具、並びに鐵道材料等で、後者は機械をもつて、現在よりも、むしろ將來の有力なる輸入品である。

外國貿易は生産富源と、供給せらるべき廣大なる人口の割に、驚くべく少額で大戰以前に於ては僅かに約五億萬弗に過ぎない。而も戰爭終結の年に於ける總額は殆ど同様であつた。一九一四年の輸出は三億四千五百二十八萬一千兩（海關兩）で、輸入は五億五千七百十萬九千兩であつた。兩の不定價值は數年間に亘る支那通商に關する複雑なる數字を説明してゐる。大戰中銀價の一時的暴騰は比較統系作成上甚だ困難にせしめた。

一九一七年に於いて貿易の最高標準に達したがその時は總計十億弗であつた。而もこれは一人に就き二弗以下の海外購買を意味し、海外賣却はこれよりも更らに小

率であつた。五百萬の人口を有する濠洲は三億五千萬の人口を有する支那と同様な貿易をなしてゐる。而して、その外國貿易は滿一年に於ける支那の十億弗の四分の三に等しきものである。

米國の支那及び三億五千萬の消費者との貿易は四百萬の消費者を有する智利との貿易の二分の一よりも多いことはない。十年間に、支那の生産品の可成り多量が輸入されたけれども事實上何等の増加をも示さない。一九〇七年の米國よりの輸出は約二千五萬弗で、狂奔的な戦時價格であつた一九一六年に於てもまた二千五百萬弗であつた。而もそこには事實上の減量があつた。綿製品、燈用石油、織物機械、及び同様の物貨はこれら輸出の大部分を構成してゐる。これらに對して、主として米國は生絲を輸入する。

支那のための均衡は絶望的要素ではない。絶望的なるものは貿易總額の少量であり小價格である。英國の總貿易は、長期間東洋にあつて、支那の事業に莫大な投資をしてゐるにも拘らず比較的少量ではなく、戦前それは一億九千二百萬兩以下であつた。而も大戦の爲に對支貿易總計は多少の減少を來したが不景氣ではなかつた。

そして殆ど一億五千萬兩であつたのである。

諸外國との支那の外國貿易の總額が玖瑪のそれと殆ど等しいのに、何故に支那が國際通商の凡ゆる問題に大部分を占めてゐるのか。而してその回答は未だ潜伏せる富源の發達に伴ふ有力な貿易中にある。即ち支那及び支那人に關する凡ゆる物に於ける對外政策の偉大なる特徴である感情的考察及び常に支那に對して持續された親善的利己的にあらざる態度と同時に正當に米國の興味を惹き起すものは即ちこれである。

更らに支那問題に就いて取扱ふ時、凡ての大國が記憶に入れられると云ふことはそれ故に支那の將來の貿易である。支那の各人に對する綿布の増加は全世界の綿織物の價值に對して明らかに貢獻するのである。一人に就き一弗の増加は一般的計算法に於て、支那の外國貿易に五億弗の昇格を意味する。即ち、若し輸入が三億五千萬弗を増加したならば購買し得るために、支那が自國の輸出に附加してからその輸出は少くとも一億五千萬弗の増加を示してゐるがためである。

支那の經濟的將來は一に鐵及び石炭の發掘並びに原料富源を利用する運輸交通の

發展に準據してゐる。この工業的發達は膨大なる通商の有望なる基礎である。併しながらそれは、所謂外國租借地に根底を有し、これら租借地の單なる因襲ではないがその利用の全ての問題を惹起せしめるのである。更らにまた、諸外國の經濟的支配權の問題をも惹起せしめる。

勿論これは日本を指示してゐる。而してその日本は講和會議から最早秘密でない秘密條約をもち、日本の保證者として、英米佛の如き西洋の強國と提携したのである。それは支那の國際的地位及び將來の太平洋の通商の凡ゆる問題を呈示してゐる更らにまた、亞細亞の覺醒を説明する日清戰爭の終結後直ちに宣言されたる有名な佛國經濟學者の説を信せしめるやうになつた。その經濟學者は大膽に曰くこれは事實に於て確立に對する進行の戰闘たる、支那の過程に對する西洋科學の戰闘であつたと。

(註) 一九〇二年巴里出版のPierre Leroy Beaulieu 氏著 "La Renouaison de Asie"

に據る

事實に於てこれは今日、支那の經濟管理に對する聲明を進行せしめつゝある日本

に依りて言はれてゐる辯明である。外交發達の概観は大戦終熄當時の地位並びに講和會議に於ける光景を理解せんがためには必要なるものである。

國務省秘書としてジョン、ヘイ氏は一八九九年門戶解放政策を宣言した。二十年後に於ける米國政策の此の適用は大多數の人類に尙ほ漠然と記憶されてゐる。それ故に時々米國の行動する事情を回想することが出来るのである。九月及びそれ以後數ヶ月に於て、ヘイ秘書は支那に關する報告を英獨露に送附した。本質に於て同一なる報告は佛國伊太利へも送られたのである。

『米國通商權』は門戶開放政策を決定するために米國政府によつて使用せられた言葉であつた。而して、米國が支那帝國の領土及び一地方を占領すべく諸外國政府の計畫を覺醒せしめたこと、並びに米國政府が支那を否定することによつて支那の領土の主權に及ぼす影響の範圍を擴大せんとする諸外國の目的に反對したと云ふことはそれら諸政府に通告する便利なる形式であつた。日本へ交附した通牒に包含されたる宣言の實質は支那が、

米國及び凡ての外國の通商航海に對しての支那帝國の制限内、特に支那に於ける

各國によつて要求されたる所謂威化若しくは利益の範圍内にある確實な均等條約中のあらゆる米國の商工業に對して保證せんとする眞摯なる希望をもつて鼓舞された。

と云ふことであつた。

極東に關する米國の政策の今一つの聲明はヘイ祕書の門戶解放説よりはるかに廣範圍のものであつた。而して、それは極東に於ける日本の増大しつゝある影響を承認し、且つまた太平洋に於ける米國の利益を承認した。これはヘイ氏の通牒交換後九年にして成立したものであつて、國務省祕書エリフ、ルート氏及び華盛頓駐紮日本大使高平男との間に一九〇八年十一月交換されたのである。その内容は二政府の希望は太平洋に於ける二國通商の自由的平和的發達を獎勵すること及び該地方に於ける原狀を維持すること、並びに支那に於ける商工業の機會均等主義を擁護すること、而して、支那に於ける凡ゆる國家の機會均等主義並びに支那の獨立と保全に對する處置についてあらゆる太平洋的意味による支持により凡ての國家の共通の利益を保存すること等である。

九年の後第三の聲明が國務省より發せられたが當時の狀況は以前の聲明が行はれたときと全然相異してゐた。日本は英國の同盟國として大戰に参加し、獨逸より山東省を略取した。やがて米國は參戰國となり、極東に於ける形勢が日本の手中にあつたことがわかる。而して日本は亞細亞に於ける主權の地位に就いて米國の特別の承認を得んことを欲した。日本はランシング、石井協約として知られてゐる米國國務祕書と華盛頓駐紮日本大使間の通牒交換に於てそれを獲得したのであつて、これは一九一七年十一月に發布せられた。而も、領土的一致が兩國間に特殊關係を創造しその結果日本が支那に於て特殊利益を得たと云ふことが認められる。

米國に於ける國家統治の從來のものは曾て此の特殊的説明をなし得なかつた。この協約が少くとも推斷によりて支那の領土租借に關して日本に誓約してゐるのに、同様に、支那の經濟的將來を日本の手中に修め、且つまた、特別の方法にある支那が自國のために企圖した經濟的改正及び社會的進化の計畫に就いて支那の執政を行つたのである。

支那は海圖に記載され得ない海に遺棄されたるものゝ如く、更らに自國の主權及

び獨立に影響する事物に無關心であることを欲求しない。北京政府はランシング石井協約の『誤解を避けんがため』とある通牒を公開した。而して政府の意見が次の如きものであることを知らしめた。

友邦に對して支那政府の採用した主義は常に正當なる均等なるものであり、その結果條約より除外された友邦によりて獲得せられた諸權利は一般に尊敬せられてゐた。而して、領土接近の事實に依りて造られたる兩國間の特殊關係をもつてすら、支那の現在の條約に規定せられたる範圍に於てのみである。將來、支那政府は尙ほ將來は採用されたる主義に附屬するであらう。而してこれに依つて、再び支那政府が他國によりて締結せられたる如何なる協約に依つても拘束されてはならないと云ふことが宣言せられてゐる。

新聞紙中に當時華盛頓よりの報告は國務省が、支那は條約の一部でないといふ或る後悔があるに相違ないと認めてゐたが、抗議としての通牒を考察することを拒絶したと記載した。これは痛快に記載されたものであつて、殆ど考察せられてゐなかつたので支那に對する更らに深刻なる説明は計畫されなかつたのである。更らに刺

戟的なる新聞記事はまた、國務省は米國が全世界承認を理解せんとしてゐる如き近隣の利益及び國家權利の學說採用に關する支那の通牒を考へたと報告があつたと言つてゐる。

支那は巴里講和會議に於けるその後の事件から明らかに國家權利及び近隣利益のこの見解を執行しなかつた。

ランシング石井協約は日本の商業區域たるべき米國に對する誘導として、日本當局者によつて解釋せられた。當時特別日本財政委員が米國にゐた。そして目賀田男がその委員長であつて、新聞記者との應接に於て、支那は莫大なる未發掘の富源をもつて發展すべき甚だ有望なる土地を提供してゐると云つた。而して、氏は支那の富源開拓に於て日米兩國の財政的産業的利益の共同參與に對して爛熟せる計畫が造られねばならない時の來ることを希望してゐた。此の意見はまた、他の權威ある場所には現はれたのである。

此の財政的和解への試練が行はれ諸種の計畫は純然たる私的起源の方へ向つた。その他のものは日本政府の承認したものであるやうに見えた。これら凡ての基礎は

支那を開發し若しくは發展せしめる計畫であつた。西洋氣分の意味をもつた支那の諷刺畫家は一時代觀を示してゐる。彼は牛の繪を書いた。米國はその動物を養ひ、日本はその牛を搾取してゐたのである。

財政上及外交上の方面に於て、及び此等の結合の提示の意見に於て、ある研究が日本の富源に就いて行はれた。而もその背後にある問題は日本がどれほどまで自國の資本をもつて支那の發展に資することが出来たかと云ふことであり、更らに日本がどれほどまで國際關係に貢獻したかと云ふことである。開戦當時に於ける日本の富は約百八十五億弗であつた。これは一人に就き三百六十三弗の割合である。日本の戦時利得は全國富を二百億弗に至らしめた。けれどもこれは日本をして、國際財政關係にある米國と同一水準に置くほど充分ではなかつたのである。

ランシング石井協約成立後の數ヶ月に、大統領ウキルソンの政府は支那に對する米國銀行家による借款に於ける地位を轉換した。併しながら、米國銀行家が日本財界の人々と提携して行動することを期待してゐたと云ふが如き特殊の報導はなかつた。けれども、各々の行動は明らかに、考へられてはゐなかつた。蓋し巴里講和會

議に於て支那を財政的援助せんとする大統領タフト時代の計畫は所謂借款團の形式によつて是認せられたがためである。此の提案されたる協約の下に於て、日本は以前の借款に參與すべきであつた如く、支那への借款に參與したのである。日本は最早英佛の共同者であるより更らに米國の共同者ではない。

以上の國際的借款は、もし實現したならば疑ひもなく支那の外國貿易に顯著なる増加を來したのである。該借款はまた若干の致命的問題を惹起した。即ち該借款は歳入擅有の方法に於て獲得した擔保によつて支那の經濟的羈絆を一層強固にするであらうか。また、右借款は經濟的獨立に對する抗し難き運動から出發するであらうかと云ふことである。支那は今や海關稅及び鹽稅の外國管理によつて、國際的債務國であり、歳入も亦、拳匪賠償に對する擔保として誓約せられ、その賠償金は一九四〇年の終りまで皆済するには及ばないものである。

海關稅に對する外國の領事裁判權は日本が主權を聲明しその條約廢止を獲得するまで日本に適用されたと同様のものである。大戰以前、諸外國は支那をして關稅獨立を獲得せしめんとする好意を表明した。一九〇二年の上海萬國會議は特殊稅に變

化する價格による有效なる五パーセント制度を規定した。その後の英支通商條約は釐金税及びその他の國內運輸税の支那の廢止に對するかはりとして、關稅を十二パーセント二分の一に増加することを協定した。併し、此條約は批准されなかつた。大戰中、關稅改正について更らに努力せられたけれども釐金税改正に對する支那の無能はそのまゝに繼續せしめたのである。而してこれは將來に於ても同様であらう。併しながらいつかは支那は上述の如く改正を斷行し、關稅自治が構成されるであらう。そこに於て再び問題が起るのであつて、それは日本が何をなすべきかと云ふことである。既に日本は保護關稅によりて自國の工業を樹立した。而して日本に許されたる支那の富源は日本の工業に多大の貢獻をなしてゐる。それで、日本は支那内地の市場に影響する政策に同意するかどうか。これが將來の最も重大なる問題の一つである。

米國は支那に於ける鞏固な而も秩序ある管理に利益を得てゐる。而も眞の獨立國として支那自らを強大にする事は凡ゆる方法に於て有利である。且つまた、貿易を増大する國家發展の方法として支那の財政經濟の獨立に於ても有利である。若し支

那が日本の實證を追隨し、財政政策に於て他國に依頼しなくなつたならば米國は曾て日本に表示したと同様の自由方針を採用するであらう。その試練は日本に對してまた恐らくは英國に對して行はれるであらうが而も米國に對しては行はれないのである。若し支那の南北が一致し得るならば、若し國家的感情の發達が領土的主權の獲得に次いで經濟的主權を要求し、南北を統一するならば、米國は支那の富源發展に有利なる大外國投資家の地位に至るであらう。過去に於て、米國は支那の不利なる友邦であつた。而もその不利益は全然效果あるものではなかつた。有利なる友邦として、その影響は更らに大であらねばならないのである。

第二十章 海外投資

資本輸出に伴ふ貿易——大戦結果としての根本的變化——過去に於ける實行の批判——分工場の特殊領土的性質——借款及び發展的企業に關する國務省の規定——聲明に對する一般的偏見——西班牙領亞米利加諸國の實驗——繼續的國家政策の缺乏——支那問題——大統領ウキルソンの破棄——國際的合意主義——米國投資市場としての世界

新しき時代は本質的に外國投資による貿易の時代である。債權國としての米國の地位は資本輸出を要求する状態によりて助長せられてゐる。而して主としてそれは銀行家によりて適合される形勢である。外國擔保の浮泛及び保全は特に彼等の仕事であるけれども、これらの擔保は米國の外國貿易に準據してゐるのである。

是に關しての多くの論議は外國に投資することに依つて造られたる商業に關係せざる製造品及び自然物産の一般交易に關するものであつたけれどもその背後には常により廣大な問題があつた。更らに若し世界的戰爭のかはりに世界的平和が一九一四年及びその後の状態であつたならば海外投資より得られた外國貿易は米國貿易政策の首要なる地位を占めたであらう。外國貿易を通じて國內繁榮を發達させる方法

としての海外投資獎勵を希望することは既に注目せられてゐるのである。

大戦に續いて、意義ある情勢は米國政府が戦時借款に依りて或る政府の債權者となり、債務國の支拂能力に應じて投資したと云ふことであつた。それ故に、米國は海外投資をなすべき自國の國民に對して同情的心的組織の中にあらねばならない。而もその海外投資は外國政府に對する私人的借款によりて外國産業共同の擔保並びに外國政府の人々によつて遂行されたる企業發達に於ける、若しくは政府自ら遂行せし同様の企業に於ける何れかである。荒廢されたる歐洲に於ける状態、及び支那南米に於ける状態は相異してゐるであらうけれどもその根本は同一であるべきである。

かくの如く將來の海外投資の主題が現在の利益となつてから、過去に於けるそれら投資の性質は何であつたか、及びそれらに關する米國の政策は何であつたかを検討するのは望まじきことである。

米國海外投資、特に歐洲への投資の最初の形式の一は分工場にあつた。而して此等工場の異なる階級間に、最も明確な區別がつけられたのである。主として莫大小

生絲及びレースの如き織物の大製造家及び輸入者等は、或る場合には彼等取引者に供給せんために外國工場の製品全部を買占めることもあつた。併しながら常に彼等は大部分の工場を所有することが、遙かに便利であることを知つた。斯くの如く投せられた資本が米國資本であつたけれども原料購買によつて米國労働者若しくは米國生産者を利益するが如きことに従はしめられなかつたのである。

分工場の他の階級は分工場であることを止めて、國有された外國工場となつた。此の種の多種類に於て、各國の有力なる法律はそれを必要ならしめた。併しながら常に一層廣大なる市場があつた。で、本國會社は單にその會社と離れたのみならずその名稱を除くの外凡ての利益とも分離したのである。これは特に電氣工業及び歐洲に建設せられた織物機及び同様の會社に就いて眞であつた。彼等は外國政府の人々若しくは國民によつて、時には米國名義の下に管理された外國企業であつた。

第三の形式は半原料を消費するか或は米國より多數の供給によつて絶えず繼續されることを要求するかの何れかの産業的工場の建設であつた。而してそこには常に國內工業の發達を確保せんため諸外國の國家政策を續行せんと企てられた。農用機

械の製造業は此の種も最も顯著なる實例であつた。彼等は加奈陀、露國、獨逸、及び佛國に廣大なる範圍に設立せられたのである。

特殊領土的性質の凡ての企業は各國の建設した自治法の主題となつた。而も莫大なる通商は常に米國會社の總ての利權を羅列してゐることを主張する諸外國に諸會社が籍を有した國務省と共に繼續する。國務省は時々親密なる外交的代表によりて、法律上の困難の緩和を確把し得たのであるが會社が籍を有する國の法律作法から以上の企業を釋放せんと未だ曾て主張しないのである。

特殊領土工場に關する政府の一般政策は一九一〇年に國務省から米國外交官及び領事館員に手紙を送らしめたのである。此の範圍に於いてノックス祕書は實業の追放とそれに關係してゐる人々の市民權の間に區別を置いた。而して、その主義は特殊領土の工場が米國の労働者よりむしろ外國の労働者を利益するに至り、米國に於ける同様の工場の生産品をもつた諸外國に於て、及び設立せられてゐる國に於て競争せんとするやうであつた。

この主義の特殊適用は全部又は一部分加奈陀へ工場を移轉した米國工業家に行は

れた。而してそれに適用せられた此の階級は米國政府の補助を受けなかつたのである。併しながら國務省は特殊領土の工場に對する政府の補助擴大を正當たらしむべき事情のあることを認識し、それに關して外國市場に生産品を輸出する米國の設立されたる工業企業が、主要輸出業を保存し獎勵する分工場を建設することによつて競争状態に入るの便利なることを知つた。

公式假定は米國労働者の雇傭に對する機會を減少せしめた外國に米國企業を移植することであつたが、而もその内若干は工業的工場の設備及びそれに伴ふ半完成品の供給によつて米國製品に廣大なる市場を提供したことを認めたのである。將來に於て變化せる世界の條件の下に分工場の問題は過去に於けるより更に大なる比例をもつて進むやうであるが而もその解決は何等の深刻なる困難を提供しないのである。事實上の事情に於ける寛大なる精神及び忍従は不當なる責任を承認することなく形勢に適應することが出来るであらう。

米國工場の生産品に對して提供する一層廣大なる市場に於ける海外投資の將來の大なる問題は主として借款及び米國性を失ふことなく企業發展に投せられた資本に

關係してゐるのである。此の性質を有する外國投資に關する國務省の規定は實行に伴ふ實際上の變化が國家行政に變化するにも拘らず大部分變化しなかつた。

大統領タフト時代に於てノックス秘書によりて表はされた如き規定は國務省が外國にある有利なる正當なる米國企業に對して凡ての適當なる補助を與へたと云ふことであつた。これは國務省自身が適當なる有利なる企業を構成したところの判斷であり、適當な維持を構成しなればならないところのものゝ判斷であつて以來、無謀な投資に對して何等廣大なる自由を明らかに提供しなかつた。大統領ウキルソンの治下に於て、規定の言葉は變化したけれどもその本質は變化されなかつた。而してそれは一九一七年六月支那に對して五百萬弗の假借款をなした市俄古銀行家に與へたランシング秘書の手翰の中に表はれてゐる。

私は三ヶ年間五百萬弗借款に關する諸君と中華民國との間の契約を讀んだ。而して、私は國務省が常に米國民から財政的補助を受けつゝある支那を見ることを悦ぶごとき借款に關する國務省の政策の説明に對する諸君の口頭要求に回答しなければならぬ。而も米國民の正當なる海外投資に對する凡ての適當なる外交的授

助並びに保護を與へることは過去に於けるが如く國務省の政策である。而も規定だけでは新時代の投資條件に遭逢するには充分でなかつた。そこには外國投資の慘禍がある。その中の一は海外投資の性質を國內に於て理解してゐないことであり、米國經濟政策にその影響の少いことである。資本家は國內に於て利益のためになしつゝあると同様の理由で海外投資をしてゐる。而して海外に於て利益を求めつゝ、また外のものに對する利益を増加してゐる。彼等は國內に於ける投資より更らに冒險をなして大なる利益を求めてゐる。これが不變なる實業の法則である。而して、外國の企業に投資するものが強慾な動功者として支持された時、人間の心に生すべきものである。而も彼等を排議し、彼等に對する偏見を創造することは政治的煽動に對して極めて容易であるとは雖も、莫大なる資本に對して外國市場を探索し、同時に國內に於てはそれらを信用しない米國人を激勵する口述的聲明をなすことは正しい事ではない。彼等が自國政府の援助を主張する根底があるか若しくはないか何れにしても、若しかくの如き根底を有しないならば殆ど海外投資に注意しないであらう。

外國に投資する米國人は法律的權利と道德的權利とをもつてゐる。その法律的權利は國法の下に解釋されたるものとして自治法の制限内に拘束されるかも知れない。而して、道德的權利は彼等並びに彼等の代表者が令名ある米國人であると云ふ假定に對してある。資本家は原則として、特色なしに人々に對して彼等の海外利益を信じない。海外に於ける代表者の性質は國內の代表者の性質より更らに重要であるそれはより大なる責任が海外に従事するところのものに準據してゐるからである。これは一般の法則である。

可成り發達した過去に於ける軋轢は最も普通に、國家發展計畫か若しくは償却目的に對する外國政府への個人的借款から起つてゐる。また公共事業に對する契約及び讓歩から起つてゐるのである。借款の形式に於ける政府の義務から時々排否が起り、契約及び讓歩から政府との爭論が起つた。聲明がそれに續き、國際的爭議が時々惹起せしめられた。普通の印象に反して、米國は殆ど此の種の爭議を生まなかつた。而もそれは米國が如何なる種類の外國投資も殆どしなかつたと云ふ理由に可成り準據してゐる。

西班牙領アメリカは個人によりて投資せられた恥づべき空想的借款の市場であつた。而して、若干の正貨はその上に投せられたのに、常に借款國は實に卜額の正貨を得たのみであつた。英國資本家の一團は曾て名義上三百萬弗の贈收的當局者に貸與したが事實に於ては百五十萬弗を投じたのみである。それは外國公債所有團として知られたる英國組合の報告中に一億弗と記載されるまで綜合的利益及び他の意味によつて發生する。而してそれは尙ほラテン、アメリカ國債の國際的集合のあるものに於ける總額にて記載するのである。これは極端なる場合で而もこれは多くの他のもの、典型的なものである。

米國政府は公債の恐るべき蒐集に對する歐洲諸政府の政策のために見なかつたのであるけれども關稅の略取の如き或る種の特權を決して否定しなかつた。で、理論的には債務國の領土の一時的占有の權利を否定しなかつたのである。而もまたドラゴ主義として知られてゐるものに記載したのであつた。これは債權國は債務國から蒐集するべく猛烈に記載されないと云ふカルボ主義の二十世紀に於ける適用である。それは歐洲各國が有名なるアルゼンチン公法學者ルイ、エム、ドラゴ博士に

まつてベネズエラを壓倒した一九〇二年に布告された。アルゼンチン共和國の外務大臣として氏は米國政府に通牒を送り、公債は歐洲各國の如くアメリカ諸國領の占領若しくは干渉を全然行ひ得すと云ふ説を有效ならしめた。ヘー秘書は一般綱領に同意して回答を發した。

西班牙領アメリカに於て激烈に債務者を蒐集する歐洲諸政府に反對の態度をとつて、これは米國の確乎たる政策として承認せられるであらう。將來の南米の財政に於ける銀行家聯合によりて行はれた借款は、米國が軍艦をもつてその募集を強制しないと云ふことを知つてゐる。それにも拘らずそれは障害の起る外交代表及び善良なる官吏の訓練を防遏しなかつた。併しながら南米諸國の經濟的政治的前途は今や非常によく理解されたので、借款はその負擔に對して不安定若しくは無差別の何れかによつて支拂に障害の起る政府に對して行はるべきではないのである。

金錢上の請求は更らに屢々憤激の源泉であつた。南米諸政府は、公共事業、鐵道許可、及び同様の企業に對して契約をなし、常に、締盟國たる他の國の國民が將來起るべき各種の外交的抗辯の權利を放棄すべき約款を主張するのである。而して爭

論が起つた時、歐洲諸政府及び米國は共に此の約款を無視して、特別管理下に入られた假定の上に行動して何等の拘束的效果を所有しなかつた。これは凡ゆるイペロアメリカ諸國と共に傷心すべき點であり、汎亞米利加會議に於て不適當な努力は米國がそれらの原則を承認すべき協約を得んために行はれたのである。

表面に於て、此種の約款は充分適當であるやうに見えた。而して、それは諸外國の國民が各自の機會を把握すると云ひ得べきであつて、また、彼等の屈從の結果によつて、忍従しなければならぬのである。併しながら、若し此の地位が不斷に拘束されたならば南米が表示した多くの物質的進歩は確把されなかつたであらう。而も物質的進歩のあるところには政治的進歩の根底があつた。更らに進歩したイペロ、アメリカの諸國に於ける法律家は凡ての共和國に暗に反映された感情、及び一般法則を主張することの何れかは、英國若しくは米國が、如何にしてその不斷の觀察に忍従したかを知つてゐる。彼等は、或る西班牙領アメリカ共和國の法廷が自由でないこと、及び外國と政府との凡ての爭議の中に於て、法律的法廷は實行的欲求として決定せられるであらうと云ふことを知つてゐた。そこに主權が反對の決心に對し

て儀禮正しき場合がある。而してそれらの場合に於て外國人は彼等の利權を得たのである。

請求者は、議會にあらうとも、將たまた華盛頓の政府にあらうとも、常に厄介物として眺められてゐる。その要求の判断は此の苛酷なる判断を緩和しないのである。時々請求者の人格に中心づけられたものとして凡てのその感情は小説家又は劇作家に訴へる。併しながら彼等の藝術が従事せられる時に彼等は題目を落し、要求の文學的魅力は蔭の中へ落ちてしまふのである。外國要求の場合に於ては恐らく殆ど感動的ではないが、自國のものより他國政府に反對する要求の單なる事實は請求者に對して企てられた偏見を附加するやうに見える。而して、或る不良亞米利加人は善良なる外國政府を掠奪せんとしてつゝあると云ふことが假定されてゐる。

少量の反映は國務省は他國に對する凡ての要求を抑壓する前にその正しきか否かを決定する前に細心なる研究をなしつゝあることを示してゐる。時としては議會にまた時としては新聞紙に發せられ、絶えず行はれる不平の合唱は華盛頓が自國民になした判断を見ることを欲しないと云ふことである。これは單に、多くの場合、國

務省がその要求の抑壓するに適當なるものであることを信じなかつたと云ふことを説明してゐるのである。疑ひもなく、その判断は常に誤謬であるが、而も一要求が華聖頓によつて抑壓される時、米國人は、彼等の政府がその正しきことを全然信じてゐると云ふことを主張するに充分である。

米國人は決して、外國政府に要求抑壓をしなかつたであらう。如何なる不正をも矯正することを欲しないと云ふことを表示しなかつた。國家の名譽が記入されたる方法の説明は有名な、墨西哥に對するウエイル及びラアブラ要求の中にある。これらは外國投資と何等の關係もなかつた。彼等は非常に巧妙に米國及び墨西哥を詐かんと劃策した。而して墨西哥によりてそれらが許可され、その報酬が一部支拂はれた後、彼等は詐欺であつたことを發見されたのである。何等の躊躇もなく政府は經費が墨西哥に對して再び支拂はねばならないことを認め、償還は議會によつて行はれたのである。

内亂若しくは戦争のイペロ、アメリカ諸國に投資の場合に於て、米國は決して、その地位の立派ならざる利益を執らなかつた。若しくは誇大された又は詐偽的要求

を激勵すべき傾向を表示しなかつた。同時にそれは住所を定めた外國人の権利を支配し、また外國に於ける財産所有の國際法の原理に對して嚴格を持してゐた。驚嘆すべき實例は米西戦争後に發見せられた。大多數の米國人は西班牙に對する叛亂期中に損害を蒙つた所の玖瑪に於いて甘蔗畑及びその他の財産を所有してゐたが要求をもつて前進してきた。半法律的裁判はこれらの要求を判定したものを樹立した。而して西班牙主權を繼承者としての玖瑪共和國によつて、支拂はるべき額を減じたのである。その全有效期數年間で完結した。而して報酬は意外にも少額でその總計は約六百萬弗であつた。

以上の場合には、諸外國に對して要求を抑壓する場合のある合同亞米利加人を非難する癖のある人々によつて記憶された。個々の場合に於ける或る紛糾の可能性なくして外國に於ける米國投資の膨脹する筈はない。而も投資家によつて豫め考へられたことは此等の可能性と資金の運用を最小限度に縮少せしめ、且つ、賢明なる外交は外交上の軌轢の最小限度で解決せられるために惹起される少數のものを可能ならしめるであらう。

外交問題に於ける繼續的政策のないことは海外投資の他の禍根である。非常に屢々、併し常にはないが、政權中の變化に順應する内閣の變化は外國政策に惑亂的變化を起さしめる。副大統領アーサー氏がガーフキールド氏の後を繼いだ時、南米太平洋海岸及び智利と祕露間の戦争に關するガーフキールド政府の政策は不意に棄却された。而して曾て行はれた多くのものは否認されたのである。その約三分の一世紀後その方針の効果から全然恢復されなかつた。グローバル、クレブランドが最初に大統領の職に就くや、氏は運河關係及び中央アメリカと西印度との通商關係に影響を有する各種の條約を撤回した。それらは氏が同感せざる膨脹と管理の政策を豫示してゐたのである。而も三十年の後、同一政策を奉ずる他の大統領はこれらの政策を實施する機械となつてゐた。

一九一三年對支六國借款國を急遽廢止する大統領ウキルスの行動、及び斯くの如くして支那富源發達に於て歐洲企業家聯盟と米國銀行家聯盟の協同を阻止するウキルスの行動は繼續的政策の缺如を示す好實例であつた。對支借款に米國銀行家の關係することに對する氏の反對は事實に於て、それが支那の主權を侵害するもの

であり、該國の事件に驚く可き干涉を最後に要求するに違ひないと云ふことであつた。氏は曰く、

この借款の條件は支那自らの政治的獨立に甚だしく接近するやうであり、此の政府はそれが連累によつてこれらの條件の一部であるべきであることを感知してゐない。銀行家が借款を商議することの要求に連累するその一部にある責任は絶えず東洋大國が今やその力を自覺し國民に對する義務を自覺したその財政的及び政治的事件に驚くべき干涉の或る不幸なる事故に延長してゆくに相違ない。

五年間の大戰は變化を齎らした。一九一八年七月に米國銀行家に依る支那に對する借款の米國政府によつて接近されるまでに發表された。而してそれは五千萬弗と目せられたのである。新しき政策は戦争状態の結果として聲明せられ。大統領タフトの政府は、支那の保全擁護のための強硬なる地位に米國を置かんとする聲明された目的をもつて、平和状態の下に行つたのである。『米國は投資の方法によつて支那の保全と門戶解放政策の擁護に對して、政府の地位を強めんために、支那借款市場へその方法を強制した。』極東外交官スタンレー、ホーンベック教授はかくの如く書い

てある。

國務省に依りて造られたる公式發表は政府の行動の戰時性質を力説するため苦痛があつた。故に、支那はその國境に近迫する敵軍に對して自國を非常によく擁護し得られたのであつた。公報の正文は興味あるものであつて、それは次の如くである。

支那は大部分米國の行動に準據して獨逸に對して宣戰した。それ故に國民政府は中央列強に對する戰爭に一層特別なる援助を與へたことに關して、自國と同様に支那の欲求に特別利益を感じた。

現在に至るまで、歐洲の戰局にその強力を有效ならしめんと準備せし米國の參戰は支那をして欲求を實現せしむる特殊の組織ある第一歩を優先するために行はれたのである。併しながら、最近に於て、米國政府は支那領土に戰局が廻轉してきただので、特別なる努力が適當なる方法を支那の整理に置くために行はれねばならないことを感知した。その結果、過去に於て對支借款に利益を得、且つ、東洋に經驗のある無數の米國銀行家は華聖頓に集合して、その事に就いて利益あるか否

かを討議した。銀行家等は直ちに相應じ、彼等と國務省との間に約定が結ばれた。それは次の如き默契であつた。

第一、一借款若しくは數個の借款をなし及び米國內の各部よりの代表で構成されたる米國銀行家團體の組織。

第二、政府と共同して、國務省に依る大體の政策を實行する一部銀行家の保證。

第三、國務省による承認に對する團體を構成する銀行の名稱の服従。

第四、國務省により承認せられたる凡ての借款の條件及び状態の服従。

第五、若し借款の條件及び状態が、米國人並びに相互に有利なる諸外國間にある自由通商を奨励し利用せんために、米國政府及び借款國政府によりて承認せらるゝならば政府は出来るだけ凡ゆる方法に於て援助し、直ちに有力なる代表をなし外國に於けるその國民によつて善良なる忠實の中に造られたる同等の契約履行を保證するために凡ての可能なる方法を採用することを欲してゐるのであると云ふことの保證。

米國團體が英國、日本、及び佛國の銀行家と共同することは好ましきことである。